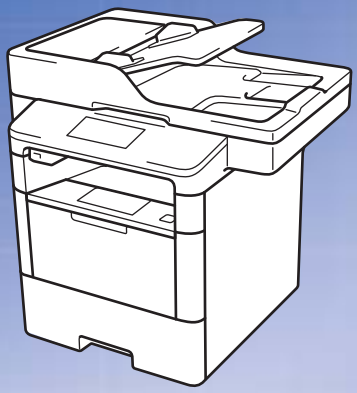
brother

MFC-L5755DW
MFC-L6900DW

ユーザーズガイド　基本編

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

本書「ユーザーズガイド　基本編」は、製品に関する全ての情報を含んでいません。
本書にない情報の詳細は、「ユーザーズガイドの構成」をご確認の上、それぞれのマニュアルをご覧ください。



本書の使いかた・目次

使う前に
知ってほしいこと

まずは
使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録（索引）

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 第４章「困ったときには」で調べる 116ページ

2 サポート　ブラザー　検索
ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://support.brother.co.jp

おすすめ機能 14P

ユーザーズガイドの構成

準備しましょう

- 電源の注意事項を知りたい
- 設置場所の注意事項を知りたい
- 停電のときの注意事項を知りたい
- トナーの注意事項を知りたい
- 安全にかかわるいろいろな注意事項を知りたい

- 設置して使用できる状態にしたい
- 必要な設定をしたい
- パソコンに接続して、プリンターやスキャナーとして使えるようにしたい
- 簡単にネットワークに接続して、複数のパソコンでファクス、プリント、スキャンをしたい

まずは使ってみましょう

- 使用できる用紙が知りたい
- ファクスしたい（基本）
- 電話帳を作成したい
- コピーしたい（基本）
- スキャンしたい（基本）
- パソコンからプリントしたい（基本）
- 電話帳を使って簡単に宛先を指定したい
- USBメモリーからプリントしたい
- 消耗品を交換したい
- お手入れのしかたを知りたい
- トラブルを解決したい
- リサイクルについて知りたい

もっと便利に使ってみましょう

- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- いろいろなファクス送受信をしたい
- ファクスを転送したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい

- パソコンからプリントしたい（応用）
- パソコンでファクスを送受信したい
- ネットワークに接続して複数のパソコンでファクス、プリント、スキャンをしたい
- パソコン上にアドレス帳を作成したい
- いろいろな方法でスキャンしたい
- ネットワークにかかわるトラブルを解決したい
- さまざまな設定をパソコンから行いたい（リモートセットアップ）
- 分からない用語を調べたい
- ネットワーク設定を手動で行いたい

- 携帯端末から直接プリントしたい
- スキャンしたデータを携帯端末に直接取り込みたい

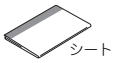
安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずはじめにお読みください。
また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。

冊子

かんたん設置ガイド

本製品を使用するための準備（設置、基本的な設定、パソコンへの接続の方法、ネットワーク環境設定など）を説明しています。


シート

ユーザーズガイド　基本編　＜本書＞

基本的なコピー、ファクス、プリント、スキャンのしかたについて説明しています。
また、本製品の電話帳の登録・編集方法やトラブル対処方法についても説明しています。
いつでも手に取って見られる場所に保管してください。

冊子

ユーザーズガイド　応用編

全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

ユーザーズガイド　パソコン活用&ネットワーク

パソコンからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法や便利な使いかた（ControlCenter）について説明しています。
また、ネットワーク環境で使用するための設定を説明しています。
その他、ネットワーク環境での用語や環境についての概要などを説明しています。

Googleクラウドプリントガイド

本製品にGoogleアカウント情報を登録し、Googleクラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。

モバイルプリント&スキャンガイド

Brother iPrint&Scan用

Android™やiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。
（Windows Phone®はPDFファイル印刷には対応しておりません。）

AirPrintガイド

OS X v10.8.5以降、iPhone、iPod touch、iPad、またはiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷する方法を説明しています。

クラウド接続ガイド

オンラインストレージに画像や文書をスキャンしてアップロードするときの各種設定、また保存されているデータのプリント方法について説明しています。

http://support.brother.co.jp

- 冊子は本製品に同梱されています。
- 各種説明書は、サポートサイト（プラザーソリューションセンター）で案内しています。（http://support.brother.co.jp）
- パソコンからユーザーズガイドを見るときは
  - Windows® の場合：
    Brother Utilities から[サポート]－[ユーザーズガイド]をクリックしてください。サポートサイト（プラザーソリューションセンター）で案内しています。
    Brother Utilities については⇒4ページ「Brother Utilitiesを起動する」
  - Macintoshの場合：
    サポートサイト（プラザーソリューションセンター（http://support.brother.co.jp））で案内しています。

Brother Utilitiesを起動する

Brother Utilities は、パソコンにインストールされているブラザーアプリケーションに簡単にアクセスすることができる、アプリケーションランチャーです。

1 Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003、Windows Server® 2008、Windows Server® 2008 R2の場合

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Brother] - [Brother Utilities]の順にクリックします。

Windows® 8、Windows Server® 2012の場合

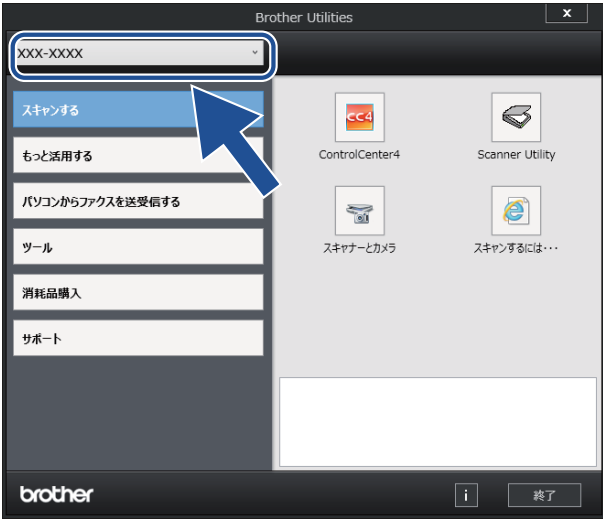
[Brother Utilities]をタップまたはクリックします。

Windows® 8.1、Windows Server® 2012 R2の場合

スタート画面の左下にあるをクリックします。

タブレット端末をご使用の場合は、スタート画面の下から上方向にフリックすると、アプリ画面が表示されます。アプリ画面が表示されたら、[Brother Utilities]をタップまたはクリックします。

2 モデル名を選択する



3 使用したい機能を選択する

ドライバーをアンインストールする（Windows® のみ）

ドライバーをアンインストールする場合は、以下の方法で行ってください。

1 Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003、Windows Server® 2008、Windows Server® 2008 R2の場合

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Brother] - [Brother Utilities]の順にクリックします。

Windows® 8、Windows Server® 2012の場合

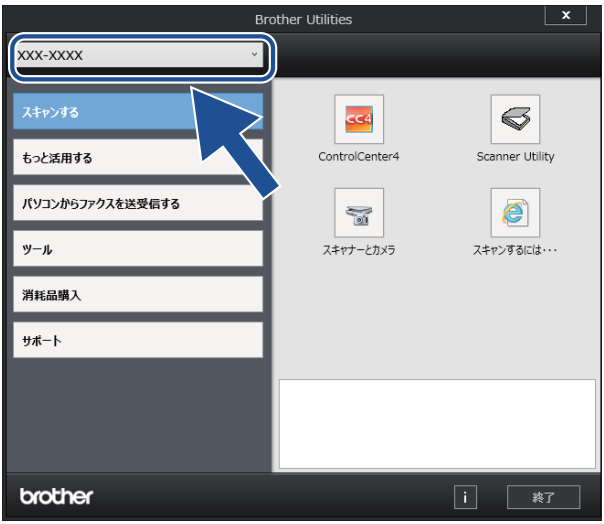
[Brother Utilities]をタップまたはクリックします。

Windows® 8.1、Windows Server® 2012 R2の場合

スタート画面の左下にあるをクリックします。

タブレット端末をご使用の場合は、スタート画面の下から上方向にフリックすると、アプリ画面が表示されます。アプリ画面が表示されたら、[Brother Utilities]をタップまたはクリックします。

2 モデル名を選択する



3 ナビゲーションバーから［ツール］－［アンインストール］の順にクリックする

4 画面の指示に従って操作する

ドライバーとソフトウェアがアンインストールされます。

インターネット上のサポートの案内を見るときは

本製品に関する問題やご質問があるときは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）をご確認ください。

http://support.brother.co.jp

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）では：
●目的別やアクセスの多い質問別など、色々な方法で検索できます。
●質問に関連する情報を表示します。
●お客様の声をもとに定期的に更新しています。

※：サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）は継続的に更新を行っております。
この画面は予告なく変更されることがあります。

目　次

ユーザーズガイドの構成 2
Brother Utilitiesを起動する 4
ドライバーをアンインストールする（Windows® のみ） 5
インターネット上のサポートの案内を見るときは 6
目　次 8
本書の表記 13
マークについて 13
編集ならびに出版における通告 13
おすすめ機能 14

第 1 章 使う前に知ってほしいこと 18
各部の名称とはたらき 18
操作パネルの名称とはたらき 18
各部の名称 19
タッチパネル操作の基本 20
待ち受け画面 20
メニュー 22
ホーム画面を選ぶ 23
画面の操作方法 24
電源について 25
日付と時刻をセットする（時計セット） 26
タイムゾーンを設定する 26
名前とファクス番号を登録する（発信元登録） 27
入力できる文字 28
文字の入力方法 29
お気に入りを登録する 30
登録したお気に入りを呼び出す 35
お気に入りを編集する 35
電話回線のこと 37
自動で回線種別を設定する 37
回線状態を確認する 37
次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合 37
リサイクル・廃棄のこと 38
消耗品の回収リサイクルについて 38
本製品の廃棄について 38

第 2 章 まずは使ってみましょう 40
用紙の基本 40
用紙セットの流れ 40
セットできる用紙 41
使用できない用紙 43
用紙トレイに用紙をセットする 45
多目的トレイに用紙をセットする 48
用紙が排出される場所 53
セットした用紙に合わせて本体の設定を変更する 54

原稿の基本 56
原稿セットで注意すること 56
原稿をセットする 57
原稿の読み取り設定をする 59
ファクス送信の基本 60
ファクス送信の流れ 60
電話帳を使用する 64
ファクスを手動で送信する 64
ファクス送信を中止する 64
ファクス受信の基本 65
ファクス受信の流れ 65
受信モードの種類 67
受信モードを設定する 71
呼び出しベル回数を設定する 71
再呼び出しベル回数を設定する 71
ファクス無鳴動受信を設定する 71
ファクスの見かた 72
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/印刷する 72
ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する） 75
電話帳の基本 76
電話帳について 76
電話帳に登録する 77
グループダイヤルを登録する 78
電話帳を編集する 79
コピーの基本 80
コピーの流れ 80
簡単コピーメニューについて 82
コピー設定について 83
拡大･縮小コピーをする 84
1部ごとにコピーする
〔ソートコピー〕 84
両面コピーをする 85
複数の原稿を1枚にまとめてコピーする
〔レイアウト コピー（N in 1コピー）〕 86
画質を設定する 87
コピー濃度を設定する 88
コントラストを設定する 88
2 in 1 IDコピーをする 89
USBダイレクトプリントの基本 90
USBダイレクトプリントの流れ 90
プリントの基本 92
プリントの流れ 92
スキャンの基本 93
スキャンの流れ 93
NFC の基本 95
NFC 機能を使って印刷/スキャンする（MFC-L6900DWのみ） 95

第３章 日常のお手入れ 96

定期メンテナンス 96
本製品外部を清掃する 97
原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する 97
コロナワイヤーの清掃 98
ドラムユニットの清掃 99
給紙ローラーの清掃 102

消耗品の交換 103
消耗品 103
トナーカートリッジとドラムユニットについて 104
トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意 106
トナーカートリッジの交換 108
ドラムユニットの交換 111

定期交換部品の交換 114

本製品を再梱包するときは 114

第４章 困ったときには 116

解決のステップ～修理依頼される前に～ 116

画面にエラーメッセージが表示された！
（エラーメッセージ一覧） 117
エラーが発生したときのファクスの転送方法 124

紙がつまった！ 125
紙づまりのときのメッセージ 125
原稿がつまったとき 126
用紙がつまったとき 128

原因がよくわからない！ 136
困ったときには（コピー／印刷） 136
困ったときには（スキャン） 153
困ったときには（電話／ファクス） 153
困ったときには（その他） 160

第５章 付録 164

機能一覧 164
【メニュー】ボタン 164
【全てのメニュー】 165
【ファクス】ボタン 185
【コピー】ボタン 188
【スキャン】ボタン 197
その他の機能 218

索　引 226

アフターサービスのご案内 232

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
で案内しています。
http://support.brother.co.jp

「ユーザーズガイド 応用編」の目次

第１章　全体にかかわる設定
用紙設定
電話回線設定
音量設定
省エネ設定
画面設定
日付・時刻設定
セキュリティ設定
ナンバー・ディスプレイ設定

第２章　ファクス送信
便利な送信方法
便利な送信設定
便利な宛先指定機能
ファクス誤送信防止機能
（ダイヤル制限）を設定する
IPファクスの設定をする
特別設定について

第３章　ファクス受信
さまざまな受信方法
受信時の設定

第４章　転送・リモコン
ファクス転送機能
外出先から本製品を操作する:リモコン機能

第５章　レポート・リスト
レポート・リストの種類
レポートの出力を設定する

第６章　USB ダイレクトプリント
フォルダー構成やデータの一覧を印刷する
操作パネルから印刷の設定をする

第７章　必要なときに確認してほしいこと
文字を入力する
用紙のこと
原稿のこと
製品情報
設定機能の初期化
オプション
本製品の仕様
動作環境
用語集
索　引

本書の表記

本製品の外観およびタッチパネルのイラストは、MFC-L6900DWを代表で使用しています。

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
! 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
	「やけどの危険があること」を示しています。
⇒XXXページ「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
【XXX】	本製品の画面内の表示を表しています。
[XXX]	パソコン上の表示を表しています。

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2017 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

おすすめ機能

効率アップ におすすめ

コピー / プリントで効率アップ

仕分け作業は機械にまかせましょう	●ページ順に1部ごとコピー／プリント	・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク ・コピー ⇒84ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
簡単に印刷設定をしてみましょう	●おまかせ印刷	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
かざすだけで簡単にデータを送信できます	●NFC機能	⇒95ページ「NFC の基本」

ファクスで効率アップ

宛先指定はボタン1つで簡単に	●再ダイヤルを使用する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
送付書を自動的に付けられます	●送付書を付けて送信する ●送付書のオリジナルコメントを登録する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1度にまとめて送りましょう	●同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕 ●メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する（とりまとめ送信）	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1度の操作で両面原稿を読み取って読み込む手間を省きます	●両面原稿の読み取りを設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
留守中にファクスが届いても、外出先でファクスを見られます	●他の場所のファクシミリに転送する	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

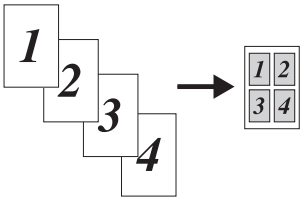
エコ におすすめ

リサイクルでエコに協力

リサイクルして有効に使いましょう	●消耗品の回収リサイクルについて	⇒38ページ「リサイクル・廃棄のこと」

節約、コスト削減 におすすめ

用紙代を節約

両面を有効に使って節約	●両面コピー／両面プリント／両面ファクス	・コピー ⇒85ページ「両面コピーをする」 ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク ・ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
複数の原稿を1枚にまとめてコピー／プリントして節約 	●レイアウトコピー／レイアウトプリント	・コピー ⇒86ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする 〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」 ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
パソコンでファクスを送受信してペーパーレス。必要なものだけプリントして節約	●ファクスをパソコンで受信する〔PCファクス受信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」
A4サイズを超える原稿を受信するとき、自動的に縮小して1枚にまとめて節約	●自動的に縮小して印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
受信したファクスの内容を画面で確認。 必要なものだけプリントして節約	●みるだけ受信	ファクス⇒72ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/印刷する」

通信費を節約

深夜割引※を上手に使いましょう。大量のファクスをタイマーで深夜に送れば通信代節約	●指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

※ 深夜割引についてはご利用の回線接続会社にお問い合わせください。

次世代ネットワーク（NGN）でIPファクス（T.38準拠）※を使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。	●IPファクスの設定をする	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

※ IP ファクスとは、IP ネットワークを使って送信するファクスです。

省エネで節約

印字の質を少し下げてトナーを節約	●トナーを節約する〔トナー節約モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
電力消費をおさえて節約	●スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
使っていないときは自動的に電源オフにして電力を節約	●自動電源オフを設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

安心 におすすめ

ファクスで安心

きちんと送信できたのか送信結果を知りたい	●送信結果レポートを表示する ●レポート・リストを印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」
宛先の間違いを防ぎたい	●ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
かかってきた相手を確認したい	●ナンバー・ディスプレイ設定	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
海外への送信で、回線状況が悪いときでも送信エラーを防ぎたい	●海外へ送信する〔海外送信モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

制限で安心

勝手に設定変更されないように変更を制限したい	●設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
使える機能を制限して情報漏洩を防ぎたい。 無駄な操作を防げばコスト削減にも役立ちます。	●使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック3.0〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
印刷された内容を本製品の近くの人に見られたくない	●印刷をパスワードで制限する〔セキュリティ印刷〕	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

キレイ におすすめ

最適なコピー／ファクス設定でキレイ

拡大／縮小を思いどおりに	➡	●拡大･縮小コピーをする	⇒84ページ「拡大･縮小コピーをする」
原稿の種類によって画質を調整する	➡	●コピー／ファクス送信の画質を設定する	･コピー ⇒87ページ「画質を設定する」 ･ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
コピーの濃度（明るさ）を調整する	➡	●コピー濃度を設定する	⇒88ページ「コピー濃度を設定する」
コピーのコントラストを調整する	➡	●コントラストを設定する	⇒88ページ「コントラストを設定する」
ファクス送信時の濃度を調整する	➡	●ファクス送信時の原稿濃度を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

1 使う前に知ってほしいこと

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

戻る

1つ前の画面に戻すときに押します。

キャンセル

処理中の動作を中止するときに押します。

ホーム

設定を中止するときや待ち受け画面に戻るときに押します。

タッチパネル

各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。
画面に直接タッチして各設定を行います。
⇒20ページ「待ち受け画面」
⇒24ページ「画面の操作方法」

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、各種設定の数値入力時に使用します。

NFCセンサー部
（MFC-L6900DWのみ）

NFC 機能に対応しているAndroid™端末を操作パネルにあるNFC マークに当てると、Android™ 端末上のデータ（写真、PDF ファイル、テキストファイル、ウェブページおよび電子メールメッセージ）を印刷したり、本製品でスキャンした写真や書類をAndroid™端末に送ることができます。
⇒95ページ「NFC 機能を使って印刷/スキャンする（MFC-L6900DWのみ）」

Wi-Fiランプ

無線LANへの接続状態を表示します。

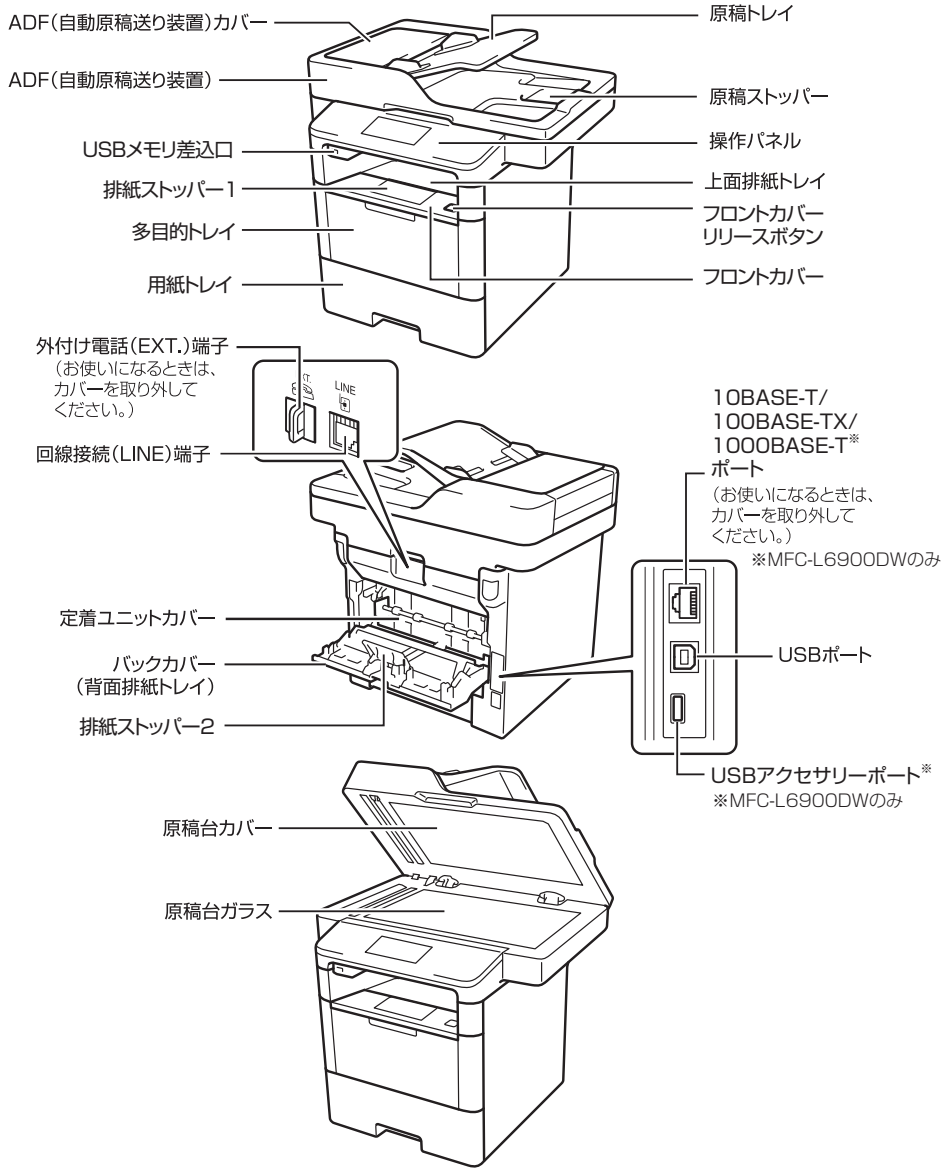
インフラストラクチャモードの場合
- 点灯： 無線LANに接続されています。
- 点滅： 接続処理中です。

アドホックモードの場合
- 常時消灯します。

電源ボタン

電源をオン/オフするときに押します。
⇒25ページ「電源について」

各部の名称


ADF（自動原稿送り装置）カバー
ADF（自動原稿送り装置）
USBメモリ差込口
排紙ストッパー1
多目的トレイ
用紙トレイ
原稿トレイ
原稿ストッパー
操作パネル
上面排紙トレイ
フロントカバー
リリースボタン
フロントカバー
外付け電話（EXT.）端子
（お使いになるときは、
カバーを取り外して
ください。）
回線接続（LINE）端子
EXT.
LINE
10BASE-T/
100BASE-TX/
1000BASE-T※
ポート
（お使いになるときは、
カバーを取り外して
ください。）
※MFC-L6900DWのみ
定着ユニットカバー
バックカバー
（背面排紙トレイ）
排紙ストッパー2
USBポート
USBアクセサリーポート※
※MFC-L6900DWのみ
原稿台カバー
原稿台ガラス

タッチパネル操作の基本

待ち受け画面

本製品には「基本機能」、「便利な機能1～2」の2タイプ3画面の待ち受け画面が用意されています。画面上の【◀】、【▶】を押すか、画面を左右にフリックすると2タイプ3画面の待ち受け画面を自由に移動できます。また、「お気に入り 1～8」を待ち受け画面に設定することもできます。⇒23ページ「ホーム画面を選ぶ」を参照してください。

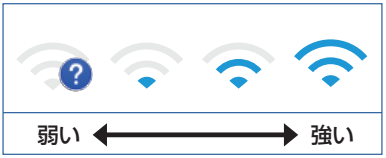
① モードボタン

ここに表示されたボタンを押してモードを選択します。
本製品には8つのモードボタンが用意されており、画面には3つずつ表示されます。表示するボタンを切り替えるときは、【◀】、【▶】を押すか、画面を左右にフリックします。

	【ファクス】 ファクス機能を使用するときに押します。
	【コピー】 コピー機能を使用するときに押します。
	【スキャン】 スキャン機能を使用するときに押します。
	【セキュリティ印刷】 セキュリティ印刷機能をを使用するときに押します。
	【クラウド】 インターネットに接続するときに押します。⇒クラウド接続ガイドを参照してください。
	【お役立ちツール】 クラウドを活用したブラザー専用アプリケーションを使用するときに押します。⇒クラウド接続ガイドを参照してください。
	【USB】 スキャン to USB機能またはUSBダイレクトプリント機能を使用するときに押します。USBメモリーをセットしてください。
	【2 in 1 IDコピー】 2in1(ID)コピー機能を使用するときに押します。

② 無線LAN電波状態表示/Wi-Fi設定ボタン

無線LAN接続時に電波強度を4段階で表示します。



Wi-Fi または を押すと簡単に無線LAN接続の設定をすることができます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。

③ トナー残量表示/トナーメニューボタン
トナーの残量の目安が表示されます。
トナーメニューを表示するときに押します。

補足
表示はあくまで目安であり、印刷する文書やデータ、お客様の使用状況により減り方は異なります。

④ メニューボタン
メニューを表示させるときに押します。メニュー画面の詳細は⇒22ページ「メニュー」を参照してください。

⑤ 日時表示
現在の日時が表示されます。

⑥ お気に入り お気に入りボタン
よく使う機能やこだわりの設定内容を登録してワンタッチで呼び出せるようにします。
「お気に入り 1～8」には、よく使う機能やこだわりの設定内容を、1画面につき6件まで登録することができます。

を押すと【基本機能】画面に戻ります。
⇒30ページ「お気に入りを登録する」
⇒35ページ「登録したお気に入りを呼び出す」

⑦ 新着ファクス件数/メッセージ表示
待ち受け画面のタイプに関わらず、ファクスを受信したり、エラーが発生するとこの位置にアイコンとともにメッセージが表示されます。

	みるだけ受信やメモリー保持など、ファクスをメモリーに保存する設定にしている場合に、ファクスを受信すると新着ファクスの件数が表示されます。
	エラーが発生した場合は、メッセージを表示してお知らせします。メッセージ右側の【詳細】を押すと現在の状態や、保守手順を表示します。⇒117ページ「画面にエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」の手順に従って操作、保守を行ってください。 を押すと待ち受け画面に戻ります。

メニュー

待ち受け画面の を押すと表示されるメニューです。

① トナー残量表示/トナーメニューボタン

トナーの残量の目安が表示されます。
押すと以下のトナーメニューが表示されます。

- トナー残量
- テストプリント

補足

表示はあくまで目安であり、印刷する文書やデータ、お客様の使用状況により減り方は異なります。

② ネットワークボタン

ネットワーク設定をするときに押します。

- 無線LAN接続しているときは、電波状態を4段階で表示します。有線 LAN 接続しているときは、LANケーブルのアイコンを表示します。

③ 日時表示

現在の日時が表示されます。
押すと時計セットメニューが表示されます。

⇒26ページ「日付と時刻をセットする（時計セット）」

④ 画面設定ボタン

押すと画面設定メニューが表示されます。

⑤ 全てのメニューボタン

本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューの入り口です。以下の9つに分類された項目のボタンから各種の設定を行います。

- 基本設定
- お気に入り設定
- ファクス
- プリンター
- ネットワーク
- レポート印刷
- 製品情報
- 初期設定
- サービス

⇒164ページ「機能一覧」

⑥ トレイ設定ボタン

押すと以下の用紙トレイ設定メニューを変更できます。

- 用紙タイプ
- 用紙サイズ
- 用紙残量通知※1
- トレイ開閉時確認
- トレイ選択:コピー
- トレイ選択:ファクス
- トレイ選択:プリント
- 除外トレイ設定※2
- 合紙トレイ設定※2

※1 ：MFC-L6900DWのみ
※2 ：オプションの増設用紙トレイを設置している場合

⑦ Wi-Fi Directボタン

現在のWi-Fi Directの設定が表示されます。
（チェックマーク：有効、⊗: 無効）
押すとWi-Fi Directの設定画面が表示されます。

補足

本製品は、ARPHIC TECHNOLOGY CO.,LTD.製のフォントを採用しております。

ホーム画面を選ぶ

【基本機能】、【便利な機能1～2】、【お気に入り 1～8】の中から最も使う画面を選んで設定し、これをホーム画面とします。設定後はを押したり、無操作で時間が経過すると、ここで選んだホーム画面に戻ります。

1 を押す

2 【全てのメニュー】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールし、【基本設定】を押す

4 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールし、【画面設定】を押す

5 【待機画面】を押す

6 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールし、設定する待ち受け画面を選ぶ

【基本機能/便利な機能1/便利な機能2/お気に入り 1/お気に入り 2/お気に入り 3/お気に入り 4/お気に入り 5/お気に入り 6/お気に入り 7/お気に入り 8】から選択します。

お気に入りへの登録方法は⇒30ページ「お気に入りを登録する」を参照してください。

7 を押して設定を終了する

設定したホーム画面が表示されます。

画面の操作方法

画面に表示された項目やアイコンを押して操作します。画面上に【▲】、【▼】、【◀】、【▶】が表示されているときは、これらを押した方向に画面がスクロールします。またこのとき、指を画面上ですべらせるように動かしてスクロールさせることもできます。この画面上で指をすべらせる動作のことを「フリック」といいます。

注意

タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

◀/▶を押してスクロールする。

または

フリックしてスクロールする。

項目のボタンを押すと次の画面が表示されます。

灰色表示は、続きがないことを示します。

項目の続きがあります。

ボタンを押すと設定が有効になります。

キーボードを押して入力します。

入力値を確定します。

補足

フリック操作を行うときは、指が画面に触れた状態で、ゆっくりスライドさせてください。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 を押す

補足

操作パネル上の を押すと、1つ前の画面に戻すことができます。

2 【全てのメニュー】を押す

メニュー画面が表示されます。

3 【基本設定】を押す

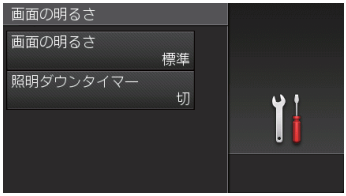
次の階層が表示されます。

4 【画面の明るさ】を押す

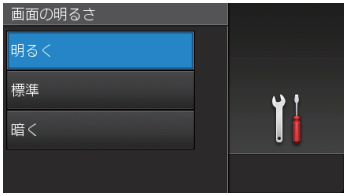
キーが表示されていないときは上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して、画面をスクロールさせます。

次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す



6 希望の明るさを押す



ボタンを押すと、その明るさに画面が変わります。

7 を押して設定を終了する

電源について

を押すと、本製品の電源をオン/オフできます。電源をオフすることで、本製品を使用しないときの消費電力を抑えることができます。
本製品の電源がオフの場合でも、電話機コードが接続されていれば、外付け電話機での通話は可能です。

電源をオンにする

1 を押す

電源をオフにする

1 を2秒以上押す

画面に【電源をオフにします オフ後はファクスが使用できなくなります】と表示され、電源がオフになります。

日付と時刻をセットする（時計セット）

発信元登録を行うと、ファクス送信したときに、ここでセットした日付と時刻が相手側の用紙に印刷されます。日付と時刻は画面に表示されます。

日付を合わせる

1 → 2016.01.01(金) 12:00 →【日付】を押す

2 以下の手順で日付を設定する

1 年号（西暦の下 2 桁）を入力→【OK】
例：2016 年の場合は【1】、【6】を入力

2 月（2桁）を入力→【OK】
例：8月の場合は【0】、【8】を入力

3 日付（2桁）を入力→【OK】
例：21日の場合は【2】、【1】を入力

3 を押す

時刻を合わせる

1 → 2016.01.01(金) 12:00 →【時刻】を押す

2 時刻（24 時間制）を入力して【OK】を押す
例：午後3時5分の場合は【1】、【5】、【0】、【5】を入力

3 を押す

補足
- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは1ヶ月おきに合わせてください。
- 60 時間以上停電した場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

タイムゾーンを設定する

お住まいの国のタイムゾーンを設定します。ここで設定される値は、世界標準時間との時差になります。（例：日本は、UTC+09:00）
ここで設定したタイムゾーンは、インターネット経由で送信したドキュメントに使用されます。

1 → 2016.01.01(金) 12:00 →【タイム ゾーン】を押す

2 タイムゾーンを入力して【OK】を押す

3 を押す

補足
- UTC（協定世界時）
  GMT（グリニッジ標準時）とほぼ同じ時刻ですが、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な世界標準時刻のことで、1972年1月1日より使用されています。

ウェブブラウザーを使って設定することもできます。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。

名前とファクス番号を登録する（発信元登録）

ファクス送信したときに、ここでセットした名前とファクス番号が相手側の用紙に印刷されます。

1 →【全てのメニュー】→【初期設定】→【発信元登録】を押す

2 以下の手順で発信元を登録する

1【ファクス】→ファクス番号を入力→【OK】
2【電話】→電話番号を入力→【OK】
3【名前】→名前を入力→【OK】

補足

- ファクス番号と電話番号は、20 桁まで登録できます。カッコ【(】【)】、ハイフン【-】は登録できません。
- 名前は漢字20文字（ひらがな/カタカナ20文字）まで登録できます。
- 電話とファクスを同一回線（1 番号）で使用している場合は、ファクス番号と電話番号が同じ番号になりますのでファクス番号を入力してください。

3 を押す

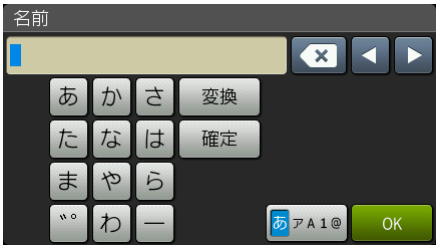
補足

- リモートセットアップ機能を利用すると、パソコンから発信元を登録することもできます。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。
- 文字入力のしかたについては⇒ 29 ページ「文字の入力方法」を参照してください。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。

入力できる文字

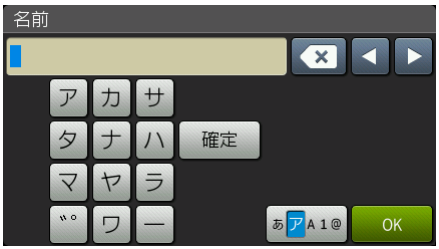
ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。入力できる文字の種類は設定項目によって異なります。

ひらがな/漢字入力



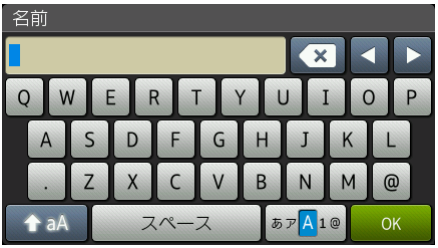
ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお ぁぃぅぇぉ	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよゃゅょ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【ー】	ー
【は】	はひふへほ	【゛゜】	（濁点、半濁点）

カタカナ入力



ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ ァィゥェォ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨャュョ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン
【ナ】	ナニヌネノ	【ー】	ー
【ハ】	ハヒフヘホ	【゛゜】	（濁点、半濁点）

アルファベット入力

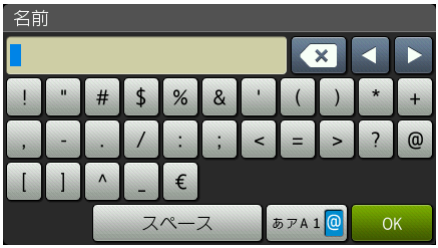


ボタン	入力できる文字
【A】～【Z】	A～Z
【.】	.（ピリオド）
【@】	@
【スペース】	スペース（空白）

数字入力

ボタン	入力できる文字
【0】～【9】	0～9

記号入力



ボタン	入力できる文字
【!】～【€】	!～€（ユーロ）
【スペース】	スペース（空白）

文字の入力方法

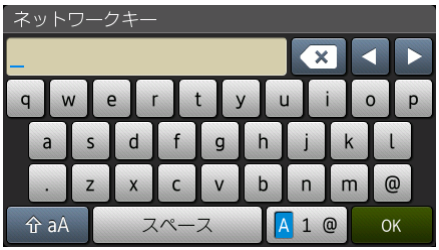
電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	あ～、ア～、A～、1～、！～を押す
文字の種類を切り替える	あアA1@を押す （ひらがな→カタカナ →アルファベット→数字 →記号→ひらがな）
アルファベットの大文字と小文字を切り替える	aAを押す
カーソルを左右に移動する	◀ ▶を押す
文字を削除する	を押す カーソルが文字列の最後の後方にあるときは、カーソルの左の1文字を削除する カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除する
文字を挿入する	◀ ▶を押してカーソルを移動し、文字を入力する
ひらがなを漢字に変換する	変換を押して、漢字を選択します。 （漢字項目が多い場合は、【▲】/【▼】を押して漢字を選択します。）
スペース（空白）を入れる	【スペース】を押す
同じボタンで続けて文字を入力する	▶を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した文字を確定させる	確定を押す

補足
- ●変換範囲を変更することはできません。
- ●文字の入力の詳細については、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

無線設定時の文字入力について

無線LANの設定では、画面に表示されたテンキー、またはキーボード(ボタン)から文字入力が必要な場合があります。
英字(アルファベット)、数字、記号など、ボタンの種類の切り替えを行う場合は、[A 1 @]を押してください。
[A 1 @]を押すごとに、英字(アルファベット)ボタン→数字ボタン→記号ボタン→英字(アルファベット)ボタン→・・・の順にボタンの表示が切り替わります。
[⇧ aA]を押すと大文字と小文字が切り替わります。



スペースを入力する
スペースを入力する場合は、【スペース】を押してください。

入力した文字を変更する
間違って入力した文字を変更したい場合は、[◀]または[▶]を押してカーソルを変更したい文字に移動させます。[⌫]を押して文字を削除し、正しい文字を入力してください。
文字を挿入する場合は、カーソルを移動させ、文字を入力してください。
[⌫]を押して文字を左側へ1つずつ削除することもできます。削除した後、正しい文字を入力してください。

お気に入りを登録する

ファクスやコピー、スキャン、クラウド機能、お役立ちツール機能など、よく使用する機能をお気に入りとして設定することができます。簡単にすばやく設定を呼び出して適用できます。お気に入りは48項目まで登録可能です。

コピー機能をお気に入りに登録する

コピー機能の設定条件をお気に入りに登録できます。
- コピー画質
- 拡大/縮小
- コピー濃度
- コントラスト
- スタック/ソート
- レイアウト コピー
- 両面コピー
- 両面レイアウトコピー
- トレイ選択

1 [お気に入り]を押す

2 1～8のタブを押す
各タブにお気に入りを追加できます。

3 未登録の[＋]を押す

4 【コピー】を押す

5 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押し、コピー種類を選択する

6 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して設定項目を表示し、設定したい項目を押す

7 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して表示されるオプションから、設定したいオプションを押す
お気に入りに登録したいメニューを全て設定変更するまで、手順6と手順7を繰り返します。

8 設定変更が完了したら【お気に入り登録】を押す

9 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して表示される設定を確認し、【OK】を押す

10 お気に入り名を入力し、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

ファクス機能をお気に入りに登録する

ファクス機能の設定条件をお気に入りに登録できます。
- 送信先
- ファクス画質
- 両面ファクス
- 原稿濃度
- 同報送信
- リアルタイム送信
- 送付書
- 海外送信モード
- 原稿台スキャンサイズ

1 お気に入り を押す

2 1～8のタブを押す
各タブにお気に入りを追加できます。

3 未登録の を押す

4 【ファクス】を押す

5 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する
設定条件を変更しない場合は、⇒手順9へ

補足
- ファクス番号は20桁まで入力可能です。
- お気に入りで複数の宛先を入力するときは、手順5でファクス番号を入力する前に、【設定変更】を押して手順7で【同報送信】を押してください。
- お気に入りの同報送信機能では最大20件の宛先を設定できます。電話帳に登録されている宛先、グループ宛先や直接入力宛先を組み合わせることができます。
- お気に入りに登録したファクス番号は、自動的に電話帳に登録されます。お気に入り画面の名前に連番を加えた名前が電話帳に登録されます。

6 【設定変更】を押す

7 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して設定項目を表示し、設定したい項目を押す

8 設定したいオプションを押す
お気に入りに登録したいメニューを全て設定変更するまで、手順7と手順8を繰り返し、【OK】を押します。

9 設定変更が完了したら【お気に入り登録】を押す

10 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して表示される設定を確認し、【OK】を押す

11 お気に入り名を入力し、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

12 **ヨミガナを入力し、【OK】を押す**

を押してすでに付いているヨミガナ（オキニイリ01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

13 **【OK】を押し、登録を終了する**

スキャン機能をお気に入りに登録する

スキャン機能の設定条件をお気に入りに登録できます。
【USBメモリ】
- 両面スキャン
- カラー設定
- 解像度
- ファイル形式
- 原稿サイズ
- ファイル名
- ファイル名項目順序
- ファイルサイズ
- 明るさ
- コントラスト
- ADF傾き補正
- 白紙除去
- 地色除去

【Eメール送信】
（MFC-L5755DWは、インターネットファクスのダウンロードが必要です。）
- 送信先
- 両面スキャン
- カラー設定
- 解像度
- ファイル形式
- 原稿サイズ
- ファイル名
- ファイル名項目順序
- ファイルサイズ
- 明るさ
- コントラスト
- ADF傾き補正
- 白紙除去
- 地色除去

【OCR/ファイル/イメージ/Eメール添付】
- PC名
- 両面スキャン
- スキャン設定
- カラー設定
- 解像度
- ファイル形式
- 原稿サイズ
- 明るさ
- コントラスト
- ADF傾き補正
- 白紙除去
- 地色除去

【FTP/SFTPサーバー /ネットワーク/SharePoint】
- プロファイル名

1 **お気に入り を押す**

2 **1～8のタブを押す**
各タブにお気に入りを追加できます。

3 **未登録の を押す**

4 **【スキャン】を押す**

5 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押してスキャンメニューを表示し、設定したいスキャンメニューを押す**

6 **選んだスキャンメニューに応じた項目を設定する**
- 【USBメモリ】のとき：
  ⇒手順9へ
- 【Eメール送信】のとき：
  ⇒手順7へ
- 【OCR/ファイル/イメージ/Eメール添付】のとき：
  ⇒手順8へ
- 【FTP/SFTPサーバー /ネットワーク/SharePoint】のとき：
  プロファイル名を選び、【OK】を押します。
  ⇒手順14へ

補足
FTP/SFTPサーバー /ネットワーク/SharePoint® をお気に入りに登録するときは、事前にプロファイルの登録が必要です。

7 【電話帳】または【手動入力】で相手先のEメールアドレスを入力し、【OK】を押す

文字の入力については、⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。
表示される送信先を確認し、【次へ】を押します。⇒手順9へ

補足

【送信先一覧】を押すと、入力したEメールアドレスを確認することができます。

8 以下のいずれかの操作をする

- USB接続でパソコンと接続しているとき：
  接続しているPC名が選ばれていることを確認します。⇒手順9へ
- ネットワークに接続しているとき：
  上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して表示されるPC名から、接続しているPC名を押します。表示されるPC名を確認します。⇒手順9へ

9 【設定変更】を押す

10 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して設定項目を表示し、設定したい項目を押す

11 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して表示されるオプションから、設定したいオプションを押す

お気に入りに登録したいメニューを全て設定変更するまで手順10と手順11を繰り返し、【OK】を押します。

12 設定変更が完了したら【お気に入り登録】を押す

選択した設定を変更するときは手順9に戻ります。

13 表示される設定を確認し、【OK】を押す

14 お気に入り名を入力し、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

【Eメール送信】のとき：
ヨミガナを設定し、【OK】を押します。

15 【OK】を押し、登録を終了する

クラウド機能をお気に入りに登録する

クラウド機能の以下のサービスをお気に入りに登録できます。
- OneDrive®
- Dropbox
- Google Drive™
- Evernote®
- Box
- Facebook
- Picasa Web Albums™
- Flickr®

補足
- クラウド機能のサービス名は、本書の作成後に変更されることがあります。
- クラウド機能をお気に入り登録するには、あらかじめご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp）で案内しています。）

1 お気に入り を押す

2 1～8のタブを押す
各タブにお気に入りを追加できます。

3 未登録の ＋ を押す

4 【クラウド】を押す

5 インターネット接続についてのメッセージを確認し、【OK】を押す

6 クラウドサービスを選ぶ
メニューが表示されていないときは左右にフリック、または【◀】/【▶】を押して、画面をスクロールさせます。

7 アカウントを選択する
アカウントがPINコードを必要とする場合は、PINコードも入力してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

8 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して選択した機能の一覧を確認し、【OK】を押す

9 お気に入り名を入力し、【OK】を押す
⌫ を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

10 【OK】を押し、登録を終了する

お役立ちツール機能をお気に入りに登録する

お役立ちツール機能の下記のアプリをお気に入りに登録できます。
- 手書きトリミングスキャン
- 手書きトリミングコピー
- 折りメモ

補足
お役立ちツールのアプリ名は、本書の作成後に変更されることがあります。

1 お気に入り を押す

2 1～8のタブを押す
各タブにお気に入りを追加できます。

3 未登録の ＋ を押す

4 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【お役立ちツール】を押す

5 インターネット接続についてのメッセージを確認し、【OK】を押す

6 アプリを選ぶ

メニューが表示されていないときは左右にフリック、または【◀】/【▶】を押して、画面をスクロールさせます。

7 アカウントを選択する

アカウントがPINコードを必要とする場合は、PINコードも入力してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

8 選択した機能の一覧を確認し、【OK】を押す

9 お気に入り名を入力し、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前（お気に入り01など）は消すことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

10 【OK】を押し、登録を終了する

登録したお気に入りを呼び出す

1 お気に入り を押す

2 呼び出したいお気に入りを押す

画面に設定条件が表示されます。
- コピー、ファクス、スキャンの場合は、【スタート】を押すと機能を実行できます。
- クラウド、お役立ちツールの場合は、【OK】を押すと機能を実行できます。

お気に入りを編集する

お気に入りの設定内容を変更する

登録したお気に入りの設定内容を変更できます。

補足

クラウド、お役立ちツールのお気に入りは変更できません。変更するときは、いったんお気に入りから削除して、新しいお気に入りとして登録してください。（詳しくは⇒30ページ「お気に入りを登録する」を参照してください。）

1 お気に入り を押す

2 変更したいお気に入りを押す

3 設定条件を変更する

機能により変更画面が異なります。
⇒30ページ「お気に入りを登録する」を参照してください。

4 設定の変更が完了したら【お気に入り登録】を押す

5 【OK】を押す

6 【はい（上書き）】を押す

【いいえ（新規作成）】を押すと、条件を変更した設定で新たにお気に入りを登録します。
登録名も変更する場合は、 を長押しして現在の名前を消去し、新しい名前を入力して【OK】を押します。
ファクスのとき、またはスキャンでEメール送信をするときは、ヨミガナを設定し【OK】を押します。

7 【OK】を押し、変更を終了する

お気に入りの登録名を変更する

1 お気に入り を押す

2 名前を編集するお気に入りを長押しする

補足
→【全てのメニュー】→【お気に入り設定】の順に押して表示されるお気に入り一覧から、名前を編集するお気に入りを選ぶこともできます。

3 【名前の変更】を押す

4 を押して、古い名前を消去する
長押しすると登録名は一度に消去されます。

5 お気に入り名を再入力して、【OK】を押す
ヨミガナ入力画面が表示されたときは、ヨミガナを再入力して、【OK】を押してください。文字の入力については、⇒ユーザーズガイド応用編「文字を入力する」を参照してください。

登録したお気に入りを消去する

1 お気に入り を押す

2 消去するお気に入りを長押しする

補足
→【全てのメニュー】→【お気に入り設定】の順に押して表示されるお気に入り一覧から、消去するお気に入りを選ぶこともできます。

3 【消去】を選ぶ

4 【はい】を押す

電話回線のこと

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
回線種別の自動設定を行います。[設定]→【全てのメニュー】→【初期設定】→【回線種別設定】→【自動設定】を押して回線種別の自動設定が行われた後、画面には以下のいずれかが表示されます。

ﾌﾟｯｼｭ回線です ：プッシュ回線に設定されたとき

ﾀﾞｲﾔﾙ20PPSです ：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 【設定できませんでした】と表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。
  電話機コードを接続しない場合は、[×]を押してください。【中止します よろしいですか？】と表示されますので、【はい】を押してください。
- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合、手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。お買い上げ時の設定はプッシュ回線です。
  手動で回線種別を設定する場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

回線状態を確認する

本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。

1 用紙を用紙トレイにセットする

⇒45ページ「用紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。

2 [設定]→【全てのメニュー】→【ファクス】→【電話回線診断】を押す

【電話回線の接続状況を診断し 結果を印刷します 診断を開始しますか?】と表示されます。

3 【はい】を押す

回線診断が始まります。診断は、回線接続→外付電話接続→ダイヤルトーン→回線種別の順に行われます。診断が終わると、電話回線診断レポートが印刷されます。

次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合

次世代ネットワーク（NGN）とは、電話やインターネット、放送など、目的ごとに異なるさまざまなネットワークを、IP技術を用いて統合した新しい情報通信ネットワークです。この次世代ネットワーク（NGN）を通じてのみ、IPファクスが利用できます。

補足

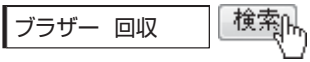
- 次世代ネットワーク（NGN）に接続するには、NTTのフレッツ光ネクストに契約のうえ、専用のホームゲートウェイを設置する必要があります。
- 次世代ネットワーク（NGN）についてのご質問は、NTTにお問い合わせください。
- ホームゲートウェイに設定するデータは、NTTから送付される資料をご覧ください。
- ホームゲートウェイの接続方法や不具合は、NTTにお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が異なる場合があります。

リサイクル・廃棄のこと

消耗品の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりました消耗品の回収にご協力をお願いいたします。
詳しくは以下のホームページを参照してください。
http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

回収対象となる消耗品
・トナーカートリッジ　・ドラムユニット



本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。
事業所　：産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。
一般家庭：小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者に引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。
対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

2 まずは使ってみましょう

用紙の基本

用紙セットの流れ

基本的な用紙のセットの流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　セットできる用紙を確認する

トレイの場所やセットできる用紙の種類などを確認して、用紙を準備します。

⇒41ページ「セットできる用紙」
⇒43ページ「使用できない用紙」

STEP 2　用紙をセットする

用紙トレイまたは多目的トレイに用紙をセットします。正しくセットされていない場合、紙づまりや故障の原因になりますので、十分にご注意ください。

⇒45ページ「用紙トレイに用紙をセットする」
⇒48ページ「多目的トレイに用紙をセットする」

STEP 3　セットした用紙に合わせて本体の設定を変更する（必要に応じて）

本体で設定されている用紙の種類やサイズ（お買い上げ時は【普通紙】【A4】）と実際にセットした用紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

設定した内容は次に変更するまで保存されるので、セットした用紙と本体の設定内容が合っているかを必要に応じて確認してください。

⇒54ページ「セットした用紙に合わせて本体の設定を変更する」

セットできる用紙

本製品では、以下の表に記載されている種類、サイズ、枚数の用紙をセットできます。また、用紙トレイと多目的トレイの他に、オプションの増設用紙トレイ※を増設することにより、最大1,040枚（80g/m^{2}の普通紙の場合）、セットできます。

※：LT-5500（250 枚）/LT-6500（520 枚）（MFC-L5755DW の場合）、LT-5505（250 枚）/LT-6505（520 枚）（MFC-L6900DW の場合）

トレイ名称	用紙の種類	用紙のサイズ	枚数
用紙トレイ （トレイ1）	普通紙、普通紙（厚め）、 厚紙 （60g/m^2～120g/m^2） 再生紙 レターヘッド カラー用紙 ハガキ※1	A4 USレター B5（JIS） A5 A5（横置き） A6 ハガキ（同等品）	（MFC-L5755DW） 250枚（80g/m^2） （MFC-L6900DW） 520枚（80g/m^2） 30枚（ハガキ）
多目的トレイ	普通紙、普通紙（厚め）、厚紙 （60g/m^2～120g/m^2） 超厚紙 （120g/m^2～200g/m^2） 再生紙 ラベル紙 封筒、封筒（薄め）、封筒（厚め）※2 （厚さ10mmまで） ハガキ※2 レターヘッド カラー用紙	ユーザー定義サイズ （幅76.2～215.9mm、 長さ127.0～355.6mm） A4 USレター B5(JIS) A5 A5（横置き） B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ（同等品） 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	50枚（80g/m^2） 10枚（ハガキ） 10枚（封筒）
増設用紙トレイ （トレイ2※3、 トレイ3※4）	普通紙、普通紙（厚め）、厚紙 （60g/m^2～120g/m^2） 再生紙 レターヘッド カラー用紙	A4 USレター B5（JIS） A5	最大1,040枚（80g/m^2）

※1 ：⇒47ページ「厚紙、ハガキに印刷する場合」を参照してください。

※2：⇒ 50 ページ「厚紙、超厚紙、ハガキ、ラベル紙に 印刷する場合」を参照してください。

※3：オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 1 台増設したときにメニューが表示されます。

※4：オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 2 台増設したときにメニューが表示されます。

補足

- 宛名ラベルは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをおすすめします。
- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の用紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。
- 上面排紙トレイに一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m^2 紙）の場合、MFC-L5755DW のときは約 150 枚、MFC-L6900DWのときは250枚です。

使用できない用紙

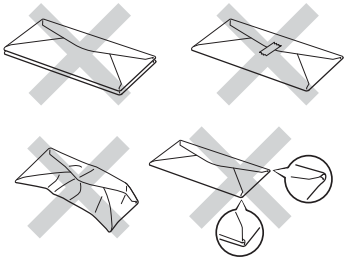
！重要

以下のような用紙は絶対に使用しないでください。印刷品質が低下したり、本製品にダメージを与えたりする恐れがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証またはサービス契約対象外となりますので、ご注意ください。

使用できない用紙

- 光沢紙
- コート紙
- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目の入った用紙
- 極端に滑らかな用紙
- 極端にざらつきのある用紙
- 極端に薄い用紙
- カールしている用紙
  カールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの用紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- 折り目やしわのある用紙
- ホッチキスや付箋の付いている用紙
- 指定された坪量を超える用紙
- 穴のあいた用紙（ルーズリーフなど）
- 酸性、アルカリ性の用紙
  中性紙をお使いください。
- よこ目用紙
  紙づまりや複数枚の用紙が一度に送られる原因になります。
- 湿っている用紙や印刷済みの用紙
  紙づまりや故障の原因になります。
- OHPフィルム
- アイロン転写用紙

使用できない封筒



以下のような封筒は使用しないでください。
- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンターで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- 本製品の印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒

注意

■いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。

■正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。

ほとんどの封筒に印刷できますが、封筒の仕上がりによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。レーザープリンター用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず少部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。⇒44ページ「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

用紙トレイに用紙をセットする

！ 重 要

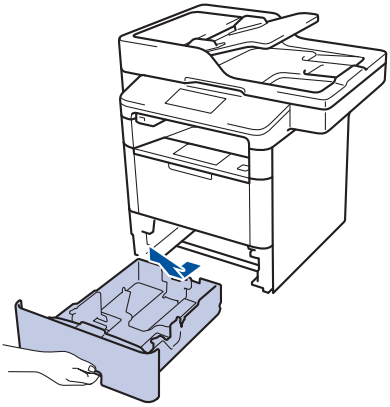
用紙ガイドが用紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で用紙がずれ、故障の原因になります。

注 意

■用紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

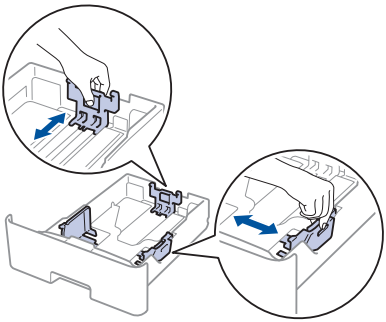
■種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。

1 用紙トレイを本製品から完全に引き出す



2 緑色のロック解除ボタンを押しながら用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙の表示位置に合わせる

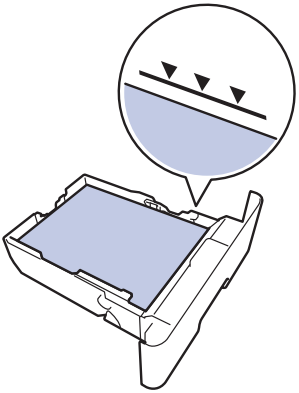
用紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。



3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、用紙をよくさばく

4 印字面を下にして用紙トレイに用紙を入れる

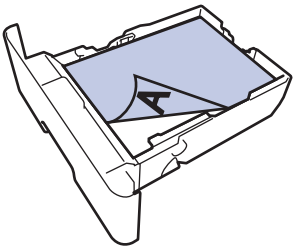
- 用紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 用紙ガイドとセットした用紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。



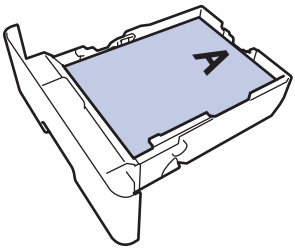
補足

●レターヘッドや印刷済み用紙に印刷する場合は、用紙の向きを以下のようにセットしてください。

片面印刷の場合：
印字面を下に、上を手前にしてセットする。



両面印刷の場合：
印字面を上に、上を奥にしてセットする。



●レターヘッドや印刷済み用紙に両面印刷する場合は、 → 【全てのメニュー】→【プリンター】→【両面印刷】→【片面データ搬送方式】で【両面搬送経路】に設定してください。

5 用紙トレイをゆっくりと本製品に戻す

6 排紙ストッパー 1を開く

注意

印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパー 1を開いてください。

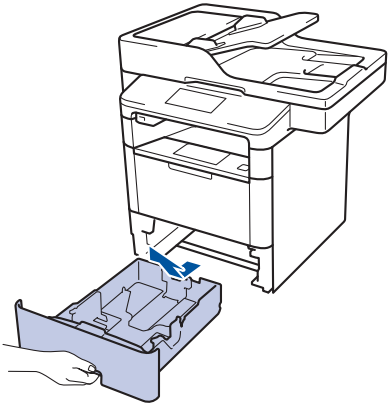
7 印刷する

プリントデータを本製品に送信します。

厚紙、ハガキに印刷する場合

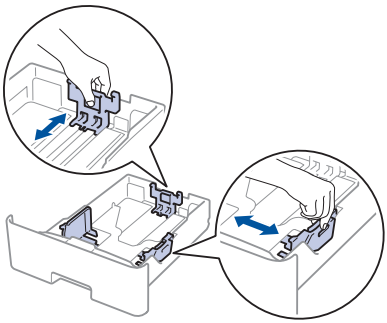
厚紙やハガキに印刷する場合は、バックカバーに排紙します。

1 用紙トレイを本製品から完全に引き出す

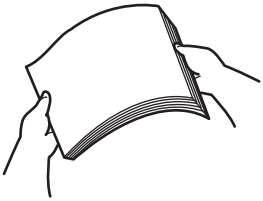


2 緑色のロック解除ボタンを押しながら用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙の表示位置に合わせる

用紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

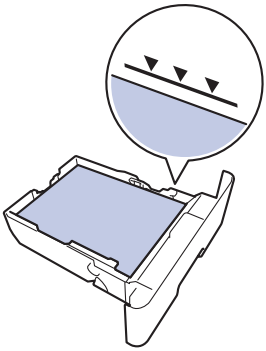


3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、用紙をよくさばく



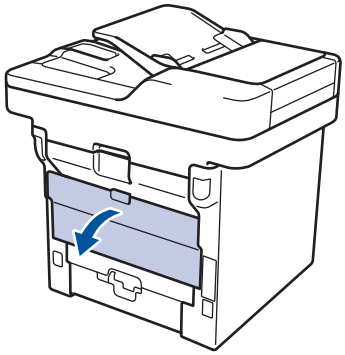
4 印字面を下にして用紙トレイに用紙を入れる

- 用紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 用紙ガイドとセットした用紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。

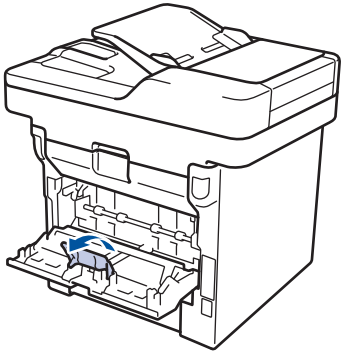


5 用紙トレイをゆっくりと本製品に戻す

6 バックカバーを開ける



7 排紙ストッパー 2を開く



注意

印刷された用紙が、バックカバーから滑り落ちないように排紙ストッパー 2を開いてください。

8 印刷が終わったら、排紙ストッパー 2を閉じる

9 バックカバーを閉じる

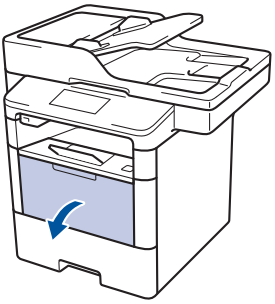
多目的トレイに用紙をセットする

超厚紙、ラベル紙、封筒、封筒（厚め）、封筒（薄め）は、多目的トレイにセットしてください。

普通紙、普通紙（厚め）、再生紙、レターヘッド、カラー用紙に印刷する場合

1 排紙ストッパー 1を開く

2 多目的トレイを開ける

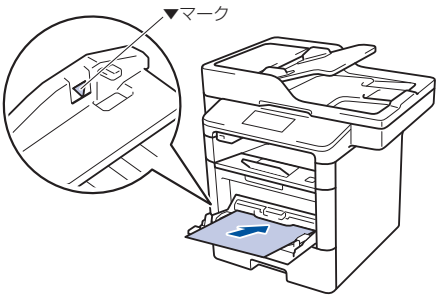


3 用紙ストッパーを引き出し、開く

4 用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙の表示位置に合わせる

用紙ガイドにロック解除レバーがある場合は、ロック解除レバーを押しながら用紙ガイドをスライドさせてください。

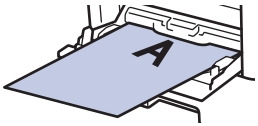
5 印字面を上にして用紙を入れる



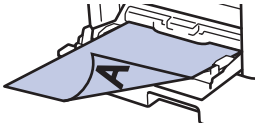
補足

- 用紙がトレイの上で平らになっていること、用紙が用紙ガイドの両側にある▼マークより下の位置にあることを確認してください。用紙を▼マークより上になるように収めると、紙づまりを起こすおそれがあります。
- 用紙ガイドとセットした用紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。
- レターヘッドや印刷済み用紙に印刷する場合は、用紙の向きを以下のようにセットしてください。

片面印刷の場合：
印字面を上に、上を奥にしてセットする。



両面印刷の場合：
印字面を下に、上を手前にしてセットする。



- レターヘッドや印刷済み用紙に両面印刷する場合は、 →【全てのメニュー】→【プリンター】→【両面印刷】→【片面データ搬送方式】で【両面搬送経路】に設定してください。

注意

用紙は正しい位置にまっすぐ挿入してください。正しく挿入されないと、印刷のゆがみや紙づまりの原因となります。

6 印刷する

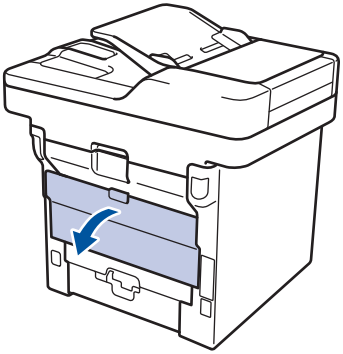
プリントデータを本製品に送信します。

7 印刷が終わったら、多目的トレイを閉じる

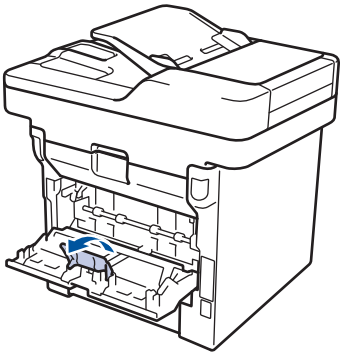
厚紙、超厚紙、ハガキ、ラベル紙に印刷する場合

厚紙、超厚紙、ハガキ、ラベル紙に印刷する場合は、印刷前に排紙場所を設定する必要があります。以下の手順に従って本製品を設定してください。

1 バックカバーを開ける



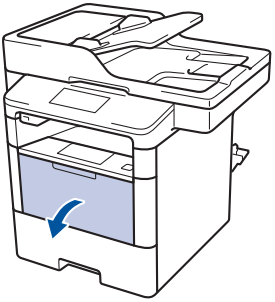
2 排紙ストッパー 2を開ける



注意

印刷された用紙がバックカバーから滑り落ちないように、排紙ストッパー 2を開いてください。

3 多目的トレイを開ける

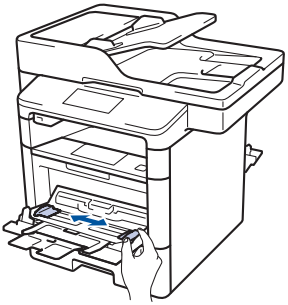


4 用紙ストッパーを引き出し、開く

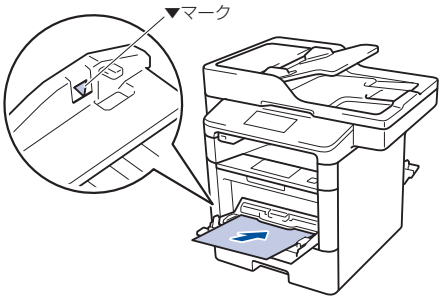
用紙ストッパー

5 用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙の表示位置に合わせる

用紙ガイドにロック解除レバーがある場合は、ロック解除レバーを押しながら用紙ガイドをスライドさせてください。



6 印字面を上にして用紙を入れる



注意

用紙は正しい位置にまっすぐ挿入してください。正しく挿入されないと、印刷のゆがみや紙づまりの原因となります。

7 印刷する

プリントデータを本製品に送信します。

補足

紙づまりしないように、印刷後は用紙をすぐに取り出してください。

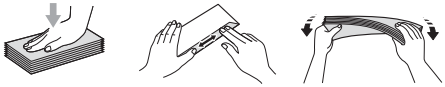
8 印刷が終わったら、多目的トレイを閉じる

9 排紙ストッパー 2を閉じる

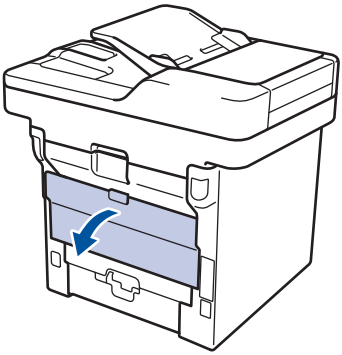
10 バックカバーを閉じる

封筒に印刷する場合

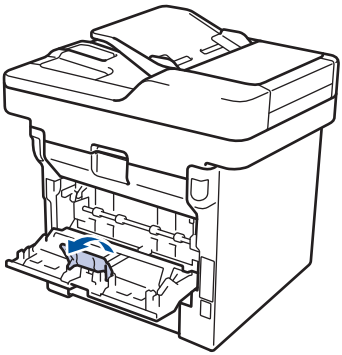
封筒に印刷する場合は、以下の手順に従って封筒をセットしてください。
ご使用の前に封筒の角やへりをよくならして、できるだけ平らにしてください。



1 バックカバーを開ける



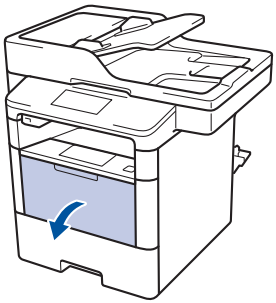
2 排紙ストッパー 2を開ける



注意

印刷された用紙がバックカバーから滑り落ちないように、排紙ストッパー 2を開いてください。

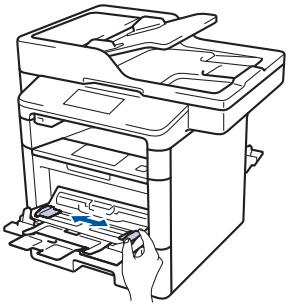
3 多目的トレイを開ける



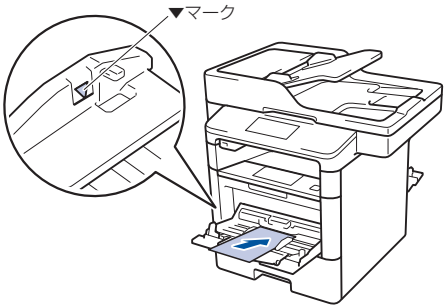
4 用紙ストッパーを引き出し、開く

5 用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙の表示位置に合わせる

用紙ガイドにロック解除レバーがある場合は、ロック解除レバーを押しながら用紙ガイドをスライドさせてください。

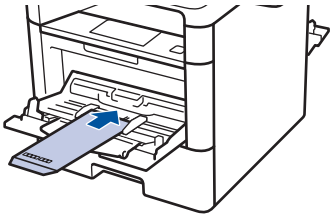


6 封筒を入れる



注意

長形3号封筒、長形4号封筒の場合：
封筒のセット方向に注意してください。印字面を上にして、フラップが手前になるように入れます。



補足

- 封筒は最大 10 枚まで入れることができます。封筒がトレイの上で平らになっていること、封筒が用紙ガイドの両側にある▼マークより下の位置にあることを確認してください。封筒を▼マークより上になるように収めると、紙づまりを起こすおそれがあります。
- 用紙ガイドとセットした用紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。
- 紙づまりしないように、印刷後は封筒をすぐに取り出してください。

7 プリンタードライバーで以下を設定して、印刷する。

- ［用紙サイズ］で印刷する封筒のサイズを設定する
- ［用紙種類］で印刷する封筒の種類を設定する

8 印刷が終わったら、多目的トレイを閉じる

9 排紙ストッパー 2を閉じる

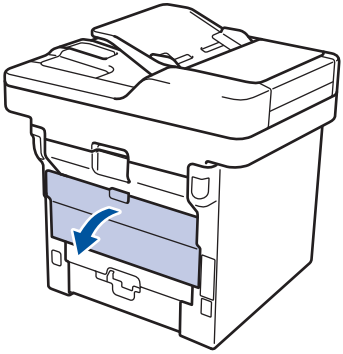
10 バックカバーを閉じる

用紙が排出される場所

通常、用紙は本製品前部の上面排紙トレイから排紙されます。

バックカバー

バックカバーを開くと、多目的トレイに挿入した用紙を曲げずに背面から取り出すことができます。



補足

紙づまりしないように、印刷後は用紙をすぐに取り出してください。

セットした用紙に合わせて本体の設定を変更する

用紙トレイにセットした用紙の種類やサイズに合わせて、本体の設定を変更します。（お買い上げ時は【普通紙】【A4】に設定されています。）
コピー機能の場合、A4/USレター/B5（JIS）/A5/A5 L（A5 横置き）/A6/COM-10/モナーク/C5/DL/ハガキ/洋形4号封筒/長形3号封筒/長形4号封筒サイズの用紙を使用できます。ファクスの印字の場合、A4サイズで印刷してください。

用紙のサイズを変更する

用紙トレイにセットした用紙のサイズを選択します。

1 →【トレイ設定】→【用紙サイズ】を押す

補足
→【全てのメニュー】→【基本設定】→【用紙トレイ設定】→【用紙サイズ】を順に押しても設定できます。

2 用紙トレイを選択する

補足
【用紙トレイ#2】【用紙トレイ#3】は、オプションの増設用紙トレイ※を増設したときに表示されます。

※ MFC-L5755DW をお使いの場合は LT-5500 または LT-6500、MFC-L6900DWをお使いの場合はLT-5505または LT-6505

3 用紙サイズを選択する

【A4】/【USレター】/【B5（JIS）】/【A5】/【A5 L（A5 横置き）】※1※2/【B6（JIS）】※1※2/【A6】※1※2/【Com-10】※1/【モナーク】※1/【C5】※1/【DL】※1/【ハガキ】※1※2/【洋形 4号封筒】※1/【長形3号封筒】※1/【長形4号封筒】※1から選択します。

※1 ：用紙トレイ選択時、多目的トレイを選択した場合。
※2 ：用紙トレイ選択時、用紙トレイ#1を選択した場合。

4 を押す

補足
- 適切なサイズの用紙がトレイにセットされていないとき、受信したファクスは本機のメモリーに保存され、【用紙サイズが合いません】のメッセージが画面に表示されます。対処方法については⇒ 117 ページ「画面にエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。
- トレイに用紙が入っていないとき、【用紙がありません】のメッセージが画面に表示されます。用紙をトレイにセットしてください。

用紙のタイプを変更する

用紙トレイにセットした用紙のタイプを選択します。

1 →【トレイ設定】→【用紙タイプ】を押す

補足
→【全てのメニュー】→【基本設定】→【用紙トレイ設定】→【用紙タイプ】を順に押しても設定できます。

2 用紙トレイを選択する

補足
【用紙トレイ#2】【用紙トレイ#3】は、オプションの増設用紙トレイ※を増設したときに表示されます。

※ MFC-L5755DW をお使いの場合は LT-5500 または LT-6500、MFC-L6900DWをお使いの場合はLT-5505または LT-6505

3 用紙の種類を選択する

【普通紙】/【普通紙（厚め）】/【厚紙】/【超厚紙】※1/【再生紙】/【ラベル紙】※1/【封筒】※1/【封筒（薄め）】※1/【封筒（厚め）】※1/【ハガキ】※1※2/【レターヘッド】/【カラー用紙】から選択します。

※1 ：用紙トレイ選択時、多目的トレイを選択した場合。
※2 ：用紙トレイ選択時、用紙トレイ#1を選択した場合。

4 を押す

用紙残量通知を設定する（MFC-L6900DWのみ）

用紙トレイにセットした用紙の残量が少なくなると、メッセージを表示します。お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。

1 →【トレイ設定】→【用紙残量通知】→【用紙残量通知】を押す

2 設定を変更する

【オン】と【オフ】を切り替えます。

3 を押す

用紙残量通知の通知レベルを設定する（MFC-L6900DWのみ）

用紙残量通知を「オン」に設定したときに、メッセージを表示する用紙の残量レベルを選択します。お買い上げ時は、【残量 極少】に設定されています。

1 →【トレイ設定】→【用紙残量通知】→【通知レベル】を押す

2 通知レベルを選択する

【残量 少】と【残量 極少】を切り替えます。

3 を押す

トレイ開閉時確認を設定する

トレイ開閉時確認は、本体の設定と用紙トレイにセットした用紙サイズが一致するように、トレイの用紙設定を促すメッセージを表示します。
お買い上げ時は、【オン】に設定されています。

1 →【トレイ設定】→【トレイ開閉時確認】を押す

2 設定を変更する

【オン】と【オフ】を切り替えます。

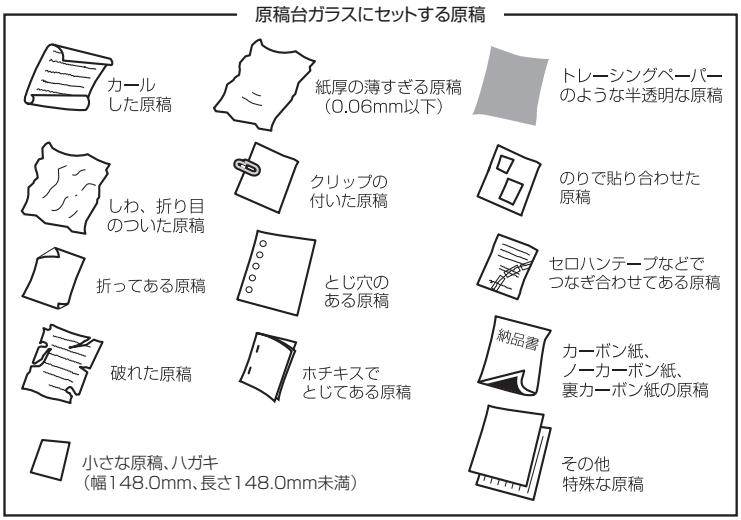
3 を押す

原稿の基本

原稿セットで注意すること

インクや修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
ADFに原稿をセットするときに注意することは、以下のとおりです。

- 原稿のクリップやホッチキスの針は、故障の原因となりますので取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿を強く押しこまないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ADFでは、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。



注意

コピーについて

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - •紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債、地方債
  - •外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - •未使用の郵便切手やハガキ（日本郵便株式会社製 通常郵便葉書）
  - •政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - •著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - •民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - •政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

原稿をセットする

原稿をセットするには、ADFまたは、原稿台ガラスの2つの方法があります。原稿の種類や形状に応じてどちらかを選択してください。
セットできる原稿については、⇒56ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

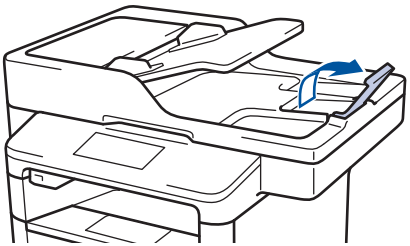
原稿台ガラスやスキャナー読み取り部が汚れていると、印刷品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナー読み取り部の清掃については、⇒97ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

ADFにセットする

原稿は、MFC-L5755DW は一度に50枚まで、MFC-L6900DWは一度に80枚までセットできます。
ADFで読み取ることができる原稿サイズは以下のとおりです。

- 長さ：147.3～355.6mm
- 幅：105～215.9mm
- 用紙坪量：64～90g/㎡

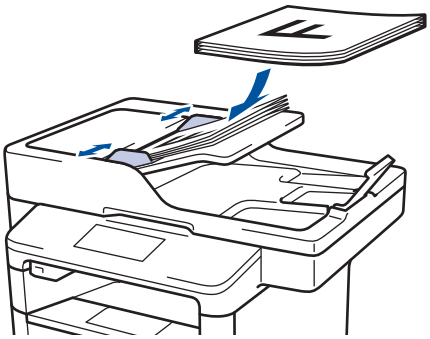
1 **原稿ストッパーを開ける**



2 **紙づまりを防ぐため、原稿をよくさばいて、原稿を揃える。**

3 **原稿の読み取る面を上にして、原稿の先端が軽く当たり、画面に【原稿セットOK】と表示されるまで差し込む**

原稿ガイドは原稿の幅に合わせます。



原稿台ガラスにセットする

原稿は1枚ずつセットします。本または厚い原稿なども原稿台にセットします。
原稿台で読み取ることができる原稿サイズは以下のとおりです。

- 長さ：最大300mm（MFC-L5755DW）
  最大355.6mm（MFC-L6900DW）
- 幅：最大215.9mm
- 重さ：2kg

! 重要

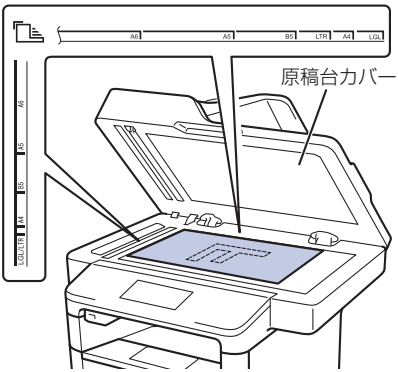
本や厚みのある原稿のときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また、上からあまり強く押さないでください。

注意

原稿台カバーは必ず閉じてからファクス送信、コピー、またはスキャンをしてください。開いたままですと画像が黒くなることがあります。

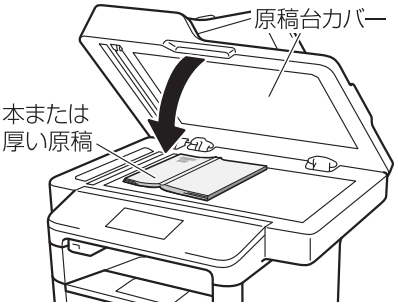
1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイド左奥に合わせて、原稿の読み取る面を下にセットする



3 原稿台カバーを閉じる

本や厚みのある原稿のときは、原稿台カバーを無理に閉じずに軽く押さえてください。



原稿の読み取り設定をする

使用状況に応じて原稿の読み取り設定をしてください。

原稿台スキャンサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスをする場合の原稿読み取りサイズを選択します。（お買い上げ時は【A4】に設定されています。）

1 **【ファクス】を押す**

みるだけ受信を設定している場合は【ファクス送信】を押します。

2 **【設定変更】を押す**

3 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押し【原稿台スキャンサイズ】を押す**

4 **読み取りサイズを選択する**

【US レター】／【A4】／【リーガル / フォリオ】※から選択します。

※：MFC-L6900DW のみ

5 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押し【設定を保持する】を押す**

6 **【はい】を押す**

7 **を押す**

ファクス送信の基本

基本的なファクス送信の流れと機能を説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。
また、本製品はIPファクス※に対応しています。IPファクスを使ってファクス送信することができます。IPファクスを使ってのファクス送信の操作は、通常のファクス送信の操作と同じです。
※：IPファクスをご利用いただくには、NTTのフレッツ光ネクストに契約する必要があります。フレッツ光ネクストについてのご質問は、NTT にお問い合わせください。

ファクス送信の流れ

ファクス送信には、自動送信と手動送信があります。ここでは自動送信を例に操作の流れを説明します。
手動送信については、⇒64ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。

注意

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は【オフ】にしてください。リアルタイム送信については⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

補足

- 【メモリがいっぱいです】と表示されたときは、本製品のメモリーがいっぱいです。メモリーに蓄積したファクスを出力してメモリーを消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は、ファクス画質と原稿の内容により影響を受けます。

STEP 1　原稿をセットする

原稿をセットするには以下の2つの方法があります。

● ADF にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してファクスできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもファクスできます。

ADFに原稿がないことを確認してください。

⇒56ページ「原稿セットで注意すること」
⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 2　ファクスモードに切り替える

画面の【ファクス】を押してファクスモードに切り替えます。

ファクス操作を行う場合には、必ずファクスモードになっていることを確認してください。

ファクスモードに切り替えると、以下のようなファクス標準画面に切り替わります。

①	お気に入り登録	ファクス送信時、ファクス番号を入力後に【お気に入り登録】ボタンを押すと、相手先のファクス番号と設定内容をお気に入りに登録することができます。
②	電話帳	すでに登録済みの電話帳の宛先を表示させたり、検索するときに押します。新たに電話帳登録することもできます。 ⇒64ページ「電話帳を使用する」 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
③	履歴	発信履歴や着信履歴からダイヤルするときに押します。
④	スタート	現在の設定でファクス送信を開始するときに押します。
⑤	設定変更	画質や濃度などの設定を変更するときに押します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
⑥	ファクス画質	現在設定されているファクス画質の情報が表示されます。
⑦	再ダイヤル	最後にダイヤルした相手に送信するときに押します。
⑧	オンフック	手動で電話回線を接続/切断するときに押します。

STEP 3　ファクス送信の機能を設定する

必要に応じてファクスの送りかたを設定します。【設定変更】を押して上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して、設定変更する機能を選択します。設定の変更が完了したら【OK】を押します。

● 送信条件

■同じ原稿を複数の相手に送信する〔同報送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■海外へ送信する〔海外送信モード〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■指定時刻に送信する〔タイマー送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■送付書を付けて送信する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■IP ファクスを使ってファクス送信する
⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」
ただし、以下の2 つの条件を満たす必要があります。

- 送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続している
  ⇒ 37 ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」
- TCP/IP 設定の IP 取得方法が、【Auto】または【DHCP】に設定されている
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

● 原稿読み取り

■画質
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿濃度
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿台ガラスの読み取りサイズ
原稿台ガラスでA4サイズの原稿を読み取るときは、必ず【原稿台スキャンサイズ】を【A4】に設定してください。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■両面読み取り
両面原稿を送信するときは【両面ファクス】を押して、読み取り方法を設定します。また、原稿の読み取り方向を設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

ポイント

複数の設定を組み合わせたいとき

設定後、他の機能を設定します。他の機能を設定しないときは、「STEP 4　宛先を指定する」に進みます。

STEP 4　宛先を指定する

● 直接入力

■ダイヤルボタンを使用する
ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

● 電話帳を利用

■本製品の電話帳に宛先を登録する
⇒76ページ「電話帳の基本」

■電話帳から検索する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■LDAP サーバー電話帳を使用する
本製品がLDAP サーバーと接続されている場合にのみ使用できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● その他

■同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

STEP 5　スタートする

● ADF から送信するとき

【スタート】を押して、ファクスを開始します。
正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスから送信するとき

【スタート】を押して、ファクスを開始します。

•原稿が1枚のとき
【いいえ】を押して、ファクスを開始します。

•原稿が複数枚のとき
【はい】を押して、次の原稿をセットした後【OK】を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押して、ファクスを開始します。

ポイント

ファクス送信を途中で中止したいとき
→ → 【はい】を押します。

電話帳を使用する

ファクスモードに切り替えて【電話帳】を押した後、一覧から簡単に宛先を選ぶことができます。電話帳には最大300件登録できます。

補足

電話帳への登録のしかたは⇒77ページ「電話帳に登録する」を参照してください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、【オンフック】を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 **原稿をセットして、ファクスモードに切り替える**

2 **【オンフック】を押して、相手先のファクス番号を入力する**

3 **相手先の受信音（ピー）を確認して【スタート】を押す**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で【送信】を押します。

補足

- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。
- IPファクスの設定にかかわらず、通常のファクス送信になります。

ファクス送信を中止する

原稿の読み込みや送信を途中で中止します。

1 **→【はい】を押す**

ファクス受信の基本

ファクス受信の流れ

受信モードの設定の流れを説明します。受信モードを設定すると、電話モード以外では自動的にファクスを受信します。ここでは、受信したファクスを自動的に本製品の用紙で印刷する自動受信を例に操作の流れを説明します。他に本製品のメモリーで受信するメモリー受信、受信操作を自分で行う手動受信、本製品に接続されている電話機を使用して受信操作を行うリモート受信などさまざまな受信方法があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

補足

ファクス受信に使用できる用紙のサイズは、A4です。

STEP 1　受信モードを選ぶ

本製品の受信モードには以下の4つの種類があります。

使用目的に応じて、受信モードを選択します。

⇒67ページ「受信モードの種類」

● お使いの電話機を本製品と接続しない場合

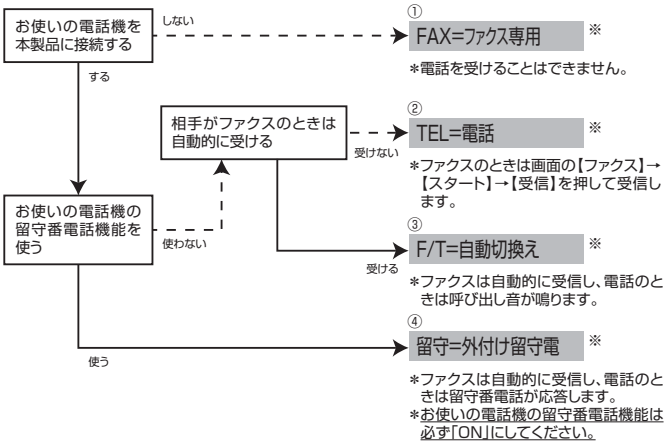
①ファクス専用モード

● お使いの電話機を本製品と接続する場合

② 電話モード

③ 自動切換えモード

④ 外付け留守電モード



※ 受信モード設定時、画面に表示される選択項目です。

STEP 2　受信モードを設定する

STEP 1で選択したモードに合わせて、本体を設定します。

⇒71ページ「受信モードを設定する」

STEP 3　受信するファクスの印刷方法を設定する（必要に応じて）

必要に応じて、ファクスの印刷方法を設定します。

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

■自動的に縮小して印刷する
■受信スタンプを設定する
■受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。
- 用紙がなくなったとき
- トナーがなくなったとき
- 用紙がつまったとき
- 間違ったサイズの用紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

補足

● メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。
● メモリー代行受信できるのは約500枚です。

受信モードの種類

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

呼び出しベルが設定した回数だけ鳴ります。
（呼び出しベル回数は0～10回の中から選択できます。）

- **相手がファクスのとき**
  自動で受信します。
- **相手が電話のとき**
  「ピー」という応答音だけを相手に返します。

補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼び出しベル回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出しベル回数を0回か1回に設定してください。呼び出しベル回数の設定のしかたは⇒71ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。

自動切換えモード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

呼び出しベルが設定した回数だけ鳴ります。
（呼び出しベル回数は0～10回の中から選択できます。）

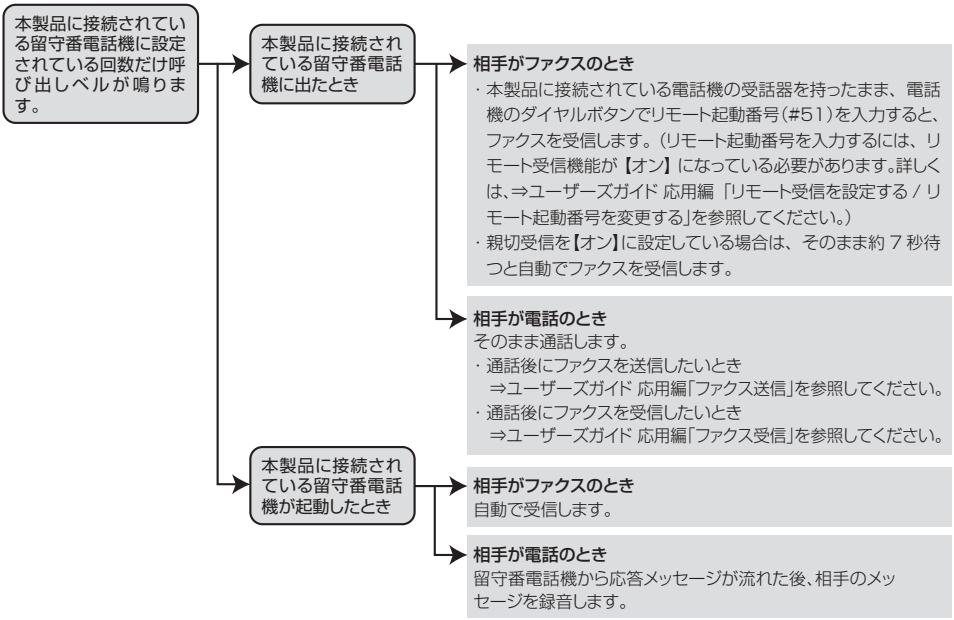
- 呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機に出なかったとき
  - **相手がファクスのとき**
    自動で受信します。
  - **相手が電話のとき**
    呼び出しベルが鳴り終わった後、短く「トゥルットゥルッ」と本製品が鳴り、本製品に接続されている電話機も鳴りますので、受話器を取ってお話しください。
- 呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機に出たとき
  - **相手がファクスのとき**
    - 受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、本製品に接続されている電話機の受話器を持ったまま、電話機のダイヤルボタンでリモート起動番号（#51）を入力すると、ファクスを受信します。（リモート起動番号を入力するには、リモート受信機能が【オン】になっている必要があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「リモート受信を設定する / リモート起動番号を変更する」を参照してください。）
    - 親切受信を【オン】に設定している場合は、そのまま約 7 秒待つと自動でファクスを受信します。
  - **相手が電話のとき**
    そのまま通話します。
    - 通話後にファクスを送信したいとき
      ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
    - 通話後にファクスを受信したいとき
      ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

補足

- ADF　に原稿がセットされていると、【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。
  ただし、以下の場合はADFに原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - 親切受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
  - リモート受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「リモート受信の操作のしかた」
  - 自動受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 呼び出しベル回数の設定のしかたは⇒71ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。
- 電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。⇒71ページ「ファクス無鳴動受信を設定する」を参照してください。
- 自動切換えモードでは、本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を【オフ】にしてください。
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。
- 呼び出しベル回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定することをおすすめします。
- 本製品と接続している電話によっては、電話機から呼び出しベルが鳴らない場合があります。このときは、呼び出しベル回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付け留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。



注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1〜2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

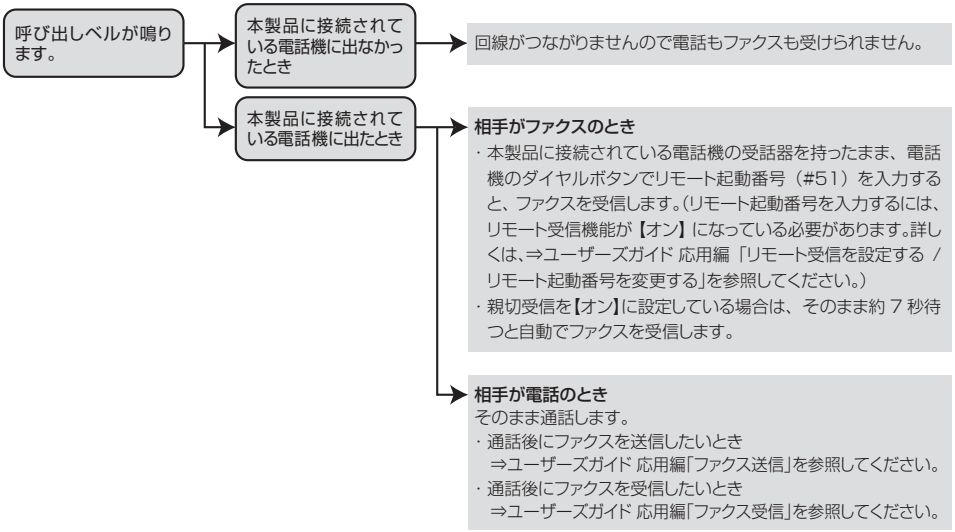
● ADF　に原稿がセットされていると、【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。
ただし、以下の場合はADFに原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 親切受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
- リモート受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 自動受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」

● メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。

● 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話機に出た後、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話機を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。



補足

ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。⇒ユーザーズガイド　応用編「ファクス受信」を参照してください。
- ADFに原稿がセットされていると、【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。
  ただし、以下の場合はADFに原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - 親切受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
  - リモート受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
  - 自動受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【受信】を押してください。

キャッチホン※契約をされているとき

- NTT とキャッチホンの契約をされている方は、キャッチホンサービスを利用することができます（局番なしの 116 番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをおすすめします。

※:「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを設定する

1 →【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【受信モード】を押す

2 受信モードを選択する

【FAX=ファクス専用】/【F/T=自動切換え】/【留守=外付け留守電】/【TEL=電話】から選択します。

3 を押す

補足

【FAX=ファクス専用】以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼び出しベル回数を設定する

受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のときに、自動受信するまでの呼び出しベル回数を設定します。

1 →【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【呼出ベル回数】を押す

2 呼出ベル回数を選ぶ

【0】/【1】/【2】/【3】/【4】/【5】/【6】/【7】/【8】/【9】/【10】から選択します。

3 を押す

補足

- 呼び出しベル回数は、0 回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出しベル回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼び出しベル回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼び出しベル回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定されることをおすすめします。
- 受信モードが【FAX=ファクス専用】や【F/T=自動切換え】のとき、本製品に接続されている電話機の呼び出しベルも、ここで設定された回数だけ呼び出しベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには⇒ユーザーズガイド　応用編「着信音量を設定する」を参照してください。

再呼び出しベル回数を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに電話がかかってくると、呼び出しベルの後に、「トゥルットゥルッ」と呼び出しベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 →【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【再呼出ベル回数】を押す

2 再呼び出しベル回数を選ぶ

【8】/【15】/【20】から選択します。

3 を押す

補足

本製品に接続されている電話機に出なかった場合は、設定した回数だけ再呼び出しベルが鳴った後、自動的に電話が切れます。

ファクス無鳴動受信を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに、電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。

1 →【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【ファクス無鳴動受信】を押す

2 【オン】を押す

3 を押す

ファクスの見かた

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/印刷する

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。受信したファクスは、メモリーに保存されます。受信したファクスを画面で見るには、みるだけ受信を【オン(画面で確認)】に設定してください。受信したファクスを印刷するようにしたい場合は、【オフ(受信したら印刷)】に設定してください。お買い上げ時は、【オフ(受信したら印刷)】に設定されています。

注意

みるだけ受信と、【PCファクス受信】または【ファクス転送】を同時に設定している場合は、ファクスの受信データはPCまたは転送先ファクス機に送信され、本製品には残りません。【PCファクス受信】または【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。受信したファクスを本製品で確認することができなくなるためご注意ください。

みるだけ受信を設定する

1 **→【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【みるだけ受信】を押す**

2 **【オン(画面で確認)】を押す**

【受信したファクスはメモリに保存され画面で確認できます
印刷はされませんがよろしいですか？】と表示されます。

3 **【はい】を押す**

4 **を押す**

新着ファクスを見る

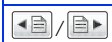
みるだけ受信設定時には、ファクスを受信すると、新着を知らせるメッセージが待ち受け画面に表示されます。

1 **【確認】を押す**

2 **確認したいファクスを選んで押す**

目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせます。新着ファクスには左側に新着マーク（青色）が表示されます。

3 下表を参考にして操作を行う

ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向にスクロールします
◀/▶	横方向にスクロールします。
	前のページ/次のページを表示します。
	90度ずつ右回転します。
	拡大/縮小表示します。
	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒74ページ「ファクスをメモリーから消去する」
	ファクス一覧に戻ります。
【スタート】	ファクスを印刷します。 ⇒73ページ「ファクスを印刷する」

補足

- 受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。
- 画面に表示できるファクス一覧は、99件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

4 を押す

既存のファクスを再度見たいときは

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

3 確認したいファクスを選ぶ

目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせます。既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。

4 新着ファクスを見るときと同様に、画面を操作して内容を確認する

ファクスを印刷する

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

3 印刷したいファクスを選ぶ

目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせます。既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。

4 印刷したいファクスが画面に表示された状態で【スタート】を押す

ファクスが複数ページの場合⇒手順5へ
ファクスが1ページのみの場合⇒手順6へ

5 印刷したいファクスのページを選ぶ

【全てのページをプリント / 表示ページのみプリント/表示ページ以降プリント】から選択します。
【表示ページのみプリント】または【表示ページ以降プリント】を選択した場合は、印刷終了後は自動的に待ち受け画面に戻ります。

6 印刷が終わると【全てのページを消去しますか？】と表示されるので、【はい】または【いいえ】を押す

【はい】を押すと、表示されているファクスの全てのページが消去されます。
【いいえ】を押すと、表示されているファクスはメモリーに残ります。

7 を押す

ファクスをメモリーから消去する

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す
受信ファクスの一覧が表示されます。

3 消去したいファクスを選ぶ
目的のファクスが表示されていないときは、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせます。既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。

4 消去したいファクスが画面に表示された状態で を押す

5 【はい】を押す
ファクスのデータが消去されます。

6 を押す

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを、新着ファクスおよび既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す
受信ファクスの一覧が表示されます。

3 【印刷/消去】を押す

4 【全て印刷(新着ファクス)】または【全て印刷(既読ファクス)】を押す
【全て印刷(新着ファクス)】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

5 を押す

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す
受信ファクスの一覧が表示されます。

3 【印刷/消去】を押す

4 【全て消去(新着ファクス)】または【全て消去(既読ファクス)】を押す
【全て消去(新着ファクス)】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。
【消去しますか？】と表示されます。

5 【はい】を押す
表示されているファクス一覧のデータが全て消去されます。

6 を押す

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

【みるだけ受信】を【オフ(受信したら印刷)】に設定すると、みるだけ受信が解除され、以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

補足

みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。⇒73ページ「ファクスを印刷する」、⇒74ページ「すべてのファクスを印刷する」

1 → 【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【みるだけ受信】を押す

2 【オフ(受信したら印刷)】を押す

【みるだけ受信をオフにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？】と表示されます。【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

3 【はい】を押す

【PCファクス受信】または【ファクス転送】を設定している場合、またはメモリー内にファクスデータがない場合、操作は終了です。

4 【全て消去】または【全て印刷してから消去】を押す

【全て消去】を押すと、【ファクスを消去しますか？】と表示されます。⇒手順5へ
【全て印刷してから消去】を押すと、メモリーに保存されている受信ファクスが印刷され、メモリーから消去されます。ここで操作は終了です。

5 【はい】を押す

メモリーに保存されている受信ファクスが消去されます。

6 を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。
【PCファクス受信】または【ファクス転送】を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定している場合のみ、自動的に印刷します。

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信】を【オフ(受信したら印刷)】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- カバーが開いているとき
- 用紙がなくなったとき
- トナーがなくなったとき
- 用紙がつまったとき
- 用紙のサイズを間違ってセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「メモリー代行受信について」を参照してください。

補足

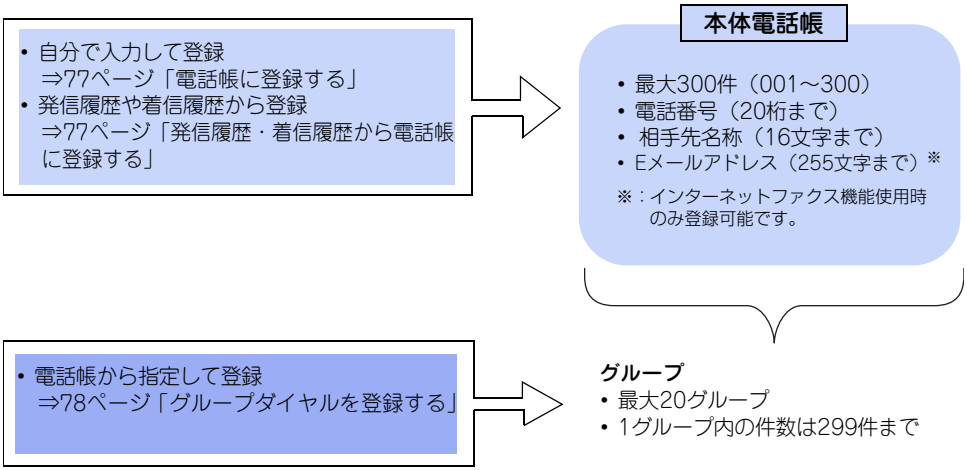
- メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。
- メモリー代行受信できるのは約 500 ページです。（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します。）

電話帳の基本

電話帳について

本製品の電話帳に相手先情報を登録する方法や、電話帳を編集する方法について説明します。
電話帳に相手先の情報を登録するには、新しく自分で入力したり、履歴から登録することもできます。
グループダイヤルは、電話帳に登録した複数の相手先をまとめて1つのグループとして登録します。
電話帳を使用してファクス送信をする方法は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
また、本製品はインターネットファクス機能※ に対応しております。インターネットファクス機能を使用することにより、LDAPサーバーを使用したり、インターネット経由でファクス送信することができます。

※：MFC-L5755DW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。インターネットファクス機能の詳細については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。



また本製品は、ネットワーク上のLDAPサーバーに直接アクセスし、電話帳データを流用することができます。
本体電話帳の登録件数を気にせずに相手先を指定できます。

電話帳に登録する

20桁までのファクス番号または255文字までのEメールアドレスと、16文字までの相手先の名称を最大300件登録することができます。

注意

■ファクス番号は必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの名前/着信履歴が正しく表示されない場合があります。

■間違ったファクス番号を誤って登録しないよう注意してください。ファクス番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

■登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。送付書については⇒ユーザーズガイド 応用編「送付書を付けて送信する」を参照してください。

補足

- 電話帳にファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に【*】を押してください。
- 文字入力のしかたについては⇒ユーザーズガイド　応用編「文字を入力する」を参照してください。
- 電話帳は、リモートセットアップやウェブブラウザーから登録することもできます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- 登録内容を忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷して確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リストの種類」を参照してください。

1 【ファクス】→【電話帳】→【登録/編集】→【電話帳登録】を押す

2 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は漢字/ひらがな/カタカナ16文字まで登録できます。読みがなは、自動的に16文字まで入力されます。⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」

3 【ヨミガナ】を押して、画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

編集する必要がない場合は、そのまま手順4へ進みます。読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

4 【宛先】を押して、画面に表示されているテンキー、またはダイヤルボタンで番号を入力し、【OK】を押す

ファクス番号は20桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。

- 数字：0 ～ 9
- 記号：＊、＃
- スペース：▶を押す
- ポーズ：約3秒の待ち時間（画面には「-」と表示）

※カッコは入力できません。
Eメールアドレスは255文字まで入力できます。

補足

インターネットファクス利用時は、を押すと、Eメールアドレスを入力することができます。

5 登録内容を確認し【OK】を押す

6 を押す

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示される発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リストを印刷する」

注意

■ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。

■【ナンバーディスプレイ】の設定が【外付け電話優先】の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

■電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 【ファクス】→【履歴】を押す

2 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

補足

最新の発信履歴30件と着信履歴30件が記録されています。

3 電話帳に登録したい番号を選ぶ

4 【設定】を押す

5 【電話帳に登録】を押す

6 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す

名前は漢字/ひらがな/カタカナ16文字まで登録できます。読みがなは、自動的に16文字まで入力されます。⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」

7 【ヨミガナ】を押して、画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

編集する必要がない場合は、そのまま手順8へ進みます。読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

8 【宛先】に番号が入力されていることを確認する

変更したい場合は、【宛先】を押し、番号を変更して【OK】を押します。

9 【OK】を押す

10 を押す

グループダイヤルを登録する

電話帳に登録した複数の相手先を、まとめて1つのグループとして登録します。これをグループダイヤルといいます。
送信のたびに複数の相手先を指定する必要がなく、グループを指定するだけで送信できます。同報送信などをするときに使うと便利です。グループダイヤルは、最大20グループ登録することができます。

注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめ電話帳を登録しておく必要があります。ファクス番号をそのまま入力してグループダイヤルに登録することはできません。

1 【ファクス】→【電話帳】→【登録/編集】→【グループ登録】を押す

2 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示するグループ名を入力し、【OK】を押す

名前は漢字/ひらがな/カタカナ16文字まで登録できます。読みがなは、自動的に16文字まで入力されます。⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」

3 【ヨミガナ】を押して、画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

編集する必要がない場合は、そのまま手順4へ進みます。読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

4 【追加／消去】を押して、グループに登録する相手先を選んでチェックマークを付ける

5 登録する相手先をすべて選び終わったら、【OK】を押す

6 登録内容を確認し【OK】を押す

7 を押す

電話帳を編集する

電話帳に登録している名前や番号を変更したり、消去できます。
送信待ちのファクスがある宛先(タイマー送信やファクス転送先など)は、画面で薄く表示されます。送信待ちのファクスをキャンセルするまでは、それらの宛先を変更したり消去することはできません。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。

電話帳を変更する

1 【ファクス】→【電話帳】→【登録/編集】→【変更】を押す

2 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して一覧から変更する相手先を押す

3 変更したい内容（名前、ヨミガナ、宛先）を選択する

4 内容を変更し【OK】を押す

補足
文字を変更するときは、【◀】/【▶】を押してカーソルを移動して、修正する文字をハイライト表示し、[×]を押します。その後新しい文字や数字を入力します。

5 必要に応じて手順3、4を繰り返す

6 変更内容を確認し【OK】を押す

7 を押す

電話帳を消去する

1 【ファクス】→【電話帳】→【登録/編集】→【消去】を押す

2 一覧から消去する相手先またはグループを選んでチェックマークを付ける

3 消去する相手先またはグループをすべて選び終わったら、【OK】を押す

4 を押す

コピーの基本

コピーの流れ

基本的なコピー操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　原稿をセットする

原稿をセットするには以下の2つの方法があります。

● ADF にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してコピーできます。

原稿が正しくセットされると、画面に【原稿セットOK】と表示されます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもコピーできます。

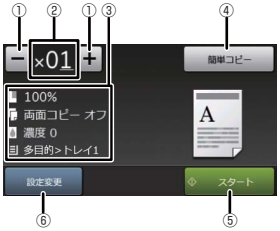
ADFに原稿がないことを確認してください。

⇒56ページ「原稿セットで注意すること」
⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 2　コピーモードに切り替える

画面の【コピー】を押してコピーモードに切り替えます。
コピー操作を行う場合には、必ずコピーモードになっていることを確認してください。

コピーモードに切り替えると、以下のようなコピー標準画面に切り替わります。



①	部数入力ボタン	部数を増やすときは、【+】を押します。 部数を減らすときは、【-】を押します。 部数はダイヤルボタンでも変更できます。
②	部数	コピーする部数が表示されます。
③	コピー設定	現在設定されている以下の設定を確認、または一時的に変更できます。 • 拡大/縮小 • 両面コピー • コピー濃度 • トレイ選択
④	簡単コピー	簡単コピーの設定画面が表示されます。
⑤	スタート	コピーを開始します。
⑥	設定変更	コピー画質や拡大/縮小など、さまざまな設定を変更できます。 ⇒83ページ「コピー設定について」

STEP 3　部数を入力する

部数（1～99）をダイヤルボタンで入力します。

STEP 4　コピー設定をする

簡単コピーメニューを選択します。

簡単コピーにはいろいろなコピーを最適に行うための設定値があらかじめ登録されています。

⇒82ページ「簡単コピーメニューについて」

必要に応じて【設定変更】を押してコピーの仕上がりかたを設定します。

⇒83ページ「コピー設定について」

● コピーの出力形式を設定したいとき

■ソートコピー　⇒84ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

■両面コピー　⇒85ページ「両面コピーをする」

■レイアウトコピー（N in 1コピー）⇒86ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウト コピー（N in 1コピー）〕」

● コピーの倍率を変更したいとき

■拡大･縮小コピー　⇒84ページ「拡大･縮小コピーをする」

● コピーの質を調整したいとき

■画質　⇒87ページ「画質を設定する」

■コピー濃度　⇒88ページ「コピー濃度を設定する」

■コントラスト　⇒88ページ「コントラストを設定する」

●コピーで使用する用紙を節約したいとき

■用紙節約　⇒86ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウト コピー（N in 1コピー）〕」

STEP 5　スタートする

● ADF からコピーするとき

【スタート】を押します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスからコピーするとき

【スタート】を押します。

ポイント

コピーを途中で中止したいとき

✕を押します。

簡単コピーメニューについて

簡単コピーとは、いろいろなコピーを最適に行うための設定値があらかじめ登録されている機能です。通常のコピーを行う場合は、【標準】を選択してください。以下の表は、簡単コピーメニューとそれぞれの初期設定値を表しています。■部分は簡単コピー機能を有効にする値であるため変更しないでください。変更すると簡単コピーメニューは【無効】になります。

簡単コピーメニュー 設定変更	レシート	標準	2in1(ID)	2in1	片面⇒両面	両面⇒両面	用紙節約
		通常のコピーをします。お買い上げ時の設定です。	カードサイズの原稿の両面を1枚の用紙に割り付けてコピーします。	2枚の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーします。	片面2枚の原稿を両面1枚にコピーします。	両面1枚の原稿を両面1枚にコピーします。	両面コピー機能やレイアウトコピー機能を使用して印刷する用紙の消費量を抑えます。
コピー画質	レシート	自動	自動	自動	自動	自動	自動
拡大/縮小	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
コピー濃度	0	0	−1	0	0	0	0
コントラスト	0	0	0	0	0	0	0
スタック/ソート	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー	スタックコピー
レイアウト コピー	オフ(1in1)	オフ(1in1)	2in1(ID)	2in1(縦長) ※2in1(横長)に変更可能	オフ(1in1)	オフ(1in1)	4in1(縦長) ※4in1(横長)に変更可能
両面コピー	オフ	オフ	オフ	オフ	片面⇒両面	両面⇒両面	片面⇒両面
両面レイアウトコピー	長辺とじ⇒長辺とじ	長辺とじ⇒長辺とじ	長辺とじ⇒長辺とじ	長辺とじ⇒長辺とじ	長辺とじ⇒長辺とじ	長辺とじ⇒長辺とじ	長辺とじ⇒長辺とじ
トレイ選択	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※> トレイ3※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※> トレイ3※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※> トレイ3※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※> トレイ3※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※> トレイ3※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※> トレイ3※	多目的トレイ> トレイ1> トレイ2※> トレイ3※

※：オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500 または LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505 または LT-6505）を増設したときにメニューが表示されます。

コピー設定について

必要に応じて、コピーの仕上げに関する設定を行います。

分類	機能	設定操作	参照
倍率	拡大/縮小	【コピー】→【設定変更】→【拡大/縮小】	⇒84ページ「拡大･縮小コピーをする」
出力形式	ソートコピー	【コピー】→【設定変更】→【スタック/ソート】	⇒84ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
	レイアウト コピー	【コピー】→【設定変更】→【レイアウト コピー】	⇒86ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする 〔レイアウト コピー (N in 1コピー)〕」
	2 in 1 IDコピー	【2 in 1 IDコピー】	⇒89ページ「2 in 1 IDコピーをする」
	両面コピー	【コピー】→【設定変更】→【両面コピー】	⇒85ページ「両面コピーをする」
	両面レイアウトコピー	【コピー】→【設定変更】→【両面レイアウトコピー】	⇒85ページ「両面コピーをする」 ⇒86ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする 〔レイアウト コピー (N in 1コピー)〕」
質	画質	【コピー】→【設定変更】→【コピー画質】	⇒87ページ「画質を設定する」
	コピー濃度	【コピー】→【設定変更】→【コピー濃度】	⇒88ページ「コピー濃度を設定する」
	コントラスト	【コピー】→【設定変更】→【コントラスト】	⇒88ページ「コントラストを設定する」

拡大･縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

1 **原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する**

2 **【設定変更】を押す**

3 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【拡大/縮小】を押す**

4 **倍率を選択し【OK】を押す**

【カスタム（25-400%）】を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して【OK】を押してください。

5 **【スタート】を押す**

補足

原稿や倍率によっては画像が欠ける場合があります。

１部ごとにコピーする〔ソートコピー〕

コピーした用紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて出力します。

ソートコピー

1 **原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する**

2 **【設定変更】を押す**

3 **上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【スタック/ソート】を押す**

4 **【ソートコピー】を押して【OK】を押す**

5 **【スタート】を押す**

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は次の原稿をセットした後、【読み取り開始】を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【読み取り完了】を押します。

補足

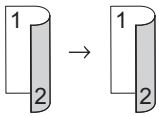
原稿の読み込み中に【メモリがいっぱいです】と表示されたときは⇒117ページ「画面にエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

両面コピーをする

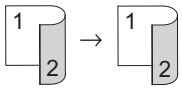
片面2枚の原稿を両面1枚にコピーすることができます。両面コピーはADFから原稿送りさせることをおすすめします。
両面印刷ができる用紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

両面→両面

縦



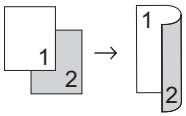
横



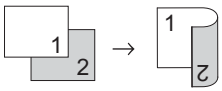
片面→両面

長辺とじ原稿

縦

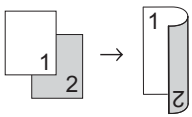


横

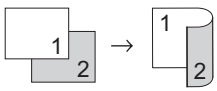


短辺とじ原稿

縦



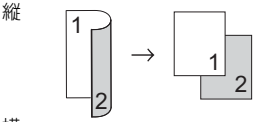
横



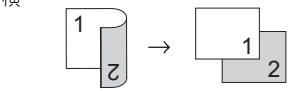
両面→片面

長辺とじ原稿

縦

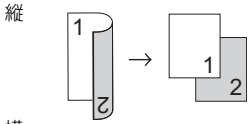


横

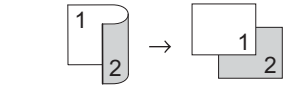


短辺とじ原稿

縦



横



1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【両面コピー】を押す

4 とじ方向を設定する場合は、【とじ方向】を押す

5 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して両面コピーの方法を選択して【OK】を押す

6 【スタート】を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は次の原稿をセットした後、【読み取り開始】を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【読み取り完了】を押します。

補足

- 【両面⇒両面】/【片面⇒両面】は、【コピー】→【簡単コピー】→【両面⇒両面】/【片面⇒両面】の簡単コピーメニューからも設定できます。
- 原稿台ガラスからの両面コピーは、「片面⇒両面」のみです。

複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウト コピー（N in 1コピー）〕

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。
コピーのしかたは以下の種類から選択できます。

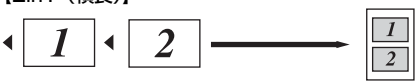
補足

2 in 1 IDコピーの場合は、⇒89ページ「2 in 1 IDコピーをする」を参照してください。

ADFの場合

【2in1（縦長）】

【2in1（横長）】



【4in1（縦長）】

【4in1（横長）】

原稿台ガラスの場合

【2in1（縦長）】

【2in1（横長）】

【4in1（縦長）】

【4in1（横長）】

1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【レイアウト コピー】を押す

4 レイアウトを選択して【OK】を押す

【オフ(1in1)】/【2in1(縦長)】/【2in1(横長)】/【4in1(縦長)】/【4in1(横長)】から選択します。

5 【スタート】を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は次の原稿をセットした後、【読み取り開始】を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【読み取り完了】を押します。

補足

- レイアウトコピー（N in 1コピー）では、拡大／縮小機能は使えません。
- 用紙のサイズは「A4」または「USレター」がセットされていることを確認してください。

画質を設定する

【コピー画質】の設定を変更します。
画質は以下の中から選択することができます。

- 【自動】：
  自動的に画質を調整します。
- 【テキスト】：
  薄い文字をはっきりと印刷します。
- 【写真】：
  グラデーションをきれいに印刷します。
- 【レシート】：
  レシートの文字をきれいに印刷します。

設定変更で【2 in 1 (ID)】を選択したときは、画質は以下の中から選択することができます。

- 【自動】：
  自動的に画質を調整します。
- 【明るめ】：
  顔色を明るく印刷します。

1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【コピー画質】を押す

4 画質を選択して【OK】を押す

5 【スタート】を押す

コピー濃度を設定する

コピーの濃度を5段階で調整することができます。

1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【コピー濃度】を押す

4 濃度を選択して【OK】を押す

5 【スタート】を押す

コントラストを設定する

コントラストを5段階で調整することができます。

1 原稿をセットした後、【コピー】を押し、部数を入力する

2 【設定変更】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【コントラスト】を押す

4 コントラストを選択して【OK】を押す

5 【スタート】を押す

2 in 1 IDコピーをする

IDカードや身分証明書などカードサイズの表裏を、そのサイズのままコピーすることができます。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADFからコピーはできません。

補足

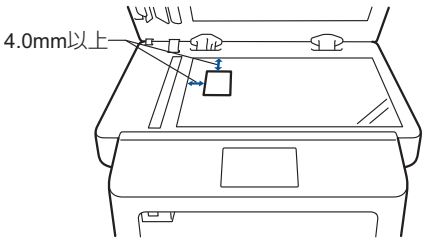
IDカードや身分証明書などの個人情報の取り扱いには、十分注意してください。

1 待ち受け画面で【◀】、【▶】を押して【2 in 1 IDコピー】を押す

2 部数を入力する

3 原稿台ガラスの左側に、裏向きにしてコピーするカードをおく

イラストのように、原稿台ガラスの左側に、端から4.0mm以上空けてカードをセットしてください。



4 【スタート】を押す

5 表面のスキャンが終わったら、原稿台ガラスのカードを裏返して【読み取り開始】を押す

USBダイレクトプリントの基本

USBダイレクトプリントの流れ

パソコンを使用しないで、USBメモリーやデジタルカメラから直接データをプリントする操作の流れを説明します。

補足

- セキュリティ設定やUSBハブ機能付きのUSBメモリーなど、ご使用のUSBメモリーによっては、本製品に接続しても動作しない場合があります。
- 本製品は、PictBridge（ピクトブリッジ）に対応していません。ただし、お使いのデジタルカメラがマスストレージモードに対応している場合は、デジタルカメラ内のメモリーカードをUSBメモリーと同様に記憶装置として認識します。デジタルカメラをマスストレージ接続モードに設定し、本製品とUSBケーブルで接続してください。写真データを印刷するときは本製品の画面を操作します。
- セキュリティ機能ロック3.0が［オン］※の場合は、USBダイレクトプリントを使用することができません。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編「使用できる機能を制限する［セキュリティ機能ロック3.0］」を参照してください。

  ※：USBダイレクトプリントが制限されているときのみ

STEP 1　データ形式を確認する

USBダイレクトプリントで印刷できるデータ形式は以下のとおりです。

ただし、PRN形式の場合は、STEP 4で印刷の設定をすることができません。

- PDF version1.7（一部のJBIG2イメージファイル、JPEG2000イメージファイルおよびレイヤー情報を持つファイルは未対応です。）
- JPEG
- Exif+JPEG
- PRN（本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ）
- TIFF（ブラザー製品でスキャンしたデータ）
- XPS version1.0形式

ポイント

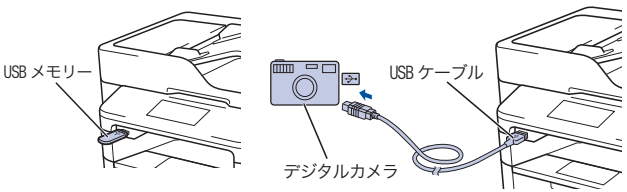
PRN形式のファイルを保存したいとき

プリンタードライバー画面で［ファイルへ出力］項目にチェックを付けます。

STEP 2　USB メモリーを本製品に接続する

USBメモリー、またはデジタルカメラの USB ケーブルをUSBメモリー差込口に接続します。本製品がUSBメモリーまたはデジタルカメラを認識すると、画面にUSBメニューが表示されます。

- 本製品がディープスリープモードのときは、USBメモリーを接続しても認識しません。[ホーム]を押して待ち受け状態にしてください。



STEP 3　印刷するフォルダーやデータを選択する

（【USB】→）【USBダイレクトプリント】を押して、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押してフォルダーやデータを選択します。

● 操作方法

・フォルダー内を表示するときは、【フォルダー名】を押します。

・1つ上の階層に戻るときは、 を押します。

● フォルダー名やデータ名の表示

・フォルダー名の前に が表示されます。

・画面に表示できない特殊な文字は、空白（スペース）が表示されます。

STEP 4　印刷内容を設定する

● プリントしたい部数（1～999）をダイヤルボタンで入力する

【テンポラリ設定】を押し、上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して以下の設定項目を選択します。設定後、で1つ前の画面に戻ります。

・用紙タイプ

・用紙サイズ

・レイアウト

・印刷の向き（JPEG 形式選択時のみ）

・両面印刷：
JPEG形式選択時は設定できません。
両面印刷できる用紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

・部単位

・トレイ選択

・プリント画質

・PDF オプション（PDF 形式選択時のみ）

ポイント

印刷内容をあらかじめ設定したいとき

操作パネルからのメニューで設定しておくことができます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「USB ダイレクトプリント」を参照してください。

STEP 5　プリントを開始する

以下の順で操作を行い、プリントを開始します。

●【スタート】を押す

印刷が終わるまでUSBメモリーやデジタルカメラを抜かないでください。

● を押す

プリントの基本

プリントの流れ

パソコンからプリントする操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（プリンタードライバーのインストール）

ドライバー / ユーティリティー CD-ROM 中にあるプリンタードライバーをインストールします。（Windows® のみ）※

※ Macintoshのプリンタードライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp）から、ダウンロードしてください。

⇒かんたん設置ガイド

▼

STEP 2　パソコンで印刷を選択する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

▼

STEP 3　プリンターを選択する

［印刷］ダイアログボックスで本製品のプリンター名を選択します。

▼

STEP 4　印刷内容を設定する

印刷設定ダイアログボックスで印刷の詳細を設定し、［OK］をクリックします。

用紙サイズ、印刷の向き、部数、用紙種類、解像度、印刷設定、レイアウト、両面印刷／小冊子印刷、給紙方法などを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

▼

STEP 5　プリントを開始する

［印刷］をクリックします。

スキャンの基本

スキャンの流れ

原稿をパソコンに読み込みます。スキャンには、操作パネルからスキャンする方法とパソコンからスキャンする方法があります。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（スキャナードライバーのインストール、ネットワーク設定）

スキャンする前に以下の2つを準備します。すでに準備が終了している場合は、STEP 2から操作してください。

● スキャナードライバーをインストールする

ドライバー /ユーティリティー CD-ROMの中にあるスキャナードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド
⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

● ネットワークを設定する

ネットワークプリンターとして使用している場合は、ネットワークの設定は終了しています。

まだネットワークの設定が終了していない場合は、本製品にTCP/IPを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

STEP 2　スキャンのしかたを決める

スキャンの目的や特徴によって、スキャンのしかたが異なります。ご都合に応じて、最適なスキャン方法を決めてから操作を始めてください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

STEP 3　原稿をセットする

原稿をセットするには以下の2つの方法があります。

● ADF にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してスキャンできます。自動両面スキャンもできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ手動でスキャンします。本や厚みのある原稿などもスキャンできます。

⇒56ページ「原稿セットで注意すること」
⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

●操作パネルからスキャンする

以降の操作の詳細は、以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

STEP 4　スキャンモードに切り替える

画面の【スキャン】を押してスキャンモードに切り替えます。

スキャン操作を行う場合には、必ずスキャンモードになっていることを確認してください。

STEP 5　スキャンの機能を選択する

機能を選択します。

- OCR
- ファイル
- イメージ
- USBメモリ（スキャン to USB）
- Eメール添付
- Eメール送信 ※1
- (S)FTPサーバー
- ネットワーク ※2
- SharePoint
- クラウド
- Webサービス※2

※1 MFC-L5755DWは、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

※2 Windows Vista® SP2以降、Windows® 7またはWindows® 8のみ

STEP 6　保存先／送信先を選択する

- スキャンしたデータの保存先／送信先を選択します。USB接続の場合は保存先の選択は必要ありません。
- 必要に応じて、画質やファイル名、両面スキャンの読み取り（ADFに原稿をセットした場合）などを設定します。

STEP 7　スキャンを開始する

【スタート】を押します。

●パソコンからスキャンする

以降の操作の詳細は、以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

STEP 4　アプリケーションでスキャンを選択する

アプリケーション側でスキャンボタンまたはスキャンメニューを選択します。

STEP 5　スキャンの詳細を設定する

ダイアログボックスで、解像度や明るさ、画像の種類などスキャンの詳細を設定します。

STEP 6　スキャンを開始する

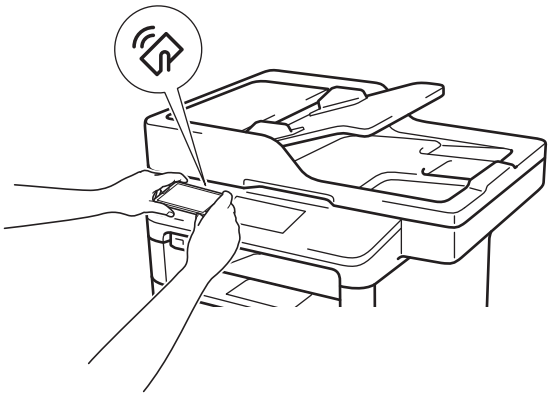
ダイアログボックスでスキャン開始を指示します。

NFC の基本

NFC 機能を使って印刷/スキャンする（MFC-L6900DWのみ）

NFC（近距離無線通信）で印刷/ スキャンする

NFC 機能に対応しているAndroid™端末を操作パネルにあるNFC マークに当てると、Android™端末上のデータ（写真、PDF ファイル、テキストファイル、ウェブページおよび電子メールメッセージ）を印刷したり、本製品でスキャンした写真や書類をAndroid™端末に送ることができます。



本機能を使用するためには、Android™端末に、「Brother iPrint&Scan」をインストールする必要があります。「Brother iPrint&Scan」について詳しくは、「モバイルプリント＆スキャンガイド」をご覧ください。

補足

- NFC（近距離無線通信）機能を備えていれば、至近距離にある2つの装置のあいだで、簡単なデータ処理やデータ交換および無線接続が可能になります。
- ご使用の際は、本製品とAndroid™ 端末のNFC 機能がオンになっていることを確認してください。

3 日常のお手入れ

定期メンテナンス

以下の部品を定期的に清掃することをおすすめします。
• 用紙トレイ　• 原稿台ガラス　• ドラムユニット　• コロナワイヤー　• 給紙ローラー

⚠ 警告

■ ドラムユニットやトナーカートリッジを
火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災の原因となります。

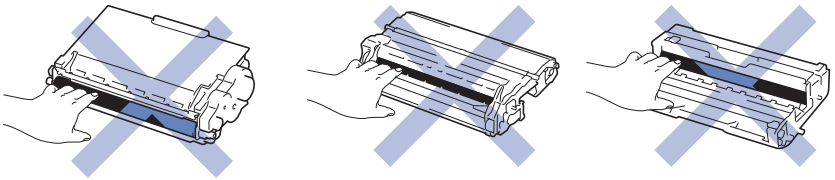
■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
・アルコールなどの有機溶剤や液体

■ こぼれたトナーはほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

! 重要

■ 中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。
■ アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。
■ 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。
■ 印刷品質の劣化を防止するため、イラストの黒色の部分には触れないようにしてください。

＜トナーカートリッジ＞　＜ドラムユニット＞



■ ドラムユニットやトナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
■ ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
■ 感光ドラムの表面は指で触れないでください。

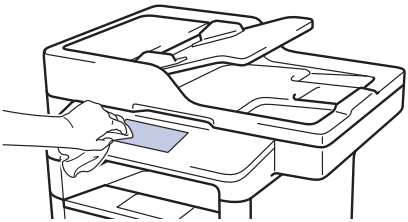
本製品外部を清掃する

本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

タッチパネルを清掃する

1 本製品の ⏻ を長押しして電源をオフにする

2 乾いた柔らかい布で軽く拭く



3 製品の ⏻ を押して電源をオンにする

原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

補足

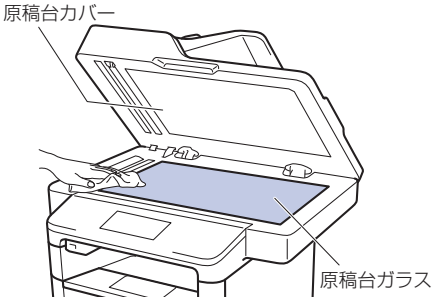
清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞ってご使用ください。

1 本製品の ⏻ を長押しして電源をオフにする

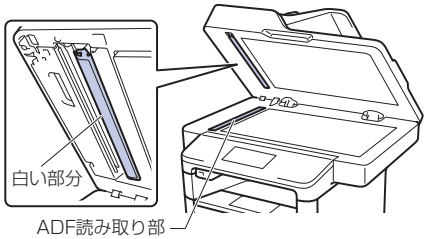
2 原稿台カバーを開ける

3 清掃する

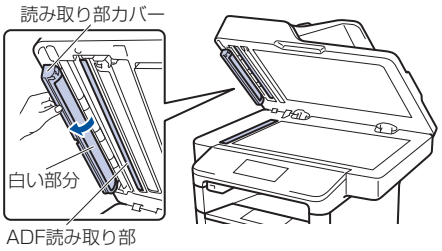
1 原稿台ガラスと原稿台カバーを拭く



2 原稿台カバーの白色の部分と ADF 読み取り部を拭く

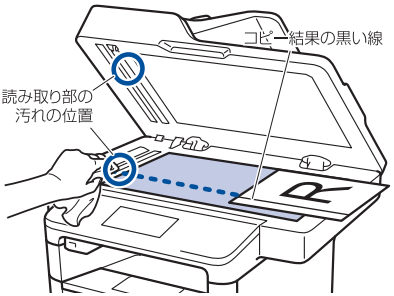


3 読み取り部カバーを開けて、内側の白色の部分とADF読み取り部を拭く



注意

■コピーで黒く細い線が入るときには、ADF 読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、ていねいに拭いてください。



■汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADFに原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

4 原稿台カバーを閉じる

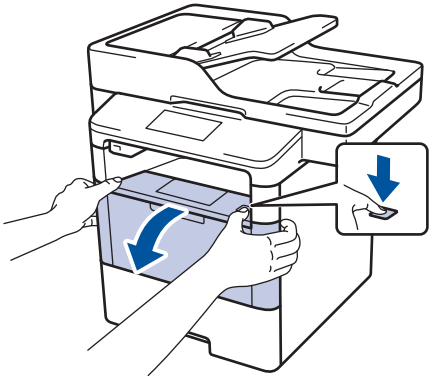
5 本製品の ⏻ を押して電源をオンにする

コロナワイヤーの清掃

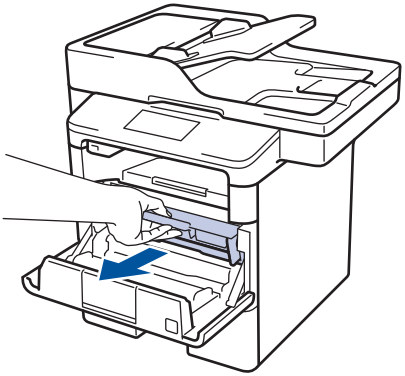
コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。印刷したページに汚れが入る場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

1 フロントカバーを開ける

1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開ける

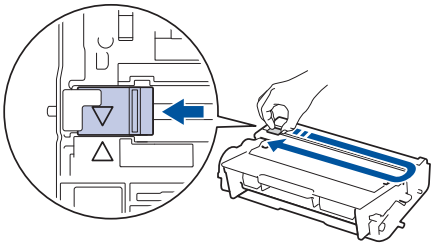


2 ドラムユニットを取り出す



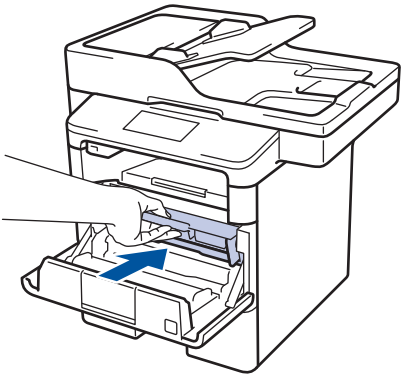
3 清掃する

1 緑色のつまみを2～3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する
2 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。



4 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを戻す



2 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットの清掃

印刷したページに約94mm間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

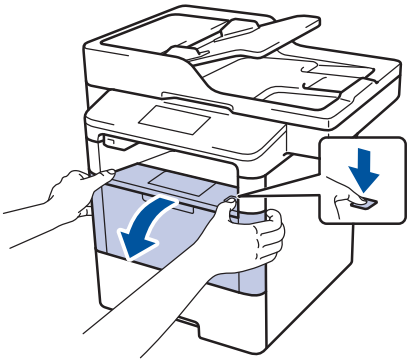
1 ドラムチェックシートを印刷する

1 本製品が待機状態になっていることを確認する
2 → 【全てのメニュー】→【レポート印刷】→【ドラム汚れ印刷】を押す
3 【はい】を押す
ドラムチェックシートが印刷されます。

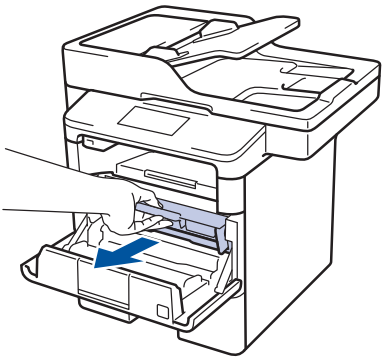
2 本製品の を長押しして電源をオフにする

3 ドラムユニットを取り出す

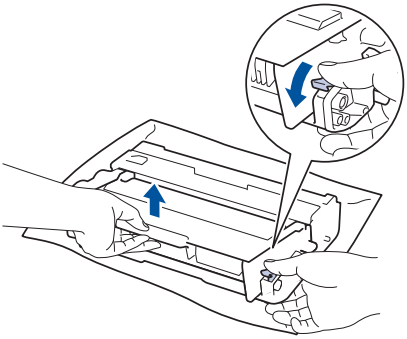
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開ける



2 ドラムユニットを取り出す

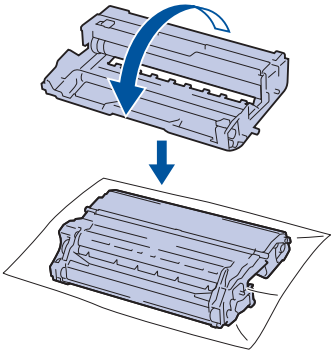


3 緑色のロックレバーを押し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す



4 清掃する

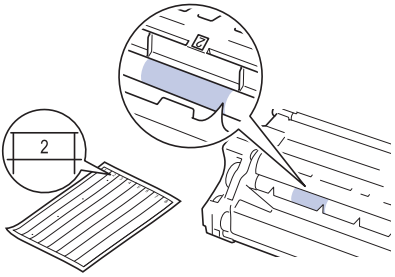
1 ドラムユニットを裏返す



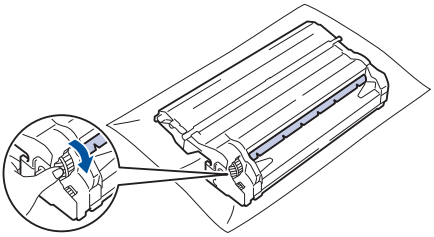
2 印刷したドラムチェックシートを確認する
ドラムユニットと該当する番号を確認します。

3 感光ドラムの汚れの場所を探す
ドラムチェックシートの番号とドラムユニットの該当番号を照らし合わせ、感光ドラムの汚れの場所を探します。

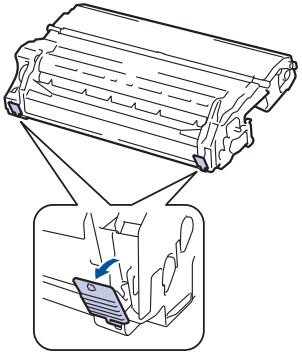
補足
例）ドラムチェックシートの「2」の欄に汚れの点がある場合は、ドラムユニットの該当番号「2」の範囲内の感光ドラムに汚れがあります。



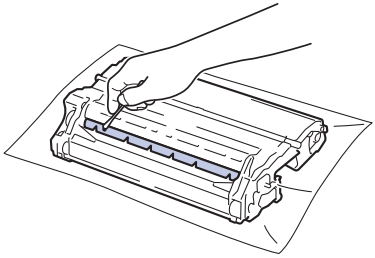
4 感光ドラムの汚れの場所を特定する
ドラムユニットの端を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にします。



補足
黒いレバーを引き下げると、より容易に感光ドラムを回すことができます。回し終えたら必ず黒いレバーを元の位置に戻してください。



4 感光ドラムの表面に付いた汚れや付着物を綿棒で拭き取る



注意

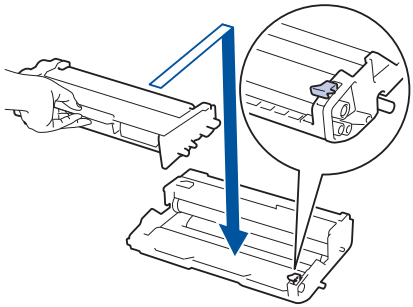
■感光ドラムの表面を液体や尖ったもので清掃しないでください。

■電動器具は使用しないでください。

5 ドラムユニットを裏返す

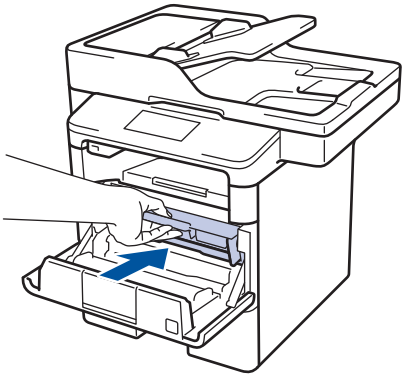
6 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



7 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを戻す



2 フロントカバーを閉じる

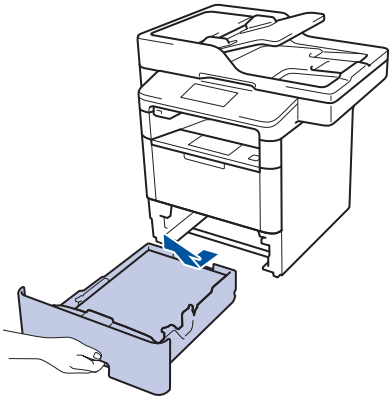
8 本製品の を押して電源をオンにする

給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、用紙を正常に給紙しないことがあります。その場合は、以下の手順で給紙ローラーを清掃してください。

1 本製品の を長押しして電源をオフにする

2 用紙トレイを完全に引き出す

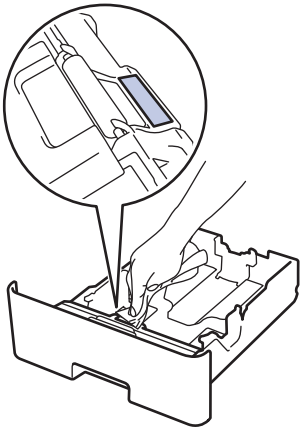


3 用紙トレイから用紙を取り出す

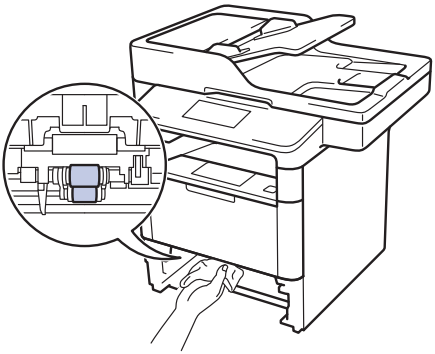
用紙トレイ内につまった用紙がある場合は取り除いてください。

4 清掃する

1 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、用紙トレイ内の分離パッドを拭く



2 本製品内部にある給紙ローラー(2つ)を拭く

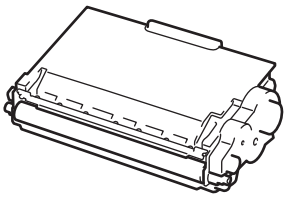
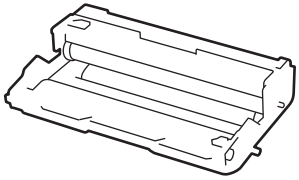


5 用紙をセットして、用紙トレイを本製品に戻す

6 本製品の を押して電源をオンにする

消耗品の交換

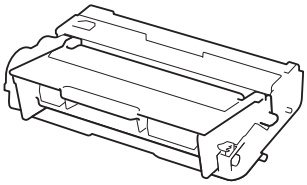
消耗品

トナーカートリッジ • 標準タイプ： TN-61J • 大容量タイプ： TN-62J • 大容量タイプ： TN-62J XL • 超大容量タイプ：TN-63J（MFC-L6900DW）	ドラムユニット DR-60J
	
⇒108ページ	⇒111ページ

トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

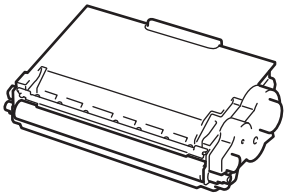
本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けた状態

トナーカートリッジ

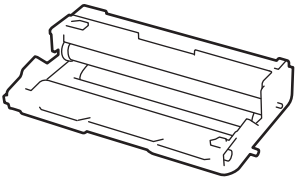
型番、印刷可能枚数については
以下の表を参照してください。



印刷するための粉末（トナー）が入っています。

ドラムユニット

型番：DR-60J



トナーを用紙に写すユニットです。

	型番	印刷可能枚数
付属トナーカートリッジ	–	MFC-L5755DW：約3,000枚 MFC-L6900DW：約8,000枚
標準トナーカートリッジ	TN-61J	約3,000枚
大容量トナーカートリッジ	TN-62J	約8,000枚
大容量トナーカートリッジ	TN-62J XL	約12,000枚
超大容量トナーカートリッジ	TN-63J	MFC-L6900DW：約20,000枚

印刷可能枚数はJIS X 6931（ISO/IEC 19752）規格に基づく公表値を満たしています。
（JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）

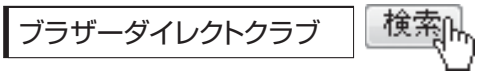
交換のしかたについては、⇒108ページ「トナーカートリッジの交換」、または⇒111ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、弊社直販サイトのダイレクトクラブでもご購入できます。インターネット、電話またはご注文シートのFAXにてご注文いただくことができます。

●インターネットからのご注文

ブラザーダイレクトクラブ
http://direct.brother.co.jp



●お電話でのご注文

フリーダイヤル： 0120-118-825
（土・日・祝日、長期休暇を除く9時～12時、13時～17時）

●FAXでのご注文

ご注文シートをダイレクトクラブまでFAXしてください。
FAX番号：052-825-0311

トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意

⚠警告

■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

⚠注意

■ トナーが飛び散ることがありますので、目に入ったりしないように注意してください。

■ 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

！重要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

■ ドラムユニットを直射日光や過度の室内光が当たる場所に長時間放置しないでください。ドラムユニットが損傷することがあります。

■ トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。⇒ 104 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■ ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。⇒ 104 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

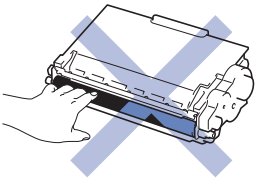
■ ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 新しいトナーカートリッジの保護カバーを取り外した後、トナーカートリッジをドラムユニットに取り付けてください。

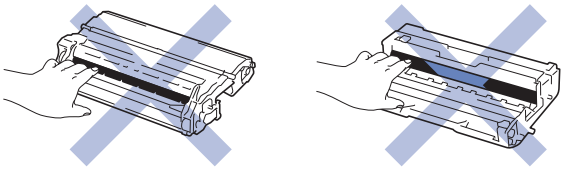
! 重要

■ 印刷品質の劣化を防止するため、イラストの黒色の部分には触れないようにしてください。

＜トナーカートリッジ＞



＜ドラムユニット＞



■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正のドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。

注意

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、新品のトナーカートリッジが入っていた袋に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒38ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、新品のドラムユニットが入っていた袋に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒38ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

トナーカートリッジの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒38ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

補足

- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正ドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。
  詳しくは⇒96ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくと画面に以下のメッセージが表示されます。

まもなくトナー交換

補足

- 画面に【まもなくトナー交換】のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを購入し、【トナーを交換してください】と表示される前に準備しておいてください。
- 印刷結果がかすれる場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。トナーカートリッジの交換方法は、⇒109ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

トナーカートリッジ交換のメッセージ

さらに使い続けると画面に以下のメッセージが表示されます。

トナーを交換してください

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

補足

お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは、⇒ 105 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

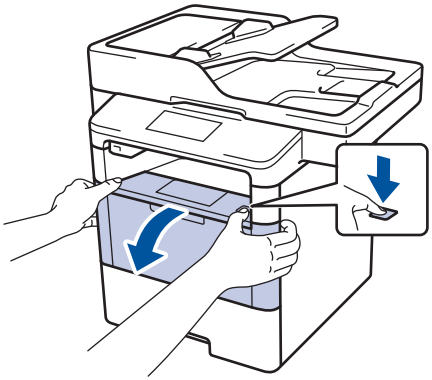
トナーカートリッジを交換する

1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

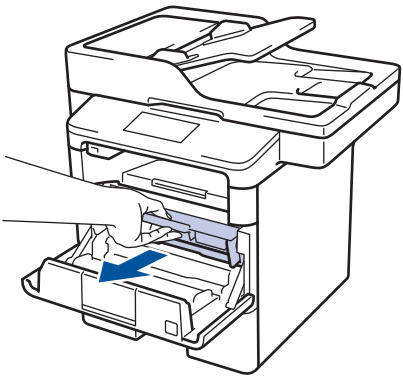
電源がオフの場合は、 を押してオンにします。

2 トナーカートリッジを取り出す

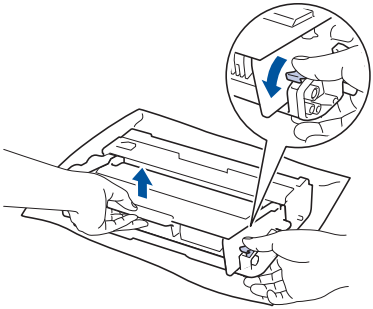
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開ける



2 ドラムユニットを取り出す



3 緑色のロックレバーを押し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す



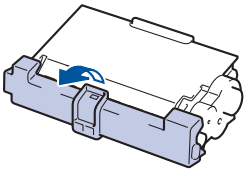
3 交換する

1 新しいトナーカートリッジを開封する

注 意

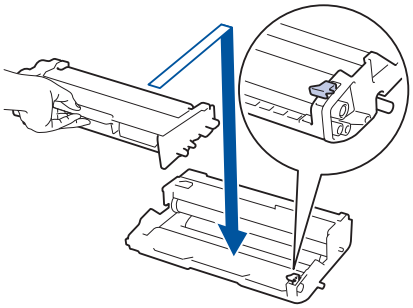
トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

2 保護カバーを取り除く

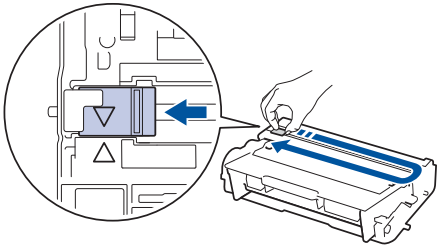


3 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



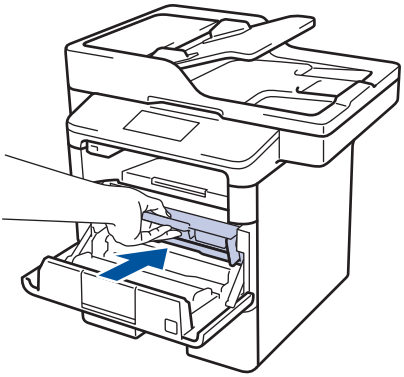
4 緑色のつまみを2～3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する



5 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

4 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを戻す



2 フロントカバーを閉じる

注意

画面に【お待ちください】と表示されますので、そのままお待ちください。途中で本製品の電源をオフにしたり、フロントカバーを開けたりすると、新しいトナーを検知できない場合があります。

ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、画面にドラムユニットの交換をお知らせするメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。
ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒38 ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

補足

- ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は、1ジョブが1ページの場合は30,000枚、1ジョブが3ページの場合は50,000枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこれよりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。
  ⇒96ページ「定期メンテナンス」を参照してください。
- お近くでドラムユニットが手に入らないときは、⇒ 105 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

ドラムユニットエラーのメッセージ

【ドラム お手入れ】のメッセージが表示されたときは、コロナワイヤーが汚れています。コロナワイヤーの清掃をしてください。⇒98ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
コロナワイヤーの清掃をしても、【ドラム お手入れ】の表示が消えない場合は、新しいドラムユニットを購入し、交換してください。⇒112ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

ドラム お手入れ

まもなくドラムユニット交換のメッセージ

【まもなくドラム交換】のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットの交換時期が近づいています。新しいドラムユニットを購入し、【ドラム交換】と表示される前に準備しておいてください。

まもなくドラム交換

補足

しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもありますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいドラムユニットを購入し、交換することをおすすめします。

ドラムユニット交換のメッセージ

【ドラム交換】のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットの交換が必要です。

ドラム交換

ドラムユニットを交換する

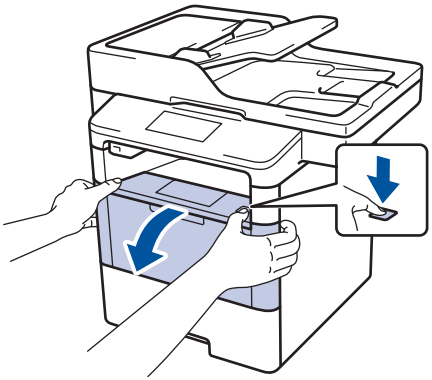
新しいドラムユニットに交換した場合は、ドラムユニットのカウンターをリセットする必要があります。

1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

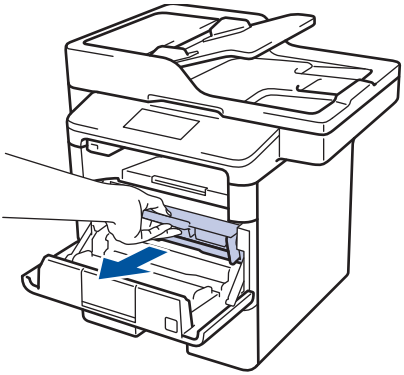
電源がオフの場合は、 を押してオンにします。

2 フロントカバーを開ける

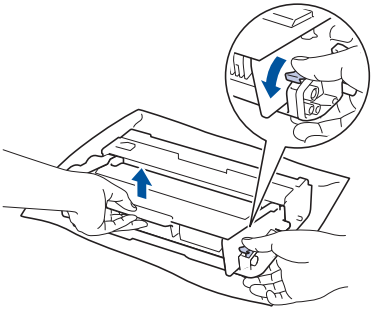
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開ける



3 ドラムユニットを取り出す

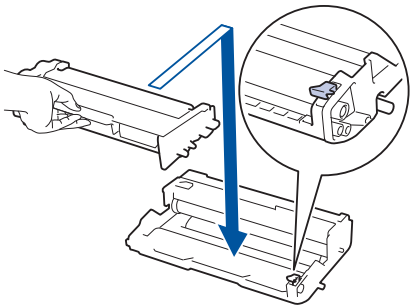


4 緑色のロックレバーを押し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

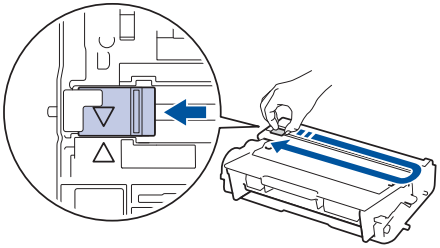


5 交換する

1 新しいドラムユニットを開封する
2 トナーカートリッジを新しいドラムユニットに取り付ける
正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



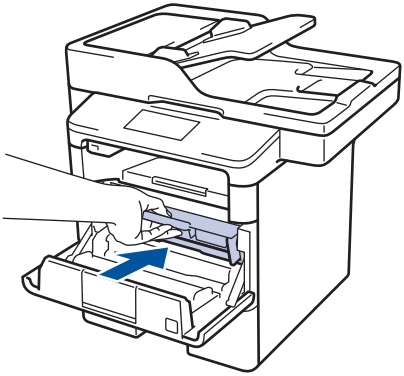
4 緑色のつまみを2～3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する



5 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

6 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを戻す



2 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットのカウンターをリセットする

ドラムユニットを交換したときは、以下の手順に従ってドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

1 エラーメッセージが全面に表示されている場合は、✕を押してエラーメッセージを閉じる

2 → 【全てのメニュー】を押す

3 上下にフリック、または【▲】/【▼】を押して【製品情報】を押す

4 【消耗品寿命】を押す

5 タッチパネルのメッセージが変わるまで【ドラム寿命】を長押しする

6 【はい】を押す

7 を押す

定期交換部品の交換

画面に以下のエラーメッセージが表示されたときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

- PF キットMP 交換
- PF キット1 交換
- PF キット2 交換
- PF キット3 交換
- ヒーター 交換
- レーザー 交換

補足

● PF キットMPとは多目的トレイ用のローラーホルダーと分離パッドのキットです。

● PF キット1～3は標準用紙トレイおよび増設用紙トレイ用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネのキットです。

PF キットMPの概算寿命は50,000枚、PFキット1※、PFキット2、PFキット3、ヒーターおよびレザーユニットの概算寿命は200,000枚です。寿命の確認は⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

※：(MFC-L5755DW)
2016 年 12 月以降、本製品のファームウェアを最新に更新してください。
弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください support.brother.co.jp。

本製品を再梱包するときは

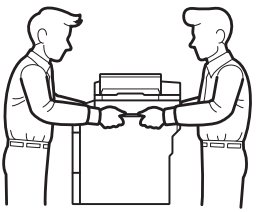
本製品を引越しなどで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

⚠警告

■ 本製品の質量は 16.6kg 以上あります。安全のため、本製品を持ち運ぶ際は、必ず 2 人以上でお持ちください。また、本製品を置くときには、指をはさまないように注意してください。

■ 本製品を移動するときは、側面の持ち手を持ってください。本製品の底面を持って運ばないでください。

■ オプションのトレイをご使用の場合は、本製品から取り外してください。



⚠注意

再梱包を行う場合は、前もって電源をオフにして 10 分以上待ち、本製品内部を十分に冷ましてください。

！重要

■ 輸送中の破損を防ぐために、お買い上げ時に使用されていた梱包材を使用して、お買い上げ時の状態に再梱包してください。お買い上げ時に使用されていた梱包材は、開梱時に捨てずに大切に保管しておいてください。

■ 本製品には、相応の輸送保険を掛けてください。

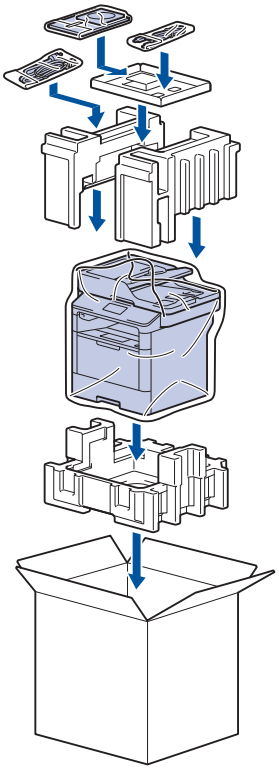
1 本製品の⏻を長押しして電源をオフにし、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 コード、ケーブルを取り外す

1 すべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜く

3 本製品や付属品を梱包する

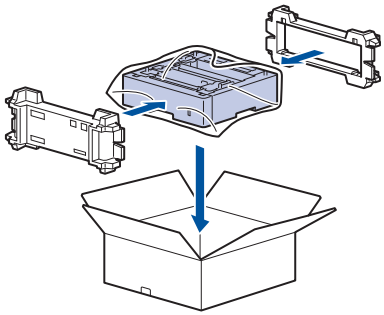
1 本製品をビニール袋に入れる
2 本製品をセットする
発砲スチロールの「FRONT」の印と反対側に本製品の前面を合わせてセットしてください。
3 イラストのように、箱型トレイボックスを入れる



4 箱を閉じ、テープを貼って完全に閉じる

増設用紙トレイの再梱包

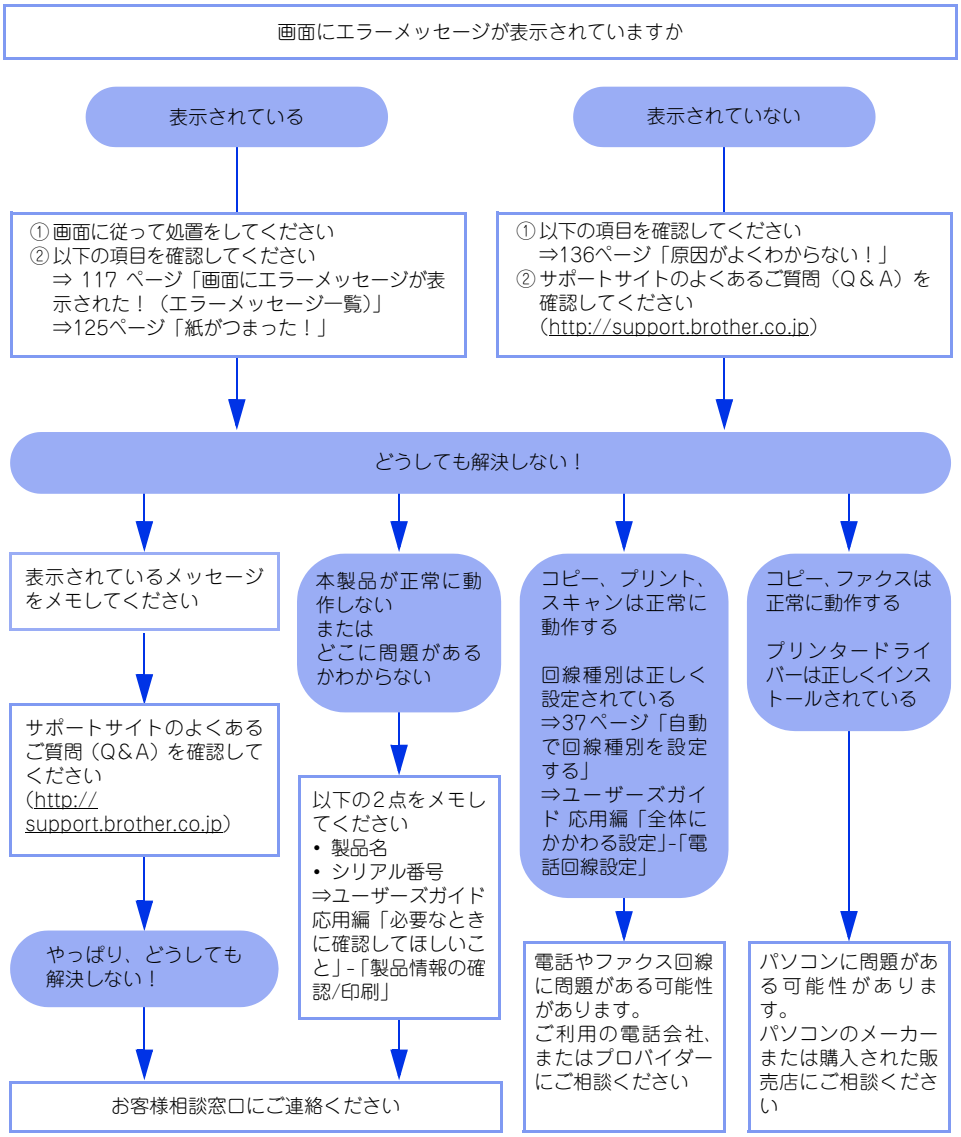
増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）をお持ちの方は、イラストのように増設用紙トレイを再梱包してください。



4 困ったときには

解決のステップ～修理依頼される前に～

本製品を使用中にトラブルが起きたときの解決までのステップを説明します。
修理依頼される前にここを読んでみてください。



画面にエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が画面に表示されます。画面に表示された対処方法や、以下の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へ連絡してください。
NFC 機能が搭載された Android™ 端末をお持ちの場合、画面にメッセージが表示された状態で、本体の操作パネルの NFC のロゴに端末をかざすと、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）に接続し、端末の画面に「よくあるご質問（Q&A）」ページが表示されます。（サポートサイトの接続には、別途通信料がかかります。）あらかじめ本体とAndroid™端末のNFC 設定がオンになっていることをご確認ください。

画面表示	解決方法
メンテナンス情報 PF キット1 交換 PF キット2 交換 PF キット3 交換	**PF キットの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
メンテナンス情報 PF キットMP 交換	**PF キット MP の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
印刷データがいっぱいです	**✕を押し、印刷データを消去してください** セキュリティ印刷のデータを保存している場合、印刷するかデータを消去してメモリーの空き容量を確保してください。 **印刷中のとき** 解像度を下げてからもう一度試してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。 または、保存されているデータを消去して、メモリーの空き容量を確保してください。
印刷できません	**本製品の ⏻ を長押しして電源をオフにし、数秒後に ⏻ を押して、もう一度電源をオンにしてください** メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。ファクスデータをパソコンに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。 **フロントカバーを完全に閉じてください** **それでも問題が解決しない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスデータを別のファクシミリに転送した後、お客様相談窓口にご連絡ください** ファクスデータの転送方法は、⇒ 124 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」を参照してください。
印刷ページ数超過	**セキュリティ機能ロック 3.0 で、印刷枚数の制限を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。

画面表示	解決方法
カバーが開いています	**定着ユニットカバーを完全に閉じてください** バックカバーを開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。紙がつまっている場合は、紙を取り除き、定着ユニットカバーを閉めてください。 **フロントカバー、または ADF カバーを完全に閉じてください**
紙詰まり MPトレイ	**多目的トレイでつまっている用紙を取り除いてください** ⇒ 128 ページ「多目的トレイに用紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり 後ろ	**本製品の背面でつまっている用紙を取り除いてください** ⇒ 130 ページ「バックカバーに用紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり トレイ 1 紙詰まり トレイ 2 紙詰まり トレイ 3	**用紙トレイでつまっている用紙を取り除いてください** ⇒ 129 ページ「用紙トレイに用紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり 内部	**本製品の内部でつまっている用紙を取り除いてください** ⇒ 132 ページ「本製品の内部に用紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり 両面	**用紙トレイの裏側につまっている用紙を取り除いてください** ⇒ 134 ページ「両面印刷時に用紙がつまったとき」を参照してください。
原稿が詰まっています	**ADF につまっている原稿を取り除いてください** 原稿を取り除いたら、を押してください。 **読み込む原稿を短くして、読み込ませてください** を押して、原稿をセットし直してください。
サイズエラー	**印刷可能な用紙サイズをドライバーで設定して、印刷しなおしてください** トレイが対応していない用紙サイズを指定しています。
サイズエラー 両面	**両面印刷可能な正しい用紙サイズ（A4）をセットしてください** を押します。両面印刷できない用紙がセットされている可能性があります。確認して正しい用紙をセットしてください。 両面印刷できる用紙サイズの詳細は、⇒ユーザーズガイド 応用編「用紙仕様」を参照してください。
サービスエラー xx	**サービスマンにお問い合わせください**

画面表示	解決方法
使用不能な USB 機器です USB 機器を取り外して電源を入れ直してください	**接続した USB 機器を取り外して、電源を入れ直してください** 本製品に対応していない、または壊れている USB 機器が接続されている可能性があります。
使用不能な USB 機器です	**接続した USB 機器（USB メモリーなど）を確認してください** 接続している USB 機器（USB メモリーなど）が、フォーマットされていない、壊れている、または互換性がない可能性があります。また、正しく差し込まれているか確認してください。
切断されました	**少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください**
消耗品 お知らせ まもなくトナー交換	**新しいトナーカートリッジを購入し、画面に【トナーを交換してください】と表示される前に準備しておいてください** 画面に【トナーを交換してください】と表示されるまでトナーカートリッジをご使用できますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。
消耗品　お知らせ ドラム交換	**ドラムユニットの交換時期です** 印刷品質が目立って低下したら、ドラムユニットを交換してください。 **ドラムユニットのカウンターをリセットしてください** ⇒112ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
消耗品 お知らせ まもなくドラム交換	**新しいドラムユニットを購入し、【ドラム交換】と表示される前に準備しておいてください** 印刷品質が目立って低下したら、ドラムユニットを交換してください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
スキャンできません	**を押して、両面スキャン用の原稿サイズかどうかを確認してください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「原稿のこと」、⇒ 57 ページ「原稿をセットする」を参照してください。
スキャンできません xx	**本製品の を長押しして電源をオフにし、数秒後に を押してもう一度電源をオンにしてください** メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。ファクスデータをパソコンに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。

画面表示	解決方法
正しく読み取れません	**原稿を取り出し、本製品の ⏻ を長押しして電源をオフにし、数秒後に ⏻ を押してもう一度電源をオンにして読み取り直してください。** メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。ファクスデータをパソコンに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
正しく読み取れません xx	**本製品の ⏻ を長押しして電源をオフにし、数秒後に ⏻ を押してもう一度電源をオンにしてください** メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。ファクスデータをパソコンに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
タッチパネルエラー	**本製品の ⏻ を長押しして電源をオフにして、数秒後に ⏻ を押してもう一度電源をオンにしてください** 電源をオンにした直後はタッチパネルに触れないでください。 **タッチパネルの操作面や隙間に異物がないか確認してください** タッチパネルの下側の隙間の異物は、かためのの紙などを挿入してかき出してください。
通信エラー	**別のファクスから送信するか、接続をし直して送信できるか確認してください** 電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。通信できない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
トナーが確認できません	**ドラムユニットを取り出し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外してください** **再度トナーカートリッジをドラムユニットに戻し、ドラムユニットを本製品に戻してください**
トナーがセットされていません	**フロントカバーを開けてトナーを取り付けてください**
トナーを交換してください	**トナーカートリッジを交換してください** ファクスを印刷中、画面に【トナーを交換してください】と表示された場合は、ファクスデータはメモリーに保存されます。 ⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
ドラム お手入れ	**コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください** ⇒ 98 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 **トナーカートリッジがドラムユニットに装着されているか確認してください** ⇒ 109 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

画面表示	解決方法
ドラムユニットがありません	**フロントカバーを開けてドラムユニットを取り付けてください**
トレイが多すぎます	**本製品の ⏻ を長押しして電源をオフにし、オプショントレイを取り外してください**
トレイ 1 が開いています トレイ 2 が開いています トレイ 3 が開いています	**用紙トレイを本製品に取り付けてください**
排紙トレイがいっぱいです	**排紙トレイから用紙を取り除いてください**
ハブはサポートしていません	**USB メモリー差込口から USB ハブを外してください** USB メモリー差込口は、USB ハブに対応していません。
話し中 / 応答がありません	**電話番号を確認し、もう一度かけ直してください**
ヒーター確認中	**本製品の ⏻ を長押しして電源をオフにしてください** **数秒後に ⏻ を押してもう一度電源をオンにして、そのまま 10 分お待ちください** メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフ にしても消去されません。
まもなく用紙切れ まもなく用紙切れ トレイ 1 まもなく用紙切れ トレイ 2 まもなく用紙切れ トレイ 3	**新しい用紙を購入し、画面に【用紙がありません】と表示される前に準備しておいてください。**

画面表示	解決方法
メモリがいっぱいです	**[X] を押して、受信できなかったジョブデータを消去してください** セキュリティ印刷のデータを保存している場合、印刷するかデータを消去してメモリーの空き容量を確保してください。 **ファクス送信中のとき** [X] を押してからもう一度試してください。ファクス送信の場合、原稿が複数枚のときは【読み取り分送信】を押して読み込まれた分だけを送信してください。 **コピー実行中のとき** [X] を押してからもう一度試してください。コピー実行中の場合、原稿が複数枚のときは【読み取り分コピー】を押して読み込まれた分だけをコピーしてください。 **印刷中のとき** 解像度を下げてからもう一度試してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。 または、保存されているデータを消去して、メモリーの空き容量を確保してください。 **スキャン中のとき** 以下の方法で一度に送るデータの容量を少なくし、もう一度試してください。 • 原稿を何回かに分けてください。 • 解像度を下げてください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。 •【ファイルサイズ】を【小】に設定してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。 •【ファイル形式】を【高圧縮 PDF シングルページ】または【高圧縮 PDF マルチページ】に設定してください。 または、メモリー残量を増やすためファクスの蓄積データを消去してください。⇒ 74 ページ「ファクスをメモリーから消去する」を参照してください。
メンテナンス情報 ヒーター交換	**ヒーターの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
メンテナンス情報 レーザー交換	**レーザーの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
用紙がありません MP トレイ 用紙がありません トレイ 1 用紙がありません トレイ 2 用紙がありません トレイ 3	**用紙をトレイにセットしてください。** 用紙ガイドが正しくセットされているか確認してください。 **用紙がトレイにある場合は、一度用紙を取り除き、再度セットしてください。** 用紙ガイドが正しくセットされているか確認してください。

画面表示	解決方法
用紙サイズが合いません 用紙サイズ間違い MP 用紙サイズ間違い トレイ 1 用紙サイズ間違い トレイ 2 用紙サイズ間違い トレイ 3	**正しい用紙をセットしてください** 用紙サイズ設定で設定した用紙と、トレイにセットしている用紙が違う可能性があります。確認して正しい用紙をセットしてください。または【リトライ】を押してください。
用紙種類が違います	**正しい種類の用紙をトレイに入れて【リトライ】を押してください**
用紙を送れません トレイ 1 用紙を送れません トレイ 2 用紙を送れません トレイ 3	**用紙を補給するか、用紙を正しくセットしてください** それでも問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒ 102 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。
利用できません	**セキュリティ機能ロック 3.0 で、使用制限されている機能を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。
両面印刷できません	**バックカバーを完全に閉じてください** **両面印刷可能な正しい用紙サイズ（A4）を選択してください** を押し、プリンタードライバーで設定を確認してください。設定した用紙サイズの用紙をトレイに入れてください。
冷却中 しばらくお待ちください	**ファンの音を聞き、回転しているかどうか確認してください** ファンが回転している場合は、換気口が塞がれていないか確認してください。換気口の前に障害物があるときは取り除き、電源をオンにしたまま約 10 分お待ちください。 ファンが回転していない場合は、本製品の を長押しして電源をオフにして、数分後に電源を入れ直してください。メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。 **それでも問題が解決しない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスデータを別のファクシミリに転送した後、お客様相談窓口にご連絡ください** ファクスデータの転送方法は、⇒ 124 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」を参照してください。

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷できません。以下の方法でメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かパソコンに転送できます。

別のファクス機に転送する場合

1 を押して、エラーメッセージを閉じる

2 →【全てのメニュー】→【サービス】→【データ転送】→【ファクス転送】を押す

ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順3に進んでください。

3 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す

補足

発信元登録がされていないと転送ができません。

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

1 を押して、エラーメッセージを閉じる

2 →【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【PCファクス受信】を押す

3 【オン】を押す

4 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンのPC-FAX 受信を起動させてください。起動方法について詳しくは、
⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。

5 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを選ぶ

USB接続しているパソコンを選ぶ場合は、【<USB>】を選んで【OK】を押します。

6 【はい】を押す

7 【本体では印刷しない】を押す

- みるだけ受信を設定している場合は、表示されません。
- メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスをPC に転送しますか?/はい/いいえ】と表示されます。

8 を押す

補足

この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【PCファクス受信】の設定を【オフ】に戻してください。詳しくは、⇒171ページ「ＰＣファクス 受信」を参照してください。

通信管理レポートを別のファクス機に転送する場合

1 を押して、エラーメッセージを閉じる

2 →【全てのメニュー】→【サービス】→【データ転送】→【レポート転送】を押す

3 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す

補足

発信元登録がされていないと転送ができません。

紙がつまった！

紙づまりのときのメッセージ

画面にエラーメッセージが表示されます。解除方法を説明するイラストと説明文を【◀】または【▶】で見ることができます。

原稿がつまったとき ⇒126ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。	原稿が詰まっています
用紙がつまったとき ⇒128ページ「用紙がつまったとき」を参照してください。	紙詰まり XXXX

【XXXX】は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

！重要

使用できない用紙は紙づまりや故障の原因になります。⇒ 43 ページ「使用できない用紙」を参照してください。

原稿がつまったとき

画面に以下のように表示されたときは、ADFに原稿がつまっています。

原稿が詰まっています

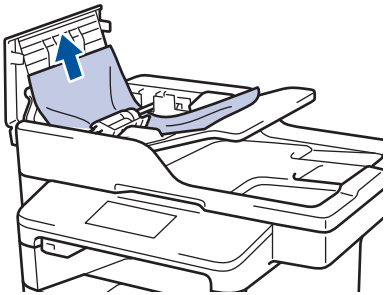
ADFの入口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADFカバーを開く

3 つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

4 ADFカバーを閉じる

ADF カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

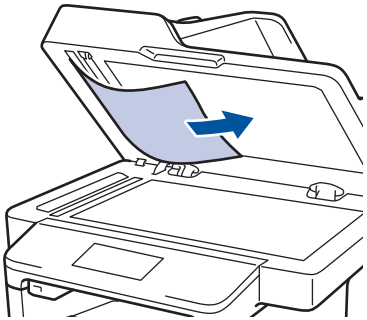
5 を押す

ADF内で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

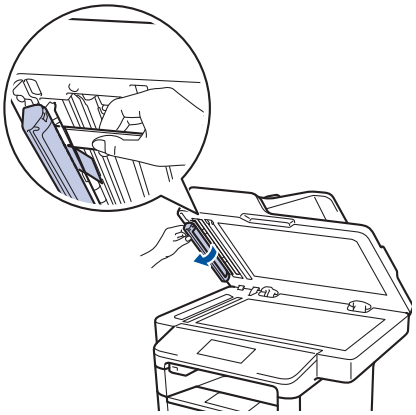
3 原稿台カバーを閉じる

4 を押す

ADF内に破れた原稿（紙片）などがつまったときは

1 原稿台カバーを開ける

2 かたい紙などを使い、破れた原稿（紙片）を取り除く



3 原稿台カバーを閉じる

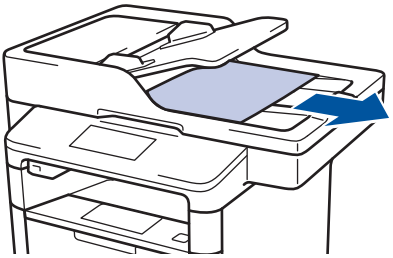
4 ✕ を押す

ADFの出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



3 ✕ を押す

用紙がつまったとき

多目的トレイに用紙がつまったとき

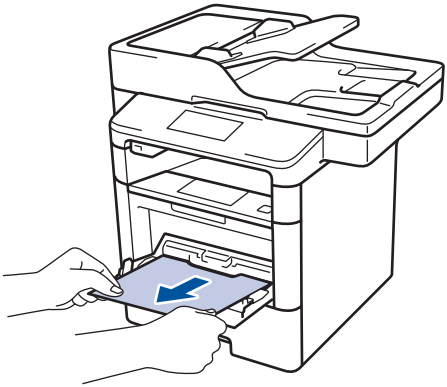
画面に次のように表示されたときは、多目的トレイに用紙がつまっています。

紙詰まり MPトレイ

1 **多目的トレイからつまっていない用紙を取り除く**

2 **多目的トレイからつまった用紙を取り除く**

両手でゆっくり引き出してください。



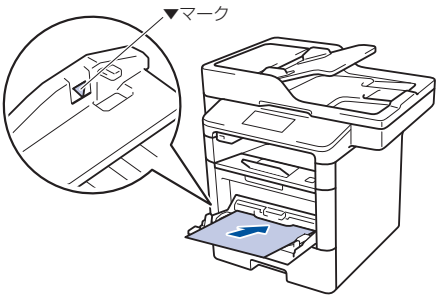
補足

つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品の内部に用紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒132ページ「本製品の内部に用紙がつまったとき」を参照してください。

3 **紙づまりや給紙ミスを防ぐため、用紙をよくさばく**

4 **多目的トレイに用紙をセットする**

用紙は用紙ガイドの両側にある▼マークより下に収まるように入れてください。



5 **【リトライ】を押す**

用紙トレイに用紙がつまったとき

画面に以下のように表示されたときは、用紙トレイに用紙がつまっています。

紙詰まり トレイ 1

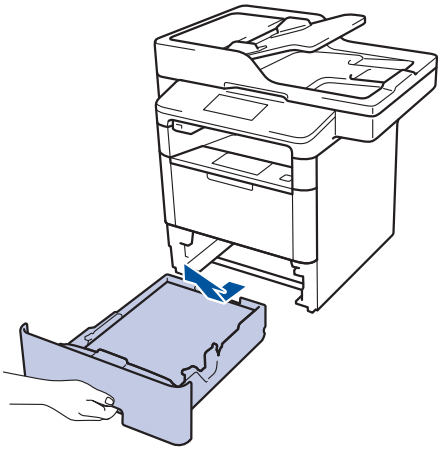
紙詰まり トレイ 2

紙詰まり トレイ 3

1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

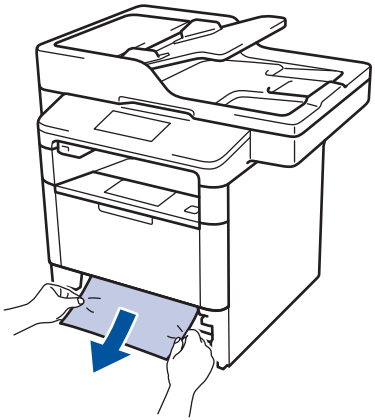
電源がオフの場合は ⏻ を押してオンにします。

2 本製品から用紙トレイを完全に引き出す



3 つまった用紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

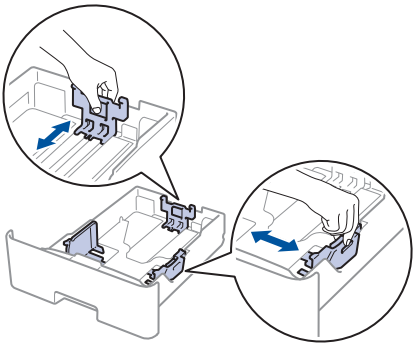


補足

- つまった用紙を下向きに引くと、かんたんに取り除くことができます。
- ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。
- つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品の内部に用紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒132ページ「本製品の内部に用紙がつまったとき」を参照してください。

4 ロック解除ボタンを押しながら用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙の表示位置に合わせる

用紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

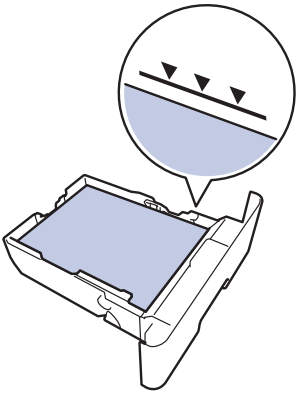


5 **紙づまりや給紙ミスを防ぐため、用紙をよくさばく**

6 **印字面を下にして用紙トレイに用紙を入れる**

- 用紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。

用紙ガイドとセットした用紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。



7 **用紙トレイを本製品に戻す**

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

バックカバーに用紙がつまったとき

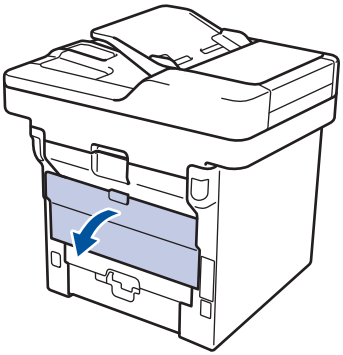
画面に次のように表示されたときは、バックカバー内に用紙がつまっています。

紙詰まり 後ろ

1 **電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ**

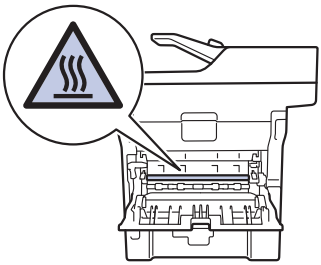
本製品の電源がオフの場合は ⏻ を押してオンにし、10分以上待ちます。

2 **バックカバーを開ける**

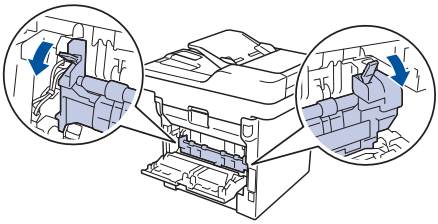


⚠警 告

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

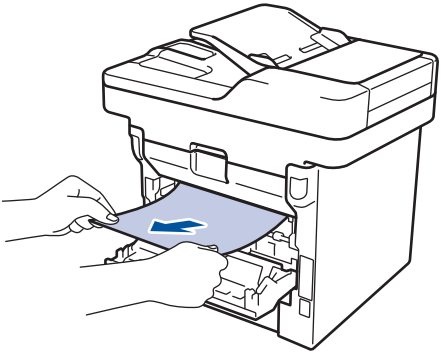


3 左右の緑色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開ける



4 定着ユニットからつまった用紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。
- つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品の内部に用紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒132ページ「本製品の内部に用紙がつまったとき」を参照してください。

5 バックカバーを閉じる

本製品の内部に用紙がつまったとき

画面に以下のように表示されたときは、本製品の内部に用紙がつまっています。

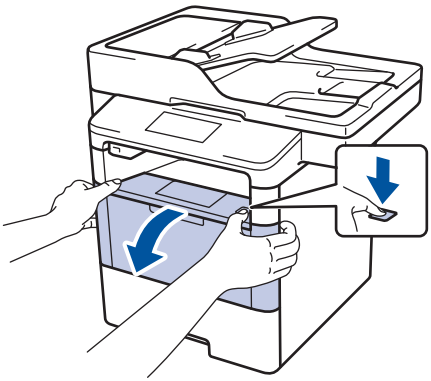
紙詰まり 内部

1 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がオフの場合は ⏻ を押してオンにし、10分以上待ちます。

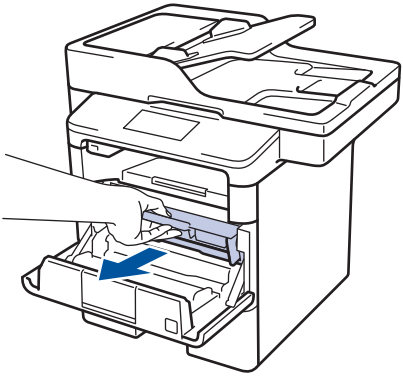
2 フロントカバーを開ける

1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開ける



⚠警 告

2 ドラムユニットを取り出す



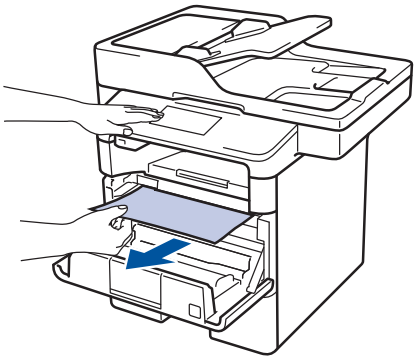
! 重要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

3 つまった用紙を取り除く

つまった用紙をゆっくり引き出してください。

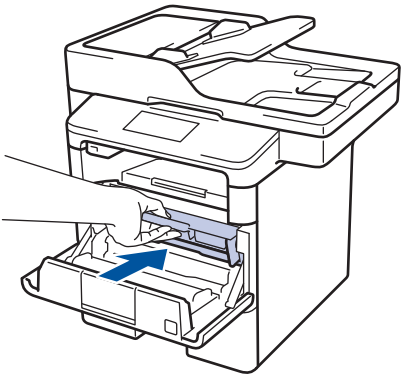


補足

ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。

4 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを戻す



2 フロントカバーを閉じる

補足

● 本製品の内部からつまった紙や破れた紙を取り除いた後、本製品にパソコンからのデータが残っている場合は、残りのデータが印刷されます。

● 本製品の内部に用紙がつまっているときに本製品の電源をオフにした場合は、印刷開始後、不完全なデータを印刷することがあります。
本製品の電源をオンにする前に、パソコンの印刷実行ジョブを削除してください。

両面印刷時に用紙がつまったとき

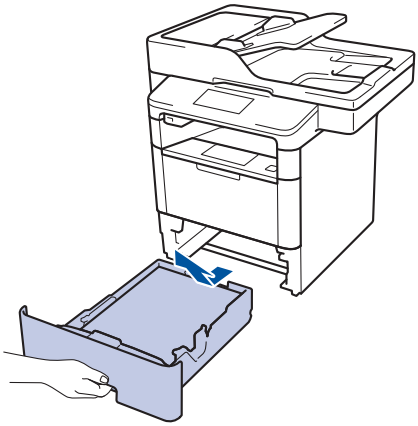
画面に以下のように表示されたときは、内部または両面トレイに原稿がつまっています。

紙詰まり 両面

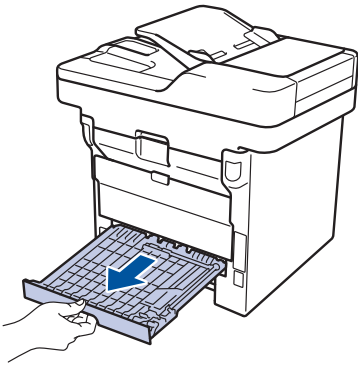
1 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がオフの場合は ⏻ を押してオンにし、10分以上待ちます。

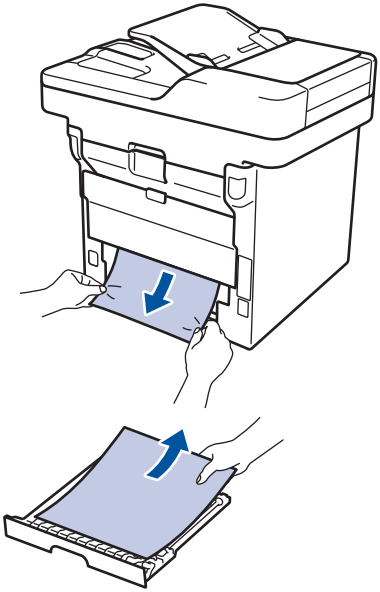
2 本製品から用紙トレイを完全に引き出す



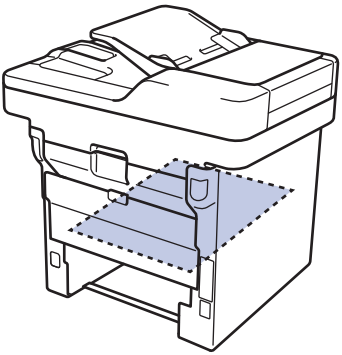
3 本製品の背面から両面トレイを完全に引き出す



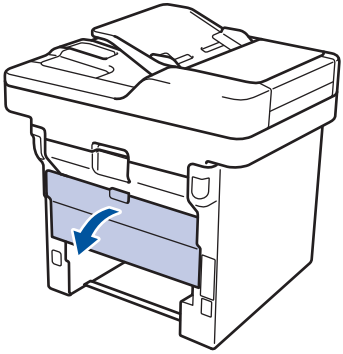
4 本製品の内部または両面トレイにつまった用紙を取り除く



5 本製品の底面につまった用紙がないか確認する

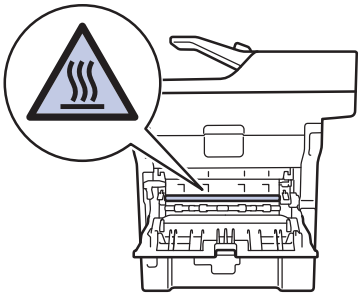


6 両面トレイに用紙が詰まっていない場合は、バックカバーを開ける



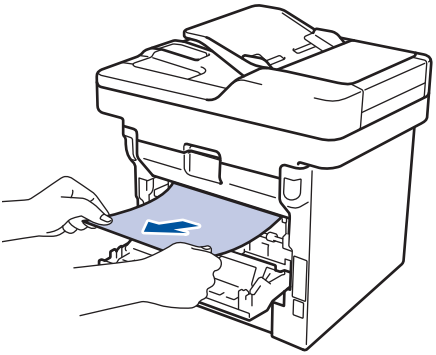
⚠警告

本製品の使用直後は、イラストのグレー部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。本製品内部には非常に高温になる部分があります。



7 つまった用紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。
- つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品の内部に用紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒132ページ「本製品の内部に用紙がつまったとき」を参照してください。

8 本製品のバックカバーをしっかりと閉じる

9 両面トレイを本製品に戻す

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

10 用紙トレイを本製品に戻す

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

原因がよくわからない！

困ったときには（コピー／印刷）

コピー／印刷ができない

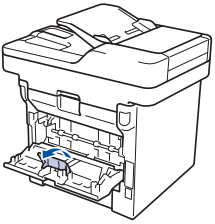
ここを確かめてください	対処方法
電源コードは差さっていますか	コンセントに電源コードを確実に差し込んでください。
本製品の電源はオンになっていますか	本製品の⏻を押して電源をオンにしてください。 ＜電源がオンにならない場合＞ （落雷やパワーサージなどの）瞬間的に発生する大電流によって、本製品内部で安全装置が動作した可能性があります。 本製品の⏻を長押しして電源をオフにして、電源プラグを抜いてください。10 分後に電源プラグを差し込み、⏻を押して電源をオンにしてください。
自動電源オフ機能で電源がオフになっていませんか	本製品の電源がオンになっていること確認してください。 オフのときは、⏻を押して電源をオンにしてください。
トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
給紙ローラーが汚れていませんか	⇒ 102 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。
画面に【用紙を送れません】と表示されていませんか	用紙がまっすぐにセットされていることを確認してください。また、用紙が丸まっていないか、用紙が折れ曲がっていないか確認してください。
用紙トレイに用紙を多くセットしていませんか	用紙を少し減らしてセットしてください。
原稿が正しく送り込まれていますか（ADF 使用時）	• 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。 • ADF カバーをもう一度閉じ直してください。 • 原稿が薄すぎたり厚すぎたりしている場合や、原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっている場合は、原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。 ⇒ 58 ページ「原稿台ガラスにセットする」を参照してください。 • 原稿のサイズを確認してください。 • 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっている場合があります。ADF カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。 ⇒ 126 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
多目的トレイに用紙を正しくセットしていますか	用紙をよくさばき、用紙の先端をずらし、用紙の先端が軽く当たるまで差し込んでください。用紙が用紙ガイドの両端にあるマーク▼より下に収まっているか確認してください。 ⇒ 48 ページ「多目的トレイに用紙をセットする」を参照してください。
プリンタードライバーの給紙方法は正しいですか	プリンタードライバーの給紙方法を確認してください。 • 多目的トレイから印刷したい場合は、プリンタードライバーの［給紙方法］が［多目的トレイ］になっていることを確認してください。 • 用紙トレイから印刷したい場合は、プリンタードライバーの［給紙方法］が［自動選択］または［トレイ 1］になっていることを確認してください。 • 増設用紙トレイから印刷したい場合は、プリンタードライバーの［給紙方法］が［トレイ 2］または［トレイ 3］になっていることを確認してください。
封筒を給紙しない	多目的トレイから封筒の給紙ができます。使用しているアプリケーションが印刷する封筒の大きさに設定されていることを確認してください。使用しているアプリケーションソフトのページ設定、または文章設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
原稿が斜めになって送り込まれていませんか（ADF 使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせてください。
用紙トレイに用紙を正しくセットしていますか	⇒ 45 ページ「用紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。
用紙がつまっていないか確認してください	⇒125ページ「紙がつまった！」を参照してください。 フロントカバー、またはバックカバーを確実に閉めてください。

両面印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの設定は正しいですか	プリンタードライバーが［両面印刷］に設定されているか確認してください。
用紙サイズを正しく設定していますか	用紙サイズが正しく設定されているか確認してください。
バックカバーが完全に閉じていますか	バックカバーが完全に閉じているか確認してください。

排紙トレイから用紙が落ちる

ここを確かめてください	対処方法
排紙ストッパーは開いていますか	上面排紙トレイの排紙ストッパー 1 を開けてください。 バックカバーの排紙ストッパー2を開けてください。 

コピーできない

ここを確かめてください	対処方法
コピーモードになっていますか	【コピー】を押してコピーモードにしてください。
セキュリティ機能ロック 3.0 が設定されていませんか	本製品の管理者にセキュリティ機能ロック 3.0 が設定されていないか確認してください。

パソコンから印刷できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
①ケーブルが正しく接続されていますか	• 本製品側とパソコン側の両方のケーブルを差し直してください。(USB ハブなどを経由しては接続できません。) • 複数の機器がパソコンに接続されている場合は、一時的に本製品以外を取り外して、印刷・コピー・ファクス・スキャンができるか試してください。
②本製品が通常ご使用になるプリンターに設定されていますか	本製品のアイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、以下の手順に従って、チェックマークを付けます。 <Windows® 2012 R2> スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを入れます。 <Windows® 8、または Windows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを入れます。 <Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2> メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを入れます。 <Windows Vista®、またはWindows Server® 2008> メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを入れます。 <Windows® XP、またはWindows Server® 2003> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを入れます。
③画面にエラーメッセージが表示されていませんか	⇒ 117 ページ「画面にエラーメッセージが表示された！(エラーメッセージ一覧)」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
④オフライン状態になっていませんか	本製品がオフラインになっていないか確認します。 <Windows Server® 2012 R2> スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。 本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 [プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。[プリンターをオフラインで使用する] をクリックし、チェックを外してください。 <Windows® 8、または Windows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。[プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。チェックを外してオンラインにしてください。 <Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2> メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 [プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。チェックを外してオンラインにしてください。 <Windows Vista®、またはWindows Server® 2008> メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックしてください。 <Windows® XP、またはWindows Server® 2003> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックしてください。

ここを確かめてください	対処方法
⑤一時停止の状態になっていませんか	本製品が一時停止の状態になっていないか確認します。 <Windows Server® 2012 R2> スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 [Brother MFC-XXXX series - 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再印刷] をクリックしてください。 <Windows® 8、または Windows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 [Brother MFC-XXXX series - 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再印刷] をクリックしてください。 <Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2> メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 [Brother MFC-XXXX series - 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再印刷] をクリックしてください。 <Windows Vista®、またはWindows Server® 2008> メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。 <Windows® XP、またはWindows Server® 2003> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。

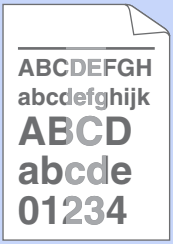
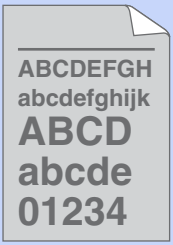
ここを確かめてください	対処方法
⑥印刷待ちのデータがありませんか	印刷に失敗した古いデータが残っている場合があります。以下の方法でデータを削除してください。 <Windows Server® 2012 R2> スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 <Windows® 8、または Windows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 <Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2> メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。 印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 <Windows Vista®、またはWindows Server® 2008> メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 <Windows® XP、またはWindows Server® 2003> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。 • 本製品内に残っているデータを消去する場合は、 を押してください。

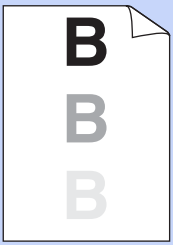
ここを確かめてください	対処方法
⑦印刷先（ポート）の設定が間違っていませんか	<Windows Server® 2012 R2> スタート画面上で、［コントロール パネル］をクリックし、［ハードウェア］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® 8、または Windows Server® 2012> デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら［設定］-［コントロール パネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。 ［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows Vista®、またはWindows Server® 2008> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® XP、またはWindows Server® 2003> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。
⑧セキュリティ機能ロックが設定されていませんか	ネットワーク管理者に連絡して、セキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。
⑨Adobe® Illustrator® を使用していますか	印刷解像度が高すぎる可能性があります。印刷解像度を低く設定してください。
⑩お使いのパソコンを再起動して、本製品の電源を入れ直してください	本製品とパソコンを確認しても印刷できない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してください。
⑪プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください	本製品の電源を入れ直しても印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてからパソコンを再起動し、もう一度ドライバーをインストールしてください。

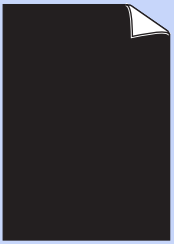
コピー／印刷結果が悪い

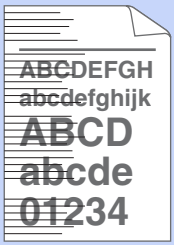
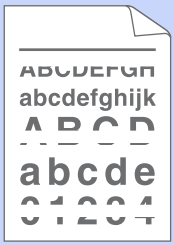
印刷した内容に問題がある場合は、はじめに以下の手順を確認してください。
それでも解決しない場合は、「こんなコピー/印刷結果のときは」の問題例やイラストを確認し、対処方法に従ってください。

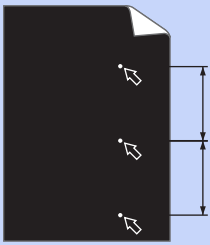
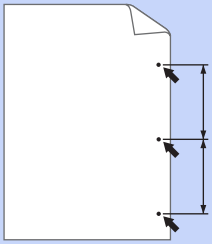
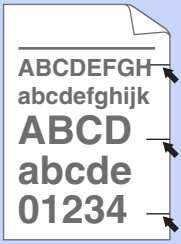
1. 本製品の仕様を満たしている用紙を使用しているか確認してください。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。
2. ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。

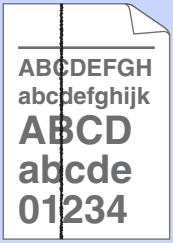
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷結果がかすれる 	• トナー交換が表示されていたら、新しいトナーカートリッジに交換してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。⇒安全にお使いいただくためにを参照してください。 • すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。プリンタードライバーの［拡張機能］タブで［トナー節約モード］のチェックがはずれているか確認してください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • コロナワイヤーを清掃してください。⇒ 98 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
背景が灰色になる 	• ご使用の用紙が本製品に適しているか確認してください。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。⇒安全にお使いいただくためにを参照してください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
同じイメージが等間隔で繰り返し印刷される  	• 本製品の設置環境を確認してください。湿気が少ない場所や低温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。⇒安全にお使いいただくためにを参照してください。 • ご使用の用紙が本製品に適しているか確認してください。表面が粗い用紙を使うとこの問題が起きることがあります。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。 • 設定メニューで、適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。⇒ 164 ページ「機能一覧」 • プリンタードライバーで、［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。
トナー汚れが生じる 	• コロナワイヤーを清掃してください。⇒ 98 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ご使用の用紙が本製品に適しているか確認してください。表面が粗い用紙を使うとこの問題が起きることがあります。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

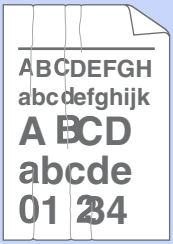
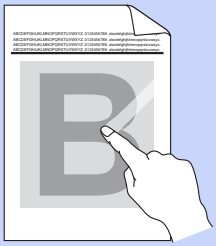
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印字部がところどころ白く欠ける 	• ご使用の用紙が本製品に適しているか確認してください。表面が粗い用紙を使うとこの問題が起きることがあります。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。 • プリンタードライバーの［用紙種類］で［厚紙］を選択するか、現在ご使用のものより薄い用紙をご使用ください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。⇒安全にお使いいただくためにを参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
真っ黒なページが印刷される 	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2、3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 98 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
印刷されたページに、白い線が横方向に現れる 	• ご使用の用紙が本製品に適しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。 • 設定メニューで、適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。⇒ 164 ページ「機能一覧」 • 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。 • この問題は本製品が自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページを印刷してこの問題が解消されるか試してみてください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷されたページに、平行な線が現れる  	• ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2、3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 98 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
印刷されたページに、白い線が横方向に現れる  	• 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • 新しいページを印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
黒い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる  白い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる  	• 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、感光ドラム表面にのりが付着していることがあります。 ⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
黒い汚れが平行に繰り返し入る  	• ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ご使用の用紙が本製品に適しているか確認してください。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。 • ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着することがあります。ドラムユニットを清掃してください。⇒ 99 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホッチキスがついた用紙はご使用にならないでください。 • 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれることがあります。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷されたページに、線が縦方向に現れる  	• ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 98 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 ドラムユニットの緑色のつまみが元の位置（▲）にあるか確認してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。
印刷されたページに、白い線が現れる 	• 紙片やふせん紙、ゴミなどが機械内部やトナーカートリッジ、ドラムユニットのまわりにないか確認してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
斜めに印刷される 	• 用紙やその他のメディアが用紙トレイに正しく挿入されているか確認してください。また、用紙ガイドが用紙の大きさに合っているか確認してください。 • 用紙ガイドを正確にセットしてください。用紙ガイドのツメが溝にしっかりはまっているか確認してください。⇒ 45 ページ「用紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。 • 多目的トレイをご使用の場合は⇒ 48 ページ「多目的トレイに用紙をセットする」を参照してください。 • 用紙トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合があります。⇒ 45 ページ「用紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。 • 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 108 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 両面印刷時にこの問題が発生した場合は、以下を確認してください。 ・両面トレイが完全にセットされているか ・バックカバーが完全に閉じられているか ・両面トレイに破れた用紙がつまっていないか
カールしたり波打って印刷される 	• 用紙の種類と品質を確認してください。高温または多湿によって紙のカールが起きることがあります。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。 • 本製品を長時間使用していないと、用紙が用紙トレイの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の用紙を裏返すか、用紙をさばいてから向きを 180 度回転させてみてください。 • バックカバーを開いて、背面排紙で印刷してみてください。詳細は、⇒ 47 ページ「厚紙、ハガキに印刷する場合」を参照してください。 • プリンタードライバーで、［印刷結果の改善］を選択して、［用紙のカールを軽減する］に設定してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
しわが寄ったり折れ曲がって印刷される 	• 用紙が正しく給紙されているか確認してください。⇒ 45 ページ「用紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。 • 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ 40 ページ「用紙の基本」を参照してください。 • トレイの中の用紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。
封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される 	• 封筒のフラップの向きを180度回転させてみてください。しわが改善されることがあります。（長形 3 号封筒、長形 4 号封筒以外） • バックカバーが開いていることを確認してください。 • 封筒が多目的トレイにセットされていることを確認してください。
印刷された箇所を指でこすると汚れる 	• プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。 • プリンタードライバーの設定で［トナーの定着を改善する］を選択してください。詳細は、［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。数ページしか印刷しない場合は、プリンタードライバーの設定で用紙の種類を、より厚い用紙に変更してください。封筒に印刷する場合は、用紙タイプの設定で［封筒（厚め）］を選択してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
丸まって印刷される 	• プリンタードライバーの設定で［用紙のカールを軽減する］を選択してください。 詳細は、［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。 • トレイの中の用紙を裏返して、再度印刷してください。（レターヘッドのある用紙は除く）

困ったときには（スキャン）

スキャンできない

このような場合は	対処方法
スキャン中にエラーが表示される	Windows®の場合、Nuance™ PaperPort™14SE で［デスクトップ］-［スキャン設定］-［選択］をクリックしてブラザー TWAIN ドライバーを選択します。 Mac の場合、ブラザー TWAIN ドライバーが、一次ソースとして選択されていることを確認します。
OCR が使用できない	解像度を上げてもう一度スキャンしてください。
ネットワークスキャンが使用できない	⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。

困ったときには（電話／ファクス）

ファクスできない

ここを確かめてください	対処方法
本製品が正しく設定されていますか	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 37 ページ「電話回線のこと」、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか	【安心通信モード】を設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ダイヤルできますか	• 電話線を正しく接続してください。 • 接続されている電話機の受話器が上がっている場合は受話器を戻し、本製品の【オンフック】を押して相手先のファクス番号を入力し、ファクスを送信してください。詳しくは、⇒ 64 ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。
送信確認レポートで、結果欄にエラーと印刷される	もう一度ファクスを送信してください。問題が続いている場合、電話会社に問い合わせ、回線を確認してください。
原稿を正しくセットしていますか	原稿を正しくセットしているか確認してください。
登録している電話番号に、ポーズ【 - 】が入っていませんか	登録している電話番号に、ポーズ【 - 】が入っている場合は、削除してください。

ここを確かめてください	対処方法
IP フォンを使用していますか	ご利用しているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。
IP 網を使用した専用線を使用していますか	【安心通信モード】を【標準】に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ADSL 環境ですか	• ブランチ（並列）接続をしないでください。 • ラインセパレータ（分岐器）を使用すると改善する場合があります。

ファクスできない（応用編）

このような場合は	対処方法
自動受信できない	• 呼び出しベル回数が多すぎないか確認してください。受信モードのときは呼び出しベル回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼び出しベル回数を 2 回以下に設定してください。⇒ 71 ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。または、手動で受信してください。 • 自動で用紙に印刷したいときは、【メモリ受信】の設定を【オフ】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」、 ⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
リモート受信できない	• 【リモート受信】の設定を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • リモート起動番号を本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで正しくダイヤルしてください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • メモリーがいっぱいになっている場合があります。メモリー内部のデータを印刷するか、メモリーの内容を消去してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」、 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない	【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
IP 網を使用している	「0000」や選択番号をダイヤルした後、約 3 秒間待ってから相手の番号や電話帳をダイヤルしてください。

このような場合は	対処方法
ファクスを複数枚送信できない	• ADF を使用する場合 リアルタイム送信が【オン】になっていることを確認して送信してください。 • 原稿台ガラスを使用する場合 リアルタイム送信が【オフ】になっていることを確認して送信してください。それでも送信に失敗する場合は、メモリーの容量が不足している可能性があります。その場合は、ADF を使用して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

リモコン機能が使えない

ここを確かめてください	対処方法
トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。

ファクスの画質が悪い

このような場合は	対処方法
受信したファクスが分割されて 2 ページに印刷される	【自動縮小】を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
受信したファクスの画像が乱れる	• 相手に画質を変更して送信してもらってください。 • ブランチ（並列）接続はしないでください。 ⇒安全にお使いいただくためにを参照してください。
受信したファクスに縦の線が現れる	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 98 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒ 111 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 それでも改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。

このような場合は	対処方法
受信したファクスに、水平の線が現れるまたは、行が抜ける	• 回線状況が悪い可能性があります。相手にファクスを再送するように依頼してください。 •【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
相手側で受信したファクスが鮮明でない	• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 97 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。【ファイン】または【スーパーファイン】モードを使用してファクスを再送信してください。原稿が写真の場合は、【写真】モードを選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
送信したファクスに縦の線が現れる	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 97 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
送信したファクスに横の線が現れる	【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

電話がかけられない

ここを確かめてください	対処方法
受話器から「ツー」という音が聞こえますか	本製品に接続している電話機が本製品の外付け電話（EXT.）端子に接続していることを確認してください。
ひかり電話を使用していますか	• 手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • 一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社へお問い合わせください。

着信音が鳴らない

ここを確かめてください	対処方法
電源は入っていますか	本製品の電源がオンになっているか確認してください。また電源コードも確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプター側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
ISDN を使用していますか	• ターミナルアダプターの電源が入っているか確認してください。また、何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。 それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。 • ターミナルアダプターの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認してください。 異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。 • 本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。 •「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。 ターミナルアダプターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
ISDN 回線で、複数の回線を契約していますか	• ダイヤルイン番号またはiナンバーを着信させるアナログポートはグローバル着信を「しない」に設定してください。 • まだ問題がある場合は、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたは最寄りの NTT にお問い合わせください。

「声」をファクス信号音として誤って検出する

ここを確かめてください	対処方法
【親切受信】が【オン】に設定されていませんか	本製品の【親切受信】が【オン】に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続している電話機をお使いの場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

ナンバー・ディスプレイが使用できない

ここを確かめてください	対処方法
電話番号が表示されない	• ブランチ（並列）接続をしている場合は、ブランチ（並列）接続をしないでください。 • NTT のナンバー・ディスプレイサービスの契約をしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ISDN を使用していますか	本製品を接続しているターミナルアダプターのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプター側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

IPファクスで送受信できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
①NTTのフレッツ光ネクストに契約していますか	NTT のフレッツ光ネクストに契約し、専用のホームゲートウェイを設置してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
②ホームゲートウェイの光ファイバーケーブル、LANケーブルが正しく接続されていますか	配線の接続を確認してください。 ⇒ 37 ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」を参照してください。
③ホームゲートウェイの電源スイッチがOnになっていますか	電源スイッチが On になっているときは、電源コードを確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
④ホームゲートウェイが正しく設定されていますか	ホームゲートウェイの設定を変更した場合は、本製品の電源を入れ直してください。 正しく設定されていても、うまくいかないときはNTTにお問い合わせください。
⑤次世代ネットワーク（NGN）のサービスが、正常に提供されていますか	最寄りのNTT窓口にお問い合わせください。
⑥（送信時のみ）【データコネクト設定】の【IPファクス】が、【オフ】になっていませんか	【専用】または【優先】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「IPファクスの設定をする」を参照してください。
⑦【TCP/IP】の【IP取得方法】が、【Auto】または【DHCP】に設定されていますか	【Auto】または【DHCP】に設定してください。 ⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。
⑧ホームゲートウェイの設定を変更していませんか	本製品の電源を入れ直してください。
⑨相手側の設定は正しいですか	①～⑧を相手側に確認してもらってください。

困ったときには（その他）

突然印刷が開始されたり、無意味なデータが印刷される

ここを確かめてください	対処方法
USB ケーブルや LAN ケーブルが長すぎませんか、破損または故障していませんか	• USBケーブルは長さが2.0m以下のものをおすすめします。 • ケーブルが破損、故障している場合は交換してください。
インターフェイス切替器を使用していますか	インターフェイス切替器を取り外して、パソコンを直接本製品に接続してください。

ネットワークに関するトラブル

ここを確かめてください	対処方法
有線 LAN の設定が間違っていませんか	【ネットワーク設定リスト】（⇒ 181 ページ「レポート印刷」）を印刷し、有線 LAN の設定を確認してください。 有線 LAN の設定については、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。
無線 LAN の設定が間違っていませんか	【無線 LAN レポート】（⇒ 181 ページ「レポート印刷」）を印刷し、無線LANの設定を確認してください。 無線 LAN の設定については、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」を参照してください。

網掛け印刷がうまく印刷できない（Windows®のみ）

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの［パターン印刷を改善する］を設定していますか	以下の手順で設定を確認してください。 1［基本設定］タブで［印刷設定］のプルダウンメニューから［手動設定］を選択する 2［手動設定］をクリックし、［パターン印刷を改善する］チェックボックスがチェックされていることを確認する

パソコンの画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない

ここを確かめてください	対処方法
ヘッダーまたはフッターの設定が間違っていませんか	ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した（Windows®のみ）

ここを確かめてください	対処方法
ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。

スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる

ここを確かめてください	対処方法
スピーカーの近くにアンテナがありませんか	アンテナをスピーカーから遠ざけてください。

印刷速度がとても遅い

ここを確かめてください	対処方法
印刷品質が高品質になっていませんか	プリンタードライバーの設定を変更してください。
スリープモードにしていませんか	スリープモードの設定を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「省エネ設定」を参照してください。
バックカバーが完全に閉じていますか	バックカバーが完全に閉じているか確認してください。

画面の文字が読みにくい

ここを確かめてください	対処方法
画面のコントラストの設定が適切ですか	画面のコントラストの設定を変更してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「画面設定」を参照してください。

Macintoshに接続したプリンターが表示されない

ここを確かめてください	対処方法
ケーブルが正しく接続されていますか	ケーブルを正しく接続してください。
プリンタードライバーはインストールされていますか	• プリンタードライバーが正しくインストールされているかを確認してください。 • OS X v10.8.5 の場合 ［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］をクリックし、本製品が表示されているか確認してください • OS X v10.9.x、10.10.x の場合 ［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］をクリックし、本製品が表示されているか確認してください。

本製品の動作中にUPSから警告音が鳴る

ここを確かめてください	対処方法
UPS（無停電電源装置）を使用していませんか	本製品の電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

その他

ここを確かめてください	対処方法
印刷すると照明がちらついたり、パソコンの画面表示が不安定になっていませんか	コンセントの容量が不足していると、このような現象が起きる場合があります。 本製品の電源コードを別系統のコンセントに接続してください。

5 付録

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージに従って、登録や設定を行います。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

【メニュー】ボタン

待ち受け画面の を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
時計セット	⇒183ページ「時計セット」を参照してください。				
トナー	トナー残量	–	–	トナー残量を表示します。	⇒21 ページ
	テストプリント	–	–	印刷テストを行います。	⇒21 ページ
ネットワーク	有線LAN	有線LANを使用するときに必要なネットワーク設定メニューを表示します。 ⇒176ページ「有線LAN」を参照してください。			
	無線LAN	無線LANを使用するときに必要なネットワーク設定メニューを表示します。 ⇒177ページ「無線LAN」を参照してください。			
画面設定	⇒169ページ「画面設定」を参照してください。				
Wi-Fi Direct	⇒178ページ「Wi-Fi Direct」を参照してください。				
トレイ設定	⇒165ページ「用紙トレイ設定」を参照してください。				
全てのメニュー	–	–	–	本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。	⇒165 ページ

【全てのメニュー】

待ち受け画面の →【全てのメニュー】を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

基本設定

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	用紙タイプ	多目的トレイ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ レターヘッド カラー用紙	用紙トレイにセットした用紙の種類を設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒54 ページ
		用紙トレイ#1	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 再生紙 ハガキ レターヘッド カラー用紙		
		用紙トレイ#2 ※1	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 再生紙 レターヘッド カラー用紙		
		用紙トレイ#3 ※2	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 再生紙 レターヘッド カラー用紙		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	用紙サイズ	多目的トレイ	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	用紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒54 ページ
		用紙トレイ#1	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) A6 ハガキ		
		用紙トレイ#2 ※1	A4 USレター B5(JIS) A5		
		用紙トレイ#3 ※2	A4 USレター B5(JIS) A5		
	用紙残量通知※3	用紙残量通知	オン オフ	用紙残量通知を表示するかしないかを設定します。表示するときは【オン】に設定します。	⇒55 ページ
		通知レベル	残量 少 残量 極少	用紙残量通知を表示するときの、用紙残量レベルを設定します。	
	トレイ開閉時確認	－	オン オフ	本体の設定と、用紙トレイにセットした用紙サイズが一致しているか確認を促すメッセージを表示するときは【オン】に設定します。	⇒55 ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	トレイ選択: コピー	–	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1 トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台設置したとき) ※1 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1 >トレイ2 多目的トレイ>トレイ2 >トレイ1 トレイ1>トレイ2 >多目的トレイ トレイ2>トレイ1 >多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき) ※2 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ 多目的>トレイ1>トレイ2-3 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的	コピーするときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	トレイ選択: ファクス	–	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1 トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台設置したとき) ※1 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1 >トレイ2 多目的トレイ>トレイ2 >トレイ1 トレイ1>トレイ2 >多目的トレイ トレイ2>トレイ1 >多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき) ※2 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ 多目的>トレイ1>トレイ2-3 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的	ファクスを印刷するときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	トレイ選択: プリント	–	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1 トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台設置したとき) ※1 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1 >トレイ2 多目的トレイ>トレイ2 >トレイ1 トレイ1>トレイ2 >多目的トレイ トレイ2>トレイ1 >多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき) ※2 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ 多目的>トレイ1>トレイ2-3 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的	プリンター印刷するときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	除外トレイ設定 ※4	–	オフ トレイ 2※1 トレイ 3※2	使用するトレイを設定するときに、指定のトレイからは給紙しないように設定します。	–
	合紙トレイ設定 ※4	–	オフ トレイ 2※1 トレイ 3※2	各印刷ジョブの間に指定したトレイから、用紙を挿入します。例えば、カラー用紙を入れたトレイを指定して、ジョブの区切りをわかりやすくすることができます。	–
音量	着信音量	–	切 小 中 大	着信音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ボタン確認音量	–	切 小 中 大	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	スピーカー音量	–	切 小 中 大	スピーカーの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
画面の明るさ	画面の明るさ	–	明るく 標準 暗く	画面の明るさを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	照明ダウンタイマー	–	切 10秒 20秒 30秒	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
画面設定	待機画面	–	基本機能 便利な機能1 便利な機能2 お気に入り 1 お気に入り 2 お気に入り 3 お気に入り 4 お気に入り 5 お気に入り 6 お気に入り 7 お気に入り 8	を押したときに表示される待機画面を設定します。	⇒23 ページ
	コピー画面	–	レシート 標準 2in1(ID) 2in1 片面⇒両面 両面 ⇒ 両面 用紙節約	を押したときに表示されるコピー画面を設定します。	⇒80 ページ
	スキャン画面	–	スキャン機能一覧 OCR ファイル イメージ USBメモリ Eメール添付 Eメール送信※5 FTP/SFTPサーバー ネットワーク SharePoint	を押したときに表示されるスキャン画面を設定します。	⇒93 ページ
省エネモード	トナー節約モード	–	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。 【オン】に設定すると、印字結果が薄くなります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	スリープモード	–	1分 (0-50分)	スリープモードに切り替わるまでの時間を0～50分の間で設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	静音モード	–	オン オフ	印刷時の動作音を静かにすることができます。【オン】に設定すると、印字速度が遅くなります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	自動電源オフ	–	オフ 1 時間 2 時間 4 時間 8 時間	本製品がディープスリープモードの状態で一定の時間が経過すると、自動的に電源をオフにすることができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
セキュリティ設定ロック	パスワード設定	OK	現在のパスワード： (既にパスワードが設定されているときに表示されます) 新規のパスワード：	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ロック オフ⇒オン	–	–		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
記憶消去	マクロ ID	1	–	マクロデータを消去します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2	–		
		3	–		
	フォント ID	1	–	フォントデータを消去します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2	–		
		3	–		
	フォーマット	–	–	マクロデータとフォントデータをお買い上げ時の設定に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※ 1 :オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 1 台増設したときにメニューが表示されます。
※ 2 :オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 2 台増設したときにメニューが表示されます。
※ 3 :MFC-L6900DW のみ
※ 4 :オプションの増設用紙トレイを設置したときに表示されます。
※ 5 :MFC-L5755DW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

お気に入り設定

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
(お気に入りボタンを選ぶ)	名前の変更	–	お気に入り 1～8の画面に登録するメニューや機能の編集をします。	⇒35 ページ
	編集			
	消去			

ファクス

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
受信設定	受信モード	−	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	ファクスの受信モードを設定します。	⇒71 ページ
	ファクス無鳴動受信	−	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	⇒71 ページ
	呼出ベル回数	−	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のとき、着信してから自動受信するまでの呼び出しベル回数を0～10回の間で設定します。	⇒71 ページ
	電話機の接続	−	ガイドに沿って設定 初期値に戻す	外付け電話を接続している場合に、外付け電話を使用するための設定をします。	
	再呼出ベル回数	−	8 15 20	受信モードが【F/T=自動切換え】のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼び出しベル回数を設定します。	⇒71 ページ
	みるだけ受信		オン(画面で確認) オフ(受信したら印刷)	ファクスを受信したときに印刷するか、画面で確認するかを設定します。	⇒72 ページ
	親切受信	−	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話を取ってしまった場合でも、本製品の【スタート】を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	リモート受信	リモート受信	オン 起動番号　#51 オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	自動縮小	−	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ＰＣファクス受信	−	オン OK <USB> オフ	本製品と接続されているパソコンにファクスを受信させるときに設定します。【オン】に設定すると、メモリー受信は自動的に【オフ】に設定されます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	メモリ受信	−	オフ ファクス転送 電話呼び出し メモリ保持のみ ファクス クラウド転送	ファクスを転送したり、メモリー受信を設定します。【オフ】以外に設定すると、PCファクス受信は自動的に【オフ】に設定されます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	受信スタンプ	−	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	両面印刷	−	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
送信設定	とりまとめ送信	－	オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	送付書設定	印刷サンプル	－	送付書をサンプルとして印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		送付書コメント	－	送付書のコメントを作成します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	自動再ダイヤル	－	オン オフ	自動再ダイヤルの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	送信先表示	－	表示 非表示	ファクス送信の宛先情報を画面に表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
電話回線診断	－	－	－	本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
レポート設定	送信結果レポート	－	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ レポート出力しない	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	通信管理レポート	通信管理レポート	レポート出力しない 50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		印刷時刻指定	00:00	【通信管理レポート】で【レポート出力しない】、【50件ごと】以外に設定したときにレポートが印刷される時間を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		曜日指定	月曜日ごと 火曜日ごと 水曜日ごと 木曜日ごと 金曜日ごと 土曜日ごと 日曜日ごと	【通信管理レポート】で【7日ごと】に設定したときにレポートが印刷される曜日を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ファクス出力	－	－	－	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
暗証番号	－	－	暗証番号 ---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ダイヤル制限機能	直接入力	－	2度入力 オン オフ	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	電話帳	－	2度入力 オン オフ		
	お気に入り	－	2度入力 オン オフ		
	LDAPサーバー※	－	2度入力 オン オフ		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
通信待ち一覧	−	−	−	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ナンバーディスプレイ	−	−	オン オフ 外付け電話優先	ナンバー・ディスプレイサービスのオン/オフを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
データコネクト設定	IPファクス	−	専用 優先 オフ	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	通信速度	−	自動 標準 高速 最高速	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※ MFC-L5755DW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

プリンター

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容
エミュレーション	−	−	自動 HP LaserJet BR-Script 3※1 Epson FX-850	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。
プリンターオプション	フォント リスト	HP LaserJet	−	内蔵フォントの種類を印刷します。
		BR-Script 3※1	−	
	テストプリント	−	−	テストチャートを印刷します。
両面印刷	両面印刷	−	オフ 長辺とじ 短辺とじ	両面印刷時の内容を設定します。
	片面データ搬送方式	−	両面搬送経路 片面搬送経路	最終ページの印刷面が片面のときは、【片面搬送経路】を選択すると最終ページが片面搬送経路で排出されるために印刷時間を短縮できます。 レターヘッドや印刷済み用紙を使用する場合は、【両面搬送経路】を選択してください。【片面搬送経路】が選択されていると最終ページのみ印刷面が反対になります。
エラー解除	−	−	オン オフ	【オン】に設定すると、用紙サイズのエラーを自動解除して、用紙トレイにセットされた用紙を使用して給紙を継続します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容
カーボン メニュー	カーボン コピー	–	オン オフ	カーボンコピー機能を使用するかしないかを設定します。
	部数	–		【カーボン コピー】を【オフ】に設定すると、この項目は無効になります。
	コピー 1 トレイ	–	多目的トレイ トレイ 1 トレイ 2※2 トレイ 3※3	コピー 1に使用するトレイを選択します。
	コピー 1 マクロ	–	–	コピー 1に使用するマクロを選択します。
	コピー 2 トレイ	–	多目的トレイ トレイ 1 トレイ 2※2 トレイ 3※3	コピー 2に使用するトレイを選択します。
	コピー 2 マクロ	–	–	コピー 2に使用するマクロを選択します。
	コピー 3 トレイ	–	多目的トレイ トレイ 1 トレイ 2※2 トレイ 3※3	コピー 3に使用するトレイを選択します。
	コピー 3 マクロ	–	–	コピー 3に使用するマクロを選択します。
	コピー 4 トレイ	–	多目的トレイ トレイ 1 トレイ 2※2 トレイ 3※3	コピー 4に使用するトレイを選択します。
	コピー 4 マクロ	–	–	コピー 4に使用するマクロを選択します。
	コピー 5 トレイ	–	多目的トレイ トレイ 1 トレイ 2※2 トレイ 3※3	コピー 5に使用するトレイを選択します。
	コピー 5 マクロ	–	–	コピー 5に使用するマクロを選択します。
	コピー 6 トレイ	–	多目的トレイ トレイ 1 トレイ 2※2 トレイ 3※3	コピー 6に使用するトレイを選択します。
	コピー 6 マクロ	–	–	コピー 6に使用するマクロを選択します。
	コピー 7 トレイ	–	多目的トレイ トレイ 1 トレイ 2※2 トレイ 3※3	コピー 7に使用するトレイを選択します。
	コピー 7 マクロ	–	–	コピー 7に使用するマクロを選択します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー2	選択項目	内容
カーボン メニュー	コピー 8 トレイ	–	多目的トレイ トレイ 1 トレイ 2※2 トレイ 3※3	コピー 8に使用するトレイを選択します。
	コピー 8 マクロ	–	–	コピー 8に使用するマクロを選択します。
HP トレイ コマンド			LJ4 LJ3	最新のHP LaserJetエミュレーションを選択します。
プリンター リセット	–	–	はい いいえ	プリンターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

※ 1 :MFC-L6900DW のみ

※ 2 :オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 1 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 3 :オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 2 台増設したときにメニューが表示されます。

ネットワーク

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークを参照してください。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容
有線LAN	TCP/IP	IP取得方法	－	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
			IP設定 リトライ	3 [0-32767]	【IP取得方法】で【Static】以外を選択した場合に設定します。
		IP アドレス	－	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	IPアドレスを設定します。
		サブネット マスク	－	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ	－	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		ノード名	－	BRNxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
		WINS設定	－	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		WINS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		DNS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		APIPA	－	オン オフ	APIPAを設定します。
		IPv6	－	オン オフ	IPv6を設定します。
	イーサネット	－	－	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto： 自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD： それぞれのリンクモードに固定されます。
	有線LAN状態	－	－	アクティブ1000B-FD※1 アクティブ100B-FD アクティブ100B-HD アクティブ10B-FD アクティブ10B-HD 未接続 有線LANオフ	有線LANの接続状態を表示します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
有線LAN	MACアドレス	–	–	–	MACアドレスを表示します。
	初期設定に戻す	–	–	はい いいえ	有線 LAN のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	有線LAN有効	–	–	オン オフ	有線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
無線LAN	TCP/IP	IP取得方法	–	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
			IP設定リトライ	3 [0-32767]	【IP取得方法】で【Static】以外を選択した場合に設定します。
		IP アドレス	–	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	IPアドレスを設定します。
		サブネットマスク	–	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ	–	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		ノード名	–	BRWxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
		WINS設定	–	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		WINS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	
		DNS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	
		APIPA	–	オン オフ	APIPAを設定します。
		IPv6	–	オン オフ	IPv6を設定します。
	無線接続ウィザード	–	–	–	ウィザード形式で無線 LAN の設定をします。
	接続アシスタント	–	–	–	ドライバー / ユーティリティー CD-ROMを使用して無線LAN設定を行います。（Windows®のみ）
	WPS	–	–	–	ボタンを押すだけで簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
	WPS（PINコード）	–	–	–	WPS（PINコード）で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容
無線LAN	無線状態	接続状態	－	アクティブ(11b) アクティブ(11g) アクティブ(11n) 有線LANアクティブ 未接続 接続に失敗しました	接続状態を表示します。
		電波状態	－	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
		SSID	－	－	SSID(ネットワーク名)を表示します。
		通信モード	－	アドホック インフラストラクチャ なし	通信モードを表示します。
	MACアドレス	－	－	－	MACアドレスを表示します。
	初期設定に戻す	－	－	はい いいえ	無線 LAN のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	無線LAN有効	－	－	オン オフ	無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続	－	－	－	ボタンを押すだけで簡単にWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	PINコード接続	－	－	－	WPS（PIN方式）で簡単にWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	手動接続	－	－	－	手動でWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	グループオーナー	－	－	オン オフ	本製品をグループオーナーに設定できます。
	デバイス情報	デバイス名	－	(デバイス名)	デバイス名を表示します。
		SSID	－	(自分のSSID) (接続相手のSSID) 未接続	グループオーナーの SSID（ネットワーク名）を表示します。
		IP アドレス	－	－	本製品のIPアドレスを表示します。
	接続情報	接続状態	－	グループオーナー（＊＊） クライアント アクティブ 未接続 Wi-Fi Direct オフ	接続状態を表示します。 （＊＊）は接続数
		電波状態	－	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
	インターフェース有効	－	－	オン オフ	Wi-Fi Direct接続の有効/無効を設定します。
NFC※1	－	－	－	オン オフ	NFC機能の有効/無効を設定します。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容
Eメール/IFAX ※2	メール アドレス	−	−	−	メールアドレスを設定します。 （最大255文字）
	サーバー設定	SMTP	サーバー	サーバー名 IP アドレス [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	SMTPサーバーを設定します。 （最大64文字）
			ポート	25 [1-65535]	SMTP 認証を行うポート番号を設定します。
			SMTP認証	認証しない SMTP認証	SMTPの認証方式を設定します。
			SSL/TLS	認証しない SSL TLS	SMTPの暗号化方式を設定します。
			証明書の検証	オン オフ	SMTP サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
		POP3/ IMAP4	プロトコル	POP3 IMAP4	インターネットに接続するプロトコルを設定します。
			サーバー	サーバー名 IP アドレス [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	POP3またはIMAP4サーバーを設定します。 （最大64文字）
			ポート	110 [1-65535]	POP3またはIMAP4で使用するポート番号を設定します。
			アカウント名	−	アカウント名を設定します。 （最大60文字）
			パスワード	パスワード	POP3またはIMAP4サーバーにログインするパスワードを設定します。 （最大32文字）
			フォルダ選択 ※3	初期値(受信トレイ) 特定のフォルダ	受信先を設定します。【特定のフォルダ】を指定する場合、アドレスも設定します。 （最大６０文字）
			SSL/TLS	認証しない SSL TLS	POP3またはIMAP4の暗号化方式を設定します。
			証明書の検証	オン オフ	POP3またはIMAP4サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
			APOP	オン オフ	アカウントやパスワードのセキュリティを保つため、APOPの設定を行います。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
Eメール/IFAX ※2	メール 受信設定	自動受信	自動受信	オン オフ	メールの自動受信を設定します。
			ポーリング間隔	1分 3分 5分 10分 30分 60分	【自動受信】で【オン】を選んだ場合に、POP3またはIMAP4サーバーへアクセスする間隔を設定します。
		ヘッダー印刷	–	全て ヘッダー のみ なし	メールヘッダー印刷を設定します。
		エラーメール削除/閲覧	–	オン オフ	エラーメールの自動削除を設定します。
		受信確認	–	オン MDN オフ	通知メッセージを設定します。
	メール 送信設定	メールタイトル	–	Internet Fax Job	メールタイトルを設定します。
		サイズ制限	サイズ制限	オン オフ	メールサイズ制限と最大サイズを設定します。【オン】に設定すると、【最大サイズ(MB)】で設定したサイズ より大きいときは警告が表示されメールを送信することができません。
			最大サイズ(MB)	–	
		受信確認要求	–	オン オフ	通知メッセージを設定します。
	リレー 設定	リレー 許可	–	オン オフ	インターネット経由で受け取ったドキュメントを電話回線でファクスに転送します。
		許可 ドメイン	–	リレーXX	転送を許可するドキュメント名を登録します。
		リレーレポート	–	オン オフ	転送したあとのレポート出力を設定します。
	手動受信	–	–	–	メールの手動受信を設定をします。
Web接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	–	オン オフ	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。
		アドレス	–	–	プロキシサーバーのアドレスを設定します。
		ポート	–	8080 [1-65535]	プロキシサーバーのポート番号を表示します。
		ユーザー名	–	–	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。
		パスワード	–	–	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。
セキュリティ	IPsec	–	–	オン オフ	IPsecの有効/無効を設定します。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容
ネットワーク設定リセット	–	–	–	–	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※１：MFC-L6900DW のみ
※２：MFC-L5755DW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。
※３：【プロトコル】で【IMAP4】を選択した場合のみ

レポート印刷

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	内容
送信結果レポート	表示	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。
	印刷	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
電話帳リスト	–	電話帳に登録されている内容を印刷します。
通信管理レポート	–	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
設定内容リスト	–	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
プリンター設定	–	プリンターの設定値内容を印刷します。
ネットワーク設定リスト	–	ネットワークの設定値内容を印刷します。
ファイルリスト印刷	–	メモリーに保存されたファイルの一覧を印刷します。
ドラム汚れ印刷	–	感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。
無線LANレポート	–	無線LANの現在の接続状況を印刷します。
着信履歴リスト	–	着信した履歴を印刷します。

製品情報

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	内容
シリアル No.	－	シリアルNo.を表示します。
ファームウェア バージョン	Main バージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。
	Sub1 バージョン	
印刷枚数表示	合計	お買い上げ時から今までに印刷した枚数を表示します。
	ファクス	
	コピー	
	プリンター	
	その他	
消耗品寿命※1	ドラム寿命	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。
	ヒーター 寿命	定着器ユニット（ヒーター）（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。
	レーザー 寿命	レーザーユニット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。
	PF キットMP 寿命	用紙トレイPF キット(MP/1/2/3)(定期交換部品)寿命までの残り%を表示します。
	PF キット1 寿命	
	PF キット2 寿命 ※2	
	PF キット3 寿命 ※3	

※ 1 : 使用環境や用紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

※ 2 : オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 1 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 3 : オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 2 台増設したときにメニューが表示されます。

初期設定

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
時計セット	日付	2016.01.01	現在の日付を設定します。
	時刻	00:00	現在の時刻を設定します。
	タイム ゾーン	UTC+09:00	本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。
発信元登録	ファクス	–	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。
	電話	–	
	名前	–	
回線種別設定	–	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。
ダイヤルトーン設定	–	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。
外線番号	–	オン オフ	構内交換機（PBX）使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号を登録します。
特別回線対応	–	一般 PBX 光・ISDN	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。
安心通信モード	–	高速 標準 安心（VoIP）	安心通信モードに設定します。
設定リセット	機能設定 リセット	OK キャンセル	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
	ネットワーク 設定リセット	OK キャンセル	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
	電話帳&ファクス リセット	OK キャンセル	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。
	全設定リセット	OK キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報を初期値に戻します。
	出荷状態 リセット	OK キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。
表示言語設定	–	日本語 English	画面に表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.

サービス

【印刷できません】などのエラーが解決されない場合に【サービス】メニューが表示されます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
データ転送	ファクス転送	–	ファクスが印刷できないときに、ファクスデータや通信管理レポートを別のファクス機で印刷します。	⇒124 ページ
	レポート転送	–		

【ファクス】ボタン

待ち受け画面の 【ファクス】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

みるだけ受信がオフのとき

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
再ダイヤル	−	−	−	−	直前に送信した相手先をダイヤルします。電話番号を入力し始めると、再ダイヤルから、ポーズボタンに変わります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ポーズ	−	−	−	−		
オンフック	−	−	−	−	受話器を置いたままダイヤルします。押すと電話回線につながります。	⇒64 ページ
電話帳	（検索）	−	−	−	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	登録/編集	電話帳登録	名前 ヨミガナ 宛先	−		
		グループ登録	名前 ヨミガナ 追加/消去	−		
		変更	（登録されている相手先を選択）	名前 ヨミガナ 宛先		
		消去	−	−		
	（登録されている相手先を選択）	送信先に設定	−	−		
履歴	発信履歴	（履歴を選択）	設定	電話帳に登録 消去	発信/着信履歴を表示します。※ナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合は、着信履歴に電話番号と名前（電話帳に登録されている場合）も表示されます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
			送信先に設定	−		
	着信履歴	（履歴を選択）	設定	電話帳に登録 消去		⇒ユーザーズガイド 応用編
			送信先に設定	−		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
スタート	−	−	−	−	ファクスを送信します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
設定変更	ファクス画質	−	−	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質を一時的に設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	両面ファクス	−	−	オフ 両面スキャン：長辺とじ原稿 両面スキャン：短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	原稿濃度	−	−	自動 濃く 薄く	原稿のコントラスト（色の濃度）を調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	同報送信	番号追加	手動入力	−	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
			電話帳から選択	−		
			検索して選択	−		
	タイマー送信	タイマー送信	−	オン オフ	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		指定時刻	−	−		
	リアルタイム送信	−	−	オン オフ	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	送付書※1	送付書設定	−	オン オフ	送付書を付加する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		送付書コメント	−	1.コメント無し 2.お電話ください 3.至急 4.親展 5. 6.		
		枚数	−	−		
	海外送信モード	−	−	オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	原稿台スキャンサイズ	−	−	USレター A4 リーガル/フォリオ※2	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
設定変更	設定を保持する※3	ファクス画質 原稿濃度 原稿台スキャンサイズ リアルタイム送信 送付書 海外送信モード	−	はい いいえ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	設定をリセットする※3	−	−	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
お気に入り登録	－	－	－	送信先 ファクス画質 両面ファクス 原稿濃度 同報送信 リアルタイム送信 送付書 海外送信モード 原稿台スキャンサイズ	ファクスに関する設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ

※１：【発信元登録】を設定していないときは無効になります。
※２：MFC-L6900DW のみ
※３：［セキュリティ機能ロック］または【セキュリティ設定ロック】の設定中は無効になります。

みるだけ受信がオンのとき

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
ファクス送信	⇒185ページ「【ファクス】ボタン」を参照してください。					
受信ファクス	印刷/消去	全て印刷(新着ファクス)	－	－	受信したファクスを印刷または消去します。	⇒74 ページ
		全て印刷(既読ファクス)	－	－		
		全て消去(新着ファクス)	－	はい いいえ		
		全て消去(既読ファクス)	－	はい いいえ		
電話帳	⇒185ページ「電話帳」を参照してください。					⇒ユーザーズガイド 応用編
履歴	⇒185ページ「履歴」を参照してください。					⇒77 ページ

【コピー】ボタン

待ち受け画面の 【コピー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線や＊付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
スタート	−	−	−	コピーします。	−
（コピー枚数を選択する）	−	−	−	−	−
（拡大/縮小）	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。				−
（両面コピー）	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。				−
（コピー濃度）	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。				−
（トレイ選択）	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。				−
簡単コピー	レシート	スタート	−	−	−
		（コピー枚数を選択する）	−	−	−
		（拡大/縮小）	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。		−
		（両面コピー）	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。		−
		（コピー濃度）	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。		−
		（トレイ選択）	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。		−
		簡単コピー	⇒188ページ「簡単コピー」を参照してください。		−
		設定変更	コピー画質	⇒193ページ「コピー画質」を参照してください。	−
			拡大/縮小	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。	−
			コピー濃度	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。	−
			コントラスト	⇒ 194 ページ「コントラスト」を参照してください。	−
			スタック/ソート	⇒194ページ「スタック/ ソート」を参照してください。	−
			レイアウト コピー	⇒ 195 ページ「レイアウト コピー」を参照してください。	−
			両面コピー	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。	−
			両面レイアウトコピー	⇒195ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	−
			トレイ選択	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。	−

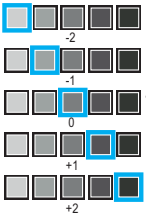
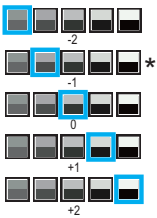
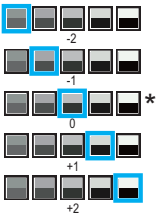
メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
簡単コピー	標準	スタート	−	−	−
		（コピー枚数を選択する）	−	−	−
		（拡大/縮小）	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。		−
		（両面コピー）	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。		−
		（コピー濃度）	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。		−
		（トレイ選択）	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。		−
		簡単コピー	⇒188ページ「簡単コピー」を参照してください。		−
		設定変更	コピー画質	⇒193ページ「コピー画質」を参照してください。	−
			拡大/縮小	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。	−
			コピー濃度	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。	−
			コントラスト	⇒ 194 ページ「コントラスト」を参照してください。	−
			スタック/ソート	⇒194ページ「スタック/ ソート」を参照してください。	−
			レイアウト コピー	⇒ 195 ページ「レイアウト コピー」を参照してください。	−
			両面コピー	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。	−
			両面レイアウトコピー	⇒195ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	−
			トレイ選択	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。	−

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
簡単コピー	2in1 (ID)	スタート	–	–	–
		(コピー枚数を選択する)	–	–	–
		(コピー濃度)	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。		–
		(トレイ選択)	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。		–
		簡単コピー	⇒188ページ「簡単コピー」を参照してください。		–
		設定変更	コピー画質	⇒193ページ「コピー画質」を参照してください。	–
			コピー濃度	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。	–
			コントラスト	⇒ 194 ページ「コントラスト」を参照してください。	–
			レイアウト コピー	⇒ 195 ページ「レイアウト コピー」を参照してください。	–
			トレイ選択	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。	–
	2in1	スタート	–	–	–
		(コピー枚数を選択する)	–	–	–
		(両面コピー)	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。		–
		(コピー濃度)	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。		–
		(トレイ選択)	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。		–
		簡単コピー	⇒188ページ「簡単コピー」を参照してください。		–
		設定変更	コピー画質	⇒193ページ「コピー画質」を参照してください。	–
			コピー濃度	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。	–
			コントラスト	⇒ 194 ページ「コントラスト」を参照してください。	–
			スタック/ソート	⇒194ページ「スタック/ ソート」を参照してください。	–
			レイアウト コピー	⇒ 195 ページ「レイアウト コピー」を参照してください。	–
			両面コピー	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。	–
			両面レイアウトコピー	⇒195ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	–
			トレイ選択	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。	–

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
簡単コピー	片面⇒両面	スタート	−	−	−
		（コピー枚数を選択する）	−	−	−
		（拡大/縮小）	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。		−
		（両面コピー）	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。		−
		（コピー濃度）	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。		−
		（トレイ選択）	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。		−
		簡単コピー	⇒188ページ「簡単コピー」を参照してください。		−
		設定変更	コピー画質	⇒193ページ「コピー画質」を参照してください。	−
			拡大/縮小	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。	−
			コピー濃度	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。	−
			コントラスト	⇒ 194 ページ「コントラスト」を参照してください。	−
			スタック/ソート	⇒194ページ「スタック/ ソート」を参照してください。	−
			レイアウト コピー	⇒ 195 ページ「レイアウト コピー」を参照してください。	−
			両面コピー	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。	−
			両面レイアウトコピー	⇒195ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	−
			トレイ選択	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。	−

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
簡単コピー	両面⇒両面	スタート	−	−	−
		（コピー枚数を選択する）	−	−	−
		（拡大/縮小）	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。		−
		（両面コピー）	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。		−
		（コピー濃度）	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。		−
		（トレイ選択）	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。		−
		簡単コピー	⇒188ページ「簡単コピー」を参照してください。		−
		設定変更	コピー画質	⇒193ページ「コピー画質」を参照してください。	−
			拡大/縮小	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。	−
			コピー濃度	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。	−
			コントラスト	⇒ 194 ページ「コントラスト」を参照してください。	−
			スタック/ソート	⇒194ページ「スタック/ ソート」を参照してください。	−
			レイアウト コピー	⇒ 195 ページ「レイアウト コピー」を参照してください。	−
			両面コピー	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。	−
			両面レイアウトコピー	⇒195ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	−
			トレイ選択	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。	−

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
簡単コピー	用紙節約	スタート	−	−	−
		（コピー枚数を選択する）	−	−	−
		（両面コピー）	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。		−
		（コピー濃度）	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。		−
		（トレイ選択）	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。		−
		簡単コピー	⇒188ページ「簡単コピー」を参照してください。		−
		設定変更	コピー画質	⇒193ページ「コピー画質」を参照してください。	−
			拡大/縮小	⇒194ページ「拡大/縮小」を参照してください。	−
			コピー濃度	⇒194ページ「コピー濃度」を参照してください。	−
			コントラスト	⇒ 194 ページ「コントラスト」を参照してください。	−
			スタック/ソート	⇒194ページ「スタック/ ソート」を参照してください。	−
			レイアウト コピー	⇒ 195 ページ「レイアウト コピー」を参照してください。	−
			両面コピー	⇒195ページ「両面コピー」を参照してください。	−
			両面レイアウトコピー	⇒195ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	−
			トレイ選択	⇒195ページ「トレイ選択」を参照してください。	−
	スタート	−	−	コピーします。	−
	（コピー枚数を選択する）	−	−	−	−
	設定変更	−	−	−	−
設定変更	コピー画質	−	自動 テキスト 写真 レシート （【レイアウト コピー】で【2in1(ID)】を選択したとき） 自動 明るめ	印刷品質に合わせて設定します。	⇒87 ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	拡大/縮小 ※1	等倍 100%	–	–	⇒84 ページ
		拡大	200% 141% A5 ⇒ A4 115% B5 ⇒ A4	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	
		縮小	97% USレター ⇒ A4 94% A4 ⇒ USレター 91% フルページ 87% A4 ⇒ B5 83% 最大 ⇒ A4 70% A4 ⇒ A5 50%		
		自動	–		
		カスタム (25-400%)	100 [25-400]		
	コピー濃度	–	 【レイアウト コピー】で【2in1(ID)】を選択したとき 	コピーの濃度を調整します。	⇒88 ページ
	コントラスト	–		コピーのコントラストを調整します。	⇒88 ページ
	スタック/ソート	–	スタックコピー ソートコピー	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	⇒84 ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	レイアウト コピー ※2	–	オフ(1in1) 2in1(縦長) 2in1(横長) 2in1(ID) 4in1(縦長) 4in1(横長)	複数の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーします。	⇒86 ページ
	両面コピー ※3	–	オフ 両面⇒両面 片面⇒両面 両面⇒片面	両面コピーします。 とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。 自動両面コピーもできます。	⇒85 ページ
		とじ方向	長辺とじ 短辺とじ		
	両面レイアウトコピー ※3※4	–	長辺とじ⇒長辺とじ 長辺とじ⇒短辺とじ 短辺とじ⇒長辺とじ 短辺とじ⇒短辺とじ	複数の原稿を 1 枚の用紙に割り付けて両面コピーします。	⇒86 ページ
	トレイ選択	–	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1 トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台設置したとき)※5 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1>トレイ2 多目的トレイ>トレイ2>トレイ1 トレイ1>トレイ2>多目的トレイ トレイ2>トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき)※6 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ 多目的>トレイ1>トレイ2-3 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的	コピーするときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒45 ページ
	お気に入り登録	–	コピー画質 拡大/縮小 コピー濃度 コントラスト スタック/ソート レイアウト コピー 両面コピー 両面レイアウトコピー トレイ選択	コピーの機能をお好みの設定で、名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ

※ 1 :【レイアウト コピー】で【オフ (1in1)】が選択されているときに選択できます。
※ 2 :【拡大 / 縮小】で【等倍 100%】が選択されているときに選択できます。
※ 3 :【レイアウト コピー】で【2in1(ID)】が選択されているときは無効になります。

※４：【両面コピー】で【両面⇒両面】が選択され、【レイアウト コピー】で【オフ (1in1)】が選択されているときは、無効になります。

※５：オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 1 台増設したときにメニューが表示されます。

※６：オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を 2 台増設したときにメニューが表示されます。

【スキャン】ボタン

待ち受け画面の 【スキャン】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
OCR	スキャン機能 切り替え	−	【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	<USB>	設定変更	⇒204ページ「設定変更（OCRのとき）」を参照してください。		
		お気に入り 登録	PC名 両面スキャン スキャン設定 カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	(PC選択)	設定変更	⇒204ページ「設定変更（OCRのとき）」を参照してください。		
		お気に入り 登録	PC名 両面スキャン スキャン設定 カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
ファイル	スキャン機能切り替え	－	【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	<USB>	設定変更	⇒206ページ「設定変更（ファイルのとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	PC名 両面スキャン スキャン設定 カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	－	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
	(PC選択)	設定変更	⇒206ページ「設定変更（ファイルのとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	PC名 両面スキャン スキャン設定 カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	－	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
イメージ	スキャン機能 切り替え	−	【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	<USB>	設定変更	⇒208ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
		お気に入り 登録	PC名 両面スキャン スキャン設定 カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	(PC選択)	設定変更	⇒208ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
		お気に入り 登録	PC名 両面スキャン スキャン設定 カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
USBメモリ	スキャン機能 切り替え	−	【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	設定変更	−	⇒210ページ「設定変更（USBメモリのとき）」を参照してください。		
	お気に入り 登録	−	両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ ファイル名 ファイル名項目順序 ファイルサイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
	スタート	−	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
Eメール添付	スキャン機能 切り替え	−	【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	＜USB＞	設定変更	⇒208ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
		お気に入り 登録	PC名 両面スキャン スキャン設定 カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
Eメール添付	(PC選択)	設定変更	⇒208ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	PC名 両面スキャン スキャン設定 カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
Eメール送信※1	スキャン機能切り替え	−	あて先を入力していないときに、【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	キャンセル	−	あて先を入力しているときに、【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	電話帳	(検索)	−	スキャンしたファイルの送付先を電話帳から設定します	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
		登録/編集	−		
		(電話帳選択)	OK		
	手動入力	−	−	スキャンしたファイルの送付先を入力します。(最大255文字)	
	次へ	送信先一覧	(あて先選択) OK	−	−
		設定変更	⇒213ページ「設定変更（Eメール送信のとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	送信先 両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ ファイル名 ファイル名項目 順序 ファイルサイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンしたファイルの保存先設定など、スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
	送信先一覧	(電話帳選択)	OK	−	−

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
(S)FTP サーバー	スキャン機能切り替え	−	【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	(プロファイル名選択)	設定変更	⇒216ページ「設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint® のとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	プロファイル名	プロファイル名の設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
ネットワーク	スキャン機能切り替え	−	【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	(プロファイル名選択)	設定変更	⇒216ページ「設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint® のとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	プロファイル名	プロファイル名の設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
SharePoint	スキャン機能切り替え	−	【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	(プロファイル名選択)	設定変更	⇒216ページ「設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint® のとき）」を参照してください。		
		お気に入り登録	プロファイル名	プロファイル名の設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒223 ページ
		スタート	−	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
クラウド	−	−	−	スキャンしたファイルをクラウドに保存します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
Webサービス ※2	スキャン機能切り替え	−	−	Webサービスプロトコルを使用してデータをスキャンします。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	スキャン	−	−		⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	電子メール用にスキャン	−	−		⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	FAX用にスキャン	−	−		⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク
	印刷用にスキャン	−	−		⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク

※ 1 : MFC-L5755DW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。
※ 2 : Web サービススキャン機能をインストールした場合に表示されます。

設定変更（OCRのとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
両面スキャン	－	オフ 両面スキャン：長辺とじ原稿 両面スキャン：短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
スキャン設定	－	本体から設定する パソコンから設定する	スキャンの設定を本体から設定するかパソコンから設定するかを設定します。
カラー設定※1	－	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
解像度※1	－	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式※1	－	Text HTML RTF	スキャンするファイル形式を設定します。
原稿サイズ※1	－	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
明るさ※1	－	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト※1※2	－	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
ADF傾き補正※1	−	自動 オフ	ADF傾き補正を設定します。
白紙除去※1	−	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去※1※2	−	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

※１：【スキャン設定】が【本体から設定する】に設定されているときにのみ、メニューが表示されます。
※２：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときにメニューが表示されます。

設定変更（ファイルのとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
両面スキャン	–	オフ 両面スキャン：長辺とじ原稿 両面スキャン：短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
スキャン設定	–	本体から設定する パソコンから設定する	スキャンの設定を本体から設定するかパソコンから設定するかを設定します。
カラー設定※1	–	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
解像度※1	–	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式※1	–	PDF シングルページ PDF マルチページ JPEG※2 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。
原稿サイズ※1	–	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
明るさ※1	–	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト※1※2	–	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
ADF傾き補正※1	−	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去※1	−	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去※1※2	−	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

※１：【スキャン設定】が【本体から設定する】に設定されているときにのみ、メニューが表示されます。
※２：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに表示されます。
※３：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに表示されます。

設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
両面スキャン	–	オフ 両面スキャン：長辺とじ原稿 両面スキャン：短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
スキャン設定	–	本体から設定する パソコンから設定する	スキャンの設定を本体から設定するかパソコンから設定するかを設定します。
カラー設定※1	–	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
解像度※1	–	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式※1	–	PDF シングルページ PDF マルチページ JPEG※2 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。
原稿サイズ※1	–	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
明るさ※1	–	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト※1※2	–	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
ADF傾き補正※1	−	自動 オフ	ADF（自動原稿送り装置）からスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去※1	−	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去※1※2	−	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

※１：【スキャン設定】が【本体から設定する】に設定されているときにのみ、メニューが表示されます。
※２：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに表示されます。
※３：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに表示されます。

設定変更（USBメモリのとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
両面スキャン	－	オフ 両面スキャン：長辺とじ原稿 両面スキャン：短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
カラー設定	－	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
解像度	－	100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi 自動※1	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式	－	PDF シングルページ PDF マルチページ JPEG※1 PDF/A シングルページ PDF/A マルチページ パスワード付PDF シングルページ パスワード付PDF マルチページ 電子署名付PDF シングルページ 電子署名付PDF マルチページ 高圧縮PDF シングルページ※2 高圧縮PDF マルチページ※2 XPS※1 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。
原稿サイズ	－	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 長尺※4 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
ファイル名※5	－	BRNXXXXXXXXXXXX Mitsumori※6 Report※6 Cyumon-syo※6 <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。「手動設定」を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。（最大64文字）
ファイル名項目順序	－	名前_日付_カウンタ 名前_カウンタ 日付_名前_カウンタ 日付_カウンタ	保存するファイル名につける項目の順序を設定します。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
ファイルサイズ※7※8	−	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。
明るさ	−	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト※9※10	−	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ADF傾き補正	−	自動 オフ	ADF傾き補正を設定します。
白紙除去※11	−	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去※9※10	−	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。
設定を保持する※12	両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ ファイルサイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	はい いいえ	設定を保持するかしないかを設定します。
設定をリセットする※12	−	はい いいえ	設定をリセットするかしないかを設定します。

※１：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには表示されません。
※２：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】、かつ【解像度】が【300 dpi】に設定されているときに表示されます。
※３：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに表示されます。
※４：【白紙除去】が【オン】に設定されているときは無効になります。
※５：【ファイル名項目順序】が【日付 _ カウンタ】に設定されているときは無効になります。
※６：ウェブブラウザーからのみ名前を変更できます。

※７：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに表示されます。
※８：【ファイル形式】が【TIFF シングルページ】、【TIFF マルチページ】、【高圧縮 PDF シングルページ】、【高圧縮 PDF マルチページ】のどれかに設定されているときは表示されません。
※９：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときは無効になります。
※ 10：【ファイル形式】が【TIFF シングルページ】または【TIFF マルチページ】に設定されているときは無効になります。
※ 11：【原稿サイズ】が【長尺】に設定されているときは無効になります。
※ 12：［セキュリティ機能ロック］または【セキュリティ設定ロック】の設定中は無効になります。

設定変更（Eメール送信のとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
MFC-L5755DW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
両面スキャン	–	オフ 両面スキャン：長辺とじ原稿 両面スキャン：短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
カラー設定	–	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
解像度	–	100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi 自動※1	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式	–	PDF シングルページ PDF マルチページ JPEG※1 PDF/A シングルページ PDF/A マルチページ パスワード付PDFシングルページ パスワード付PDF マルチページ 電子署名付PDFシングルページ 電子署名付PDF マルチページ 高圧縮PDFシングルページ※2 高圧縮PDF マルチページ※2 XPS※1 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。
原稿サイズ	–	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 長尺※4 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
ファイル名※5	–	BRNXXXXXXXXXXXX Mitsumori※6 Report※6 Cyumon-syo※6 <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。「手動設定」を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。（最大64文字）
ファイル名項目順序	–	名前_日付_カウンタ 名前_カウンタ 日付_名前_カウンタ 日付_カウンタ	保存するファイル名につける項目の順序を設定します。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
ファイルサイズ※7※8	－	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。
明るさ	－	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト※9※10	－	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ADF傾き補正	－	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去※11	－	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去※9※10	－	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。
設定を保持する※12	両面スキャン カラー設定 解像度 ファイル形式 原稿サイズ ファイルサイズ 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	はい いいえ	設定を保持するかしないかを設定します。
設定をリセットする※12	－	はい いいえ	設定をリセットするかしないかを設定します。

※１：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには表示されません。
※２：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】、かつ【解像度】が【300 dpi】に設定されているときに表示されます。
※３：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに表示されます。
※４：【白紙除去】が【オン】に設定されているときは無効になります。
※５：【ファイル名項目順序】が【日付 _ カウンタ】に設定されているときは無効になります。
※６：ウェブブラウザーからのみ名前を変更できます。

※ 7 :【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに表示されます。
※ 8 :【ファイル形式】が【TIFF シングルページ】、【TIFF マルチページ】、【高圧縮 PDF シングルページ】、【高圧縮 PDF マルチページ】のどれかに設定されているときは表示されません。
※ 9 :【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときは無効になります。
※ 10:【ファイル形式】が【TIFF シングルページ】または【TIFF マルチページ】に設定されているときは無効になります。
※ 11:【原稿サイズ】が【長尺】に設定されているときは無効になります。
※ 12:［セキュリティ機能ロック］または【セキュリティ設定ロック】の設定中は無効になります。

設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint® のとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
両面スキャン	－	オフ 両面スキャン：長辺とじ原稿 両面スキャン：短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
カラー設定	－	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
解像度	－	100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi 自動※1	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式	－	PDF シングルページ PDF マルチページ JPEG※1 PDF/A シングルページ PDF/A マルチページ パスワード付PDF シングルページ パスワード付PDF マルチページ 電子署名付PDF シングルページ 電子署名付PDF マルチページ 高圧縮PDF シングルページ※2 高圧縮PDF マルチページ※2 XPS※1 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。
原稿サイズ	－	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 長尺※4 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
ファイル名※5	－	BRNXXXXXXXXXXXX Mitsumori※6 Report※6 Cyumon-syo※6 <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。「手動設定」を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。（最大32文字）
ファイル名項目順序	－	名前_日付_カウンタ 名前_日付※7 名前_カウンタ 日付_名前_カウンタ 日付_名前※7 日付_カウンタ	保存するファイル名につける項目の順序を設定します。

サブメニュー３	サブメニュー４	選択項目	内容
ファイルサイズ※8※9	–	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。
明るさ	–	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト※10※11	–	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ADF傾き補正	–	自動 オフ	ADF傾き補正を設定します。
白紙除去※12	–	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去※10※11	–	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。
ユーザー名	–	–	ユーザー名を設定します。

※１：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには表示されません。
※２：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】、かつ【解像度】が【300 dpi】に設定されているときに表示されます。
※３：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに表示されます。
※４：【白紙除去】が【オン】に設定されているときは無効になります。
※５：【ファイル名項目順序】が【日付 _ カウンタ】に設定されているときは無効になります。
※６：ウェブブラウザーからのみ名前を変更できます。
※７：このメニューが表示されない場合は、最新のファームウェアに更新してください。ファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://support.brother.co.jp
※８：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに表示されます。
※９：【ファイル形式】が【TIFF シングルページ】、【TIFF マルチページ】、【高圧縮 PDF シングルページ】、【高圧縮 PDF マルチページ】のどれかに設定されているときは表示されません。
※ 10：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときは無効になります。
※ 11：【ファイル形式】が【TIFF シングルページ】または【TIFF マルチページ】に設定されているときは無効になります。
※ 12：【原稿サイズ】が【長尺】に設定されているときは無効になります。

その他の機能

待ち受け画面から以下の設定ができます。

トナーボタン

待ち受け画面の トナーボタンを押して表示される画面で、トナーに関する以下の設定ができます。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
トナー残量	–	–	トナーの残量を表示します。
テストプリント	–	–	印刷テストを行います。

Wi-Fi設定ボタン

待ち受け画面の Wi-Fi設定ボタンを押して表示される画面で、無線LANの設定ができます。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	内容
無線接続ウィザード	無線LANの機器を検索し、接続を行います。
接続アシスタント	ドライバー /ユーティリティー CD-ROMを使用して無線LAN設定を行います。
WPS	WPS機能を使って自動接続を行います。

【セキュリティ印刷】ボタン

待ち受け画面の 【セキュリティ印刷】ボタンを押して表示される画面で、セキュリティ印刷を行います。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
セキュリティ印刷	（ユーザー選択）	（印刷ジョブの選択）	4桁のパスワードを入力して、本機に保存したデータを印刷できます。 セキュリティ印刷データが本機に保存されているときに使用できます。

【クラウド】ボタン

待ち受け画面の 【クラウド】ボタンを押して表示される画面で、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
OneDrive®	ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。	⇒クラウド接続ガイド※
Box		
Google Drive™		
Facebook		
Evernote®		
Dropbox		
Picasa Web Albums™		
Flickr®		

※ 「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp）で案内しています。

【お役立ちツール】ボタン

待ち受け画面の 【お役立ちツール】ボタンを押して表示される画面で、ウェブサービスのアプリを使って、メモ帳を作成したり、指定した部分を抽出してスキャンやコピーをすることができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
手書きトリミングスキャン	スキャンやコピーをよりいっそう便利にするクラウド上のアプリを利用することができます。	⇒クラウド接続ガイド※
手書きトリミングコピー		
折りメモ		

※ 「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp）で案内しています。

【USB】ボタン

待ち受け画面の 【USB】ボタンを押して表示される画面で、USB メモリーへのスキャンデータの保存とUSBメモリーから直接印刷ができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
スキャン to USB	スキャンしたデータをUSBメモリーに保存します。	⇒210 ページ
USBダイレクトプリント	USBメモリー内のデータを直接印刷します。 ⇒220ページ「【USBダイレクトプリント】」を参照してください。	⇒220 ページ

【USBダイレクトプリント】

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
(表示されたUSBメモリー内のファイル名を選択)	テンポラリ設定	用紙タイプ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ レターヘッド カラー用紙	用紙タイプを設定します。	⇒90 ページ
		用紙サイズ	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	用紙サイズを設定します。	⇒90 ページ
		レイアウト	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	Nin1を設定します。	⇒90 ページ
		印刷の向き ※1	縦長 横長	印刷方向を設定します。	⇒90 ページ
		両面印刷	オフ 長辺とじ 短辺とじ	両面印刷時の内容を設定します。	⇒90 ページ
		部単位	オン オフ	部単位で印刷するかどうかを設定します。	⇒90 ページ
		トレイ選択	自動 多目的トレイのみ 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ※2	USBダイレクトプリントするときに給紙する用紙トレイを設定します。	⇒90 ページ

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
(表示されたUSBメモリー内のファイル名を選択)	テンポラリ設定	プリント画質	標準 きれい	印刷画質を設定します。	⇒90 ページ
		PDFオプション※3	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	⇒90 ページ
	(印刷枚数の設定)		1～999	印刷枚数を1枚単位で設定します。	⇒90 ページ
	スタート	−	−	USBダイレクトプリントを開始します。	⇒90 ページ
インデックスプリント	−	−	−	インデックスシートを印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
デフォルト設定	用紙タイプ	−	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ レターヘッド カラー用紙	用紙タイプを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	用紙サイズ	−	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	用紙サイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	レイアウト	−	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	N in 1を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	印刷の向き	−	縦長 横長	印刷方向を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	部単位	−	オン オフ	部単位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	プリント画質	−	標準 きれい	印刷画質を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
デフォルト設定	PDF オプション	–	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	インデックスプリント	–	簡易 詳細	インデックスシートの方式を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※1：JPEG 形式時のみ選択することができます。
※2：オプションの増設用紙トレイ（MFC-L5755DW の場合は LT-5500/LT-6500、MFC-L6900DW の場合は LT-5505/LT-6505）を増設したときにメニューが表示されます。
※3：PDF 形式時のみ選択することができます。

【2 in 1 ID コピー】ボタン

待ち受け画面の 【2in1 ID コピー】を押して、2in1 (ID) コピーを設定できます。
⇒190ページ「2in1(ID)」を参照してください。

お気に入り【お気に入り】ボタン

待ち受け画面の お気に入り【お気に入り】ボタンを押して表示される画面で、以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
お気に入り登録	コピー	レシート	⇒188ページ「【コピー】ボタン」の選択項目を参照してください。	お気に入りに登録する機能を選択します。	⇒30 ページ
		標準			
		2in1(ID)			
		2in1			
		片面 ⇒ 両面			
		両面 ⇒ 両面			
		用紙節約			
	ファクス	送信先	⇒185ページ「【ファクス】ボタン」の選択項目を参照してください。	お気に入りに登録する機能を選択します。	⇒31 ページ
		ファクス画質			
		両面ファクス			
		原稿濃度			
		同報送信			
		リアルタイム送信			
		送付書			
		海外送信モード			
		原稿台スキャンサイズ			
	スキャン	ファイル	⇒197ページ「【スキャン】ボタン」の選択項目を参照してください。	お気に入りに登録する機能を選択します。	⇒32 ページ
		OCR			
		イメージ			
		USBメモリ			
		Eメール添付			
		Eメール送信※			
		ネットワーク			
		FTP/SFTPサーバー			
		SharePoint			
	クラウド	−	⇒219ページ「【クラウド】ボタン」の選択項目を参照してください。	お気に入りに登録する機能を選択します。	⇒34 ページ

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
お気に入り登録	お役立ちツール	手書きトリミングスキャン	⇒219ページ「【お役立ちツール】ボタン」の選択項目を参照してください。	お気に入りに登録するお役立ちツールを選択します。	⇒クラウド接続ガイド
		手書きトリミングコピー			
		折りメモ			

※　MFC-L5755DW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

お気に入り名を2秒以上長押しすると、以下の設定ができます。

メインメニュー	選択項目	内容	参照ページ
名前の変更	–	選択したお気に入りの名前を編集します。	⇒36 ページ
編集※	–	選択したお気に入りの設定内容を変更します	⇒35 ページ
消去	–	選択したお気に入りを消去します。	⇒36 ページ

※　【クラウド】、【お役立ちツール】以外のお気に入りのみ、お気に入り名を押すと表示されます。

索　引

■ 索引の使いかた

• このページでは、本書、ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークで説明されている項目を検索できます。

APIPA
BRAdmin Light
BRAdmin Professional
ControlCenter
DNS サーバー
IPP
IPv6
IP アドレス
IP 取得方法
NetBIOS name resolution
PC-FAX
POP3
SMTP
TCP/IP
TWAIN ドライバーの設定
WIA ドライバー設定
Windows® FAX とスキャン
Windows® フォトギャラリー
WINS サーバー
WINS 設定
イーサネット
印刷設定
インポート
ウェブブラウザーによる設定
エクスポート
オートマチックドライバーインストーラー
解像度
ゲートウェイ
サブネットマスク
デジタル署名
透かし
スキャン用ドライバー
スキャン to E メールサーバー
スキャン to E メール添付
スキャン to FTP
スキャン to OCR
スキャン to イメージ
スキャン to ファイル
ステータスモニター
セキュリティ機能ロック 3.0
セキュリティプロトコル
セキュリティ方式
電話帳登録
ネットワーク PC-FAX
ネットワーク管理ソフトウェア
ネットワーク共有印刷
ネットワークスキャンの設定
ネットワーク設定レポート
ネットワークプリンター診断修復ツール
ネットワークリモートセットアップ
ノード名
ピアツーピア
暗号化
プリンタードライバーの設定
プリンター設定値のリスト
ページの設定
リモートセットアップ

数字

2 in 1 ID コピー 83, 89

A

ADF 56, 57, 60, 63, 80, 81, 93, 126

N

N in 1 86
NFC 機能 95
NFC センサー部 18

U

USB ダイレクトプリント 90

え

エラーメッセージ一覧 117

お

おすすめ機能 14
オンフック 61

か

解決のステップ 116
回線種別 37
拡大 / 縮小 83
拡大・縮小コピー 84
各部の名称 19
画質 83, 87
紙づまり 125
画面の操作方法 24

き

機能一覧 164
キャリアシート 56
給紙ローラー 102

け

原稿 56
原稿ガイド 57
原稿セット 56, 57
原稿台ガラス 58, 60, 63, 80, 81, 93, 97
原稿台スキャンサイズ 59

こ

コピー 80
コピーが禁じられている物 56
コピー設定 83
コピー濃度 83, 88
コピーボタン 188
困ったときには（コピー／印刷） 136
困ったときには（スキャン） 153
困ったときには（その他） 160
困ったときには（電話／ファクス） 153
コロナワイヤー 98
コントラスト 83, 88

さ

再梱包 114
再呼び出しベル回数 71

し

自動切換えモード 67
自動送信 60
受信モード 67, 71
手動送信 64
使用できない用紙 43
消耗品 38, 103
消耗品の回収リサイクル 38

す

スキャナー読み取り部 97
スキャン 93
スキャンボタン 197

せ

清掃 96
セットできる用紙 41

そ

操作パネル 18
ソートコピー 83, 84
外付け留守電モード 69
その他の機能 218

た

ダイヤル回線 37
ダイヤルボタン 18, 63, 81
タッチパネル 18

ち

中止 64
直接入力 63

て

定期交換部品 114
定期メンテナンス 96
電源 25
電話回線 37
電話帳 61, 63, 76
電話帳に登録する 77
電話モード 70

と

動作環境 224
時計セット 26
トナーカートリッジ 104, 108
トナーカートリッジ交換のメッセージ 108
ドラムユニット 99, 104, 111
ドラムユニット交換のメッセージ 111

は

廃棄 38
発信元登録 27

ふ

ファクス受信 65
ファクス専用モード 67
ファクス送信 60
ファクスボタン 185
プッシュ回線 37
プリント 92

ま

待ち受け画面 20
まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ 108

む

無線 LAN 160

め

メニュー 22
メニューボタン 164
メモリがいっぱいです 122
メンテナンス 96

ゆ

有線 LAN 160

よ

用紙.....40
用紙残量通知 55
用紙残量通知の通知レベル 55
用紙トレイ 129
用紙のサイズ 41, 54
用紙の種類 41
用紙のタイプ 54
呼び出しベル回数.....71

り

リサイクル 38
リモコンアクセス.....229
両面コピー 83, 85

れ

レイアウトコピー..... 83, 86

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリ受信を解除(※1)		951
ファクス転送に設定(※2)		952
電話呼び出しに設定(※2)		953
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号+##
メモリ受信を設定		956
ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック(※3)	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付け留守電	981
	自動切換え	982
	ファクス	983
終了		90

※1: 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2: 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3: 「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③ ④

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検 索

http://support.brother.co.jp

故障・トラブルかんたん診断

24時間対応のオンラインサービスです。選択肢に沿って進むことで、解決策が見つかります。万一、故障と診断された場合は、そのまま修理を申し込むことができます。

スマートフォンからはこちら

ブラザーサポートナビ24

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ https://online.brother.co.jp

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

0570-061020

受付時間：月～土　9:00～18:00

日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

- **製品ご購入後1年間無償保証いたします。**
  ※この場合、修理料金を無償とし、運送料含むその他費用はお客様の負担となります。
- **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。** ※一部地域を除く
  事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
- **5日以内に修理品を返送。**
  弊社到着後、3日～5日でお客様のお手元へ修理完了品をお返しします。
  ※お住まいの地域や症状により5日以上かかる可能性もあります。

有償 サービスパック3・4・5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

※ 各サービスパックについては、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。
※ 各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。
※ 引取り修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。
　引取り修理契約には送料も含まれております。
※ 出張修理は原則、コール受付の翌営業日以降にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
　出張修理契約には、出張料が含まれております。
※ サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）」にご連絡ください。

トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因となる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期限は製造打ち切り後5年です。
（印刷物は2年です）

brother
ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1

D006RJ001-04
JPN
Version D